

平成 21 (2009) 年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 22 (2010) 年 7 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長 宮川 努

本学において、履修学生による「授業評価アンケート」が全学的に統一されたフォーマットで実施されるようになって、本年度で4年目となる。実施そのものに関しては、教職員への周知徹底や学生諸君の協力もあって、ほぼ100%に近い実施率となっている。

学生数から見て中規模クラスの本学では、履修者数が30-40人程度の授業数が非常に多い。このため伝統的に教員と学生との距離が近く、日常の教員と学生とのコミュニケーションをもとに、これまでも各教授会や各学科の会議において授業改善のための議論がなされてきた。「授業評価アンケート」は、これまでの授業改善活動に、学生側からの新たな情報を加えるものとして位置づけられる。今回の報告書では、昨年度に引き続き、平成18年度からの経年変化の図表を加えた。これを見ると、授業の総合的な評価を問う項目では、少しずつではあるが、学生側からの評価が高まっていることが見て取れる。この点は、教員側が「授業評価アンケート」の導入によって、さらに授業の改善を続けている成果の一つとして捉える事ができる。

そもそもファカルティ・ディベロップメントは、米国の大学で導入されたものであるが、日本では米国の趣旨をそのまま踏襲して実施されているわけではない。このため、各大学によってファカルティ・ディベロップメントの実施方法や、使い方は様々であり、現在でも改善のための検討が進行しているといった状況である。また「授業評価アンケート」は、授業改善のための一手段であり、アンケートの情報だけで、大学全般の授業の評価を決めることはできない。特に少人数の授業では「授業評価アンケート」とは異なった方法で授業の評価と改善が行われる必要がある。この点に関し本学では、従来から各教員が授業形態に応じた教育の工夫を続けてきたところであるが、本年度からはそれを教員固有の創意工夫として留めるのではなく、大学全体の共有財産として認識するために、新たに「授業への取り組み例」という形で、報告書に付け加えることとした。

授業形態や授業方法は、それ自体自己完結的なものではなく、新たな技術のサポートや社会環境の変化によって絶えず変化していくものである。その意味で授業改善は、継続的な作業であると言える。本学の伝統である教員と学生の緊密なコミュニケーションに、「授業評価アンケート」の結果や「授業の取り組み例」を加えることによって、今後も全学的なレベル、各学部学科やセンターごとのレベル、そして授業担当者である個別の教員のレベルで、授業改善への努力が続けられることを期待したい。

平成22(2010)年7月

目次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要

- I. 実施の経緯
- II. 実施の方法
- III. 実施に関わる全体的な状況と評価
- IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

第2章 各部門の分析・評価

「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向分析）

- I. 法学部
- II. 経済学部
- III. 文学部
- IV. 理学部
- V. 計算機センター
- VI. 外国語教育研究センター
- VII. スポーツ・健康科学センター
- VIII. 共通科目運営委員会
- IX. 教職課程
- X. 学芸員資格取得に関する委員会

第3章 授業への取り組み例

第4章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

第 1 章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15（2003）年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。そこでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センターおよび外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進してゆくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16（2004）年7月、第1回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を緊急かつ最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置づけられている。

その後、FD推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」としてまとめた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」がまとめられた。これらふたつのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

II. 実施の方法

第1学期は6月～7月、第2学期は12月の所定の期間中（各2週間）に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては教務部教務課（現学生センター教務課）により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することになっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。

第1学期： 第1学期科目および通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期： 第2学期科目および通年科目

注1.集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。

2.大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

3.総履修者数が5名以下の科目は対象外。

4.回答者数が5名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。

なお、集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
共通科目運営委員会	講義	演習
教職課程	講義	演習
学芸員資格取得に関する委員会	講義	演習

質問項目については、5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な10項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価には馴染まないこと等から、採用しないこととした。

実際に使用されたアンケート票のコピーを次ページに掲載する。



平成21(2009)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。
回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。
率直かつ責任を持った回答をお願いします。

学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】



時間割コード				
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

授業形態
講義: ①
演習: ②
語学: ③

学科コード		
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨

学年
年
①
②
③
④

性別
男 ①
女 ②

- ・必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- ・記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- ・誤りは消しゴムで完全に消してください。
- ・指定以外のところには書き込まないでください。
- ・記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- ・このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- ・所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号
□□-□□□-□□□にある□□の3桁の数字です。
(例) 07-011-999の場合「011」
07-095-999の場合「095」
- ・本学の学籍番号が付与されていない学生(f-Campus生・大学院交流学生)は、
学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

【回答の基準】

- 5: 強くそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない
- 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

● 1～10は「全員」回答してください。

- 1 私はこの授業によく出席している
⑤:出席率90%以上 ④:出席率89～80% ③:出席率79～70% ②:出席率69～50% ①:出席率49%以下
- 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- 3 この授業のレベルは適切である
- 4 この授業を進める速さは適切である
- 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- 8 教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

回答欄				
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

● 11・12は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

- 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

● 13・14は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

- 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

● 15・16は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。

- 15 1回1回の授業のねらいが明確である
- 16 教員は授業時間を有効に活用している

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

● 17・18は「開設部門」が「共通科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。

- 17 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった
- 18 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

● 19・20は「開設部門」が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。

- 19 私は授業に遅刻したことがない
- 20 高校で履修した数学科目
④:数I・数II・数IIIを履修した ③:数I・数IIのみ履修した ②:数Iのみ履修した ①:いずれにも該当しない(例:留学生)

⑤	④	③	②	①
	④	③	②	①

● 21～28は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。

- 21 運動量は ⑤:十分であった ④:おおむね十分であった ③:どちらとも言えない ②:やや不足していた ①:不十分であった
- 22 体力・健康状態が改善された
- 23 運動技術が向上した
- 24 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた
- 25 身体や運動に対する関心が高まった
- 26 自分の身体の健康、体力の再確認ができた
- 27 自分の生活習慣を見直す機会となった
- 28 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

III. 実施に関わる全体的な状況と評価

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。対象科目数 1,968、実施科目数 1,930、実施率 98.07%となり、実施率としては非常に高い数値となった。これに対して学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は 50.33%にとどまった。回答率が毎年 50%前後となってしまう主要な原因は、学年はじめの履修届提出数を総履修者数とみなしているためである。法学部・経済学部の講義科目では、相当数の学生が履修を中断したり、期末試験を棄権したりするが、その総数を事前に把握するのは困難である。そのため、履修登録者数の多い授業ほど、回答率は低くなる傾向がある。

初回（平成 18（2006）年度）のアンケート実施後、いくつかの問題点が発見された。まず、アンケート実施上の授業形態についての確認が完全ではなく、また実施段階での変更等もあり多少の混乱が生じた。総履修者数5名以下の科目について、アンケートの信頼性への疑問や教員へのフィードバックに対する様々な懸念があらためて指摘された。これらの問題は第2回（平成 19（2007）年度）以降改善された。また、質問項目のうち、「Q3 授業のレベル」、「Q4 授業を進める速さ」を問う項目について、最良の評価が3となる質問形式が5段階評価にそぐわず、結果集計の際にもデータに重みを付けるなど多少複雑な処理が必要であった。この問題については、平成 20(2008)年度実施時から他の質問項目同様に最良の評価が5になるように質問形式を変更している。

平成 22（2010）年3月、教員へのフィードバックとして、個々の授業についてのアンケート結果を担当教員に送付した。同年4月には速報版を Web ページに公開し、授業開設部門別、授業形態別に、各設問（主な 10 設問＋ α ）に対する平均・標準偏差の表、およびそれらをグラフ化した「基礎集計結果」を掲載した。また、「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」もあわせて公開した。また、これらに加え、部門別、形態別、学年別、総履修者数別の集計をとった「基礎データクロス表」、およびアンケートの問に対する相関係数を部門別・形態別にまとめた「相関係数表」を作成した。さらに、今回より各部門から情報を収集し、まとめた「授業への取り組み例」を作成した。

「相関係数表」は「基礎集計結果」とともに第2章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第3章に、「基礎データクロス表」は第4章に掲載する。また、前回に引き続き、経年変化比較表（4年間）を部門別・形態別に作成し、第2章の各部門の頁末に掲載する。次章における各部門の分析・評価の概要はこれらのデータをもとに行われたものである。

以下に Web ページに公開された「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」を転記する。

第1章 授業評価アンケート実施の概要

1. 実施概要

第4回目の実施となった平成21（2009）年度のアンケートについては、第1学期は6月27日から7月10日まで、第2学期は12月8日から12月21日のそれぞれ2週間に、学部生が履修することのできるほぼ全科目を対象として行われました。具体的には、対象科目数1,968、実施科目数1,930、実施率は98.07%（前年度比-1.40%）となり、実施率としては前年度に引き続き非常に高い数値となりましたが、実施科目における学生の回答率（=回答者数/総履修者数）は50.33%（前年度比-1.04%）と前年度より低下しました。

部門別・形態別の実施率・回答率が図表1に示されています。

図表1 アンケート実施率および実施科目の回答率

部門別	計セ	講義	実施率			回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率	総履修者数	回答者数	回答率
計セ	講義		84	84	100.00%	4,973	3,647	73.34%
	合計		84	84	100.00%	4,973	3,647	73.34%
外セ	語学		468	463	98.93%	12,161	9,211	75.74%
	合計		468	463	98.93%	12,161	9,211	75.74%
スポ健	演習		105	103	98.10%	2,481	1,772	71.42%
	合計		105	103	98.10%	2,481	1,772	71.42%
共通科目	講義		65	65	100.00%	10,604	4,105	38.71%
	演習		1	1	100.00%	82	27	32.93%
	合計		66	66	100.00%	10,686	4,132	38.67%
法学部	講義		144	142	98.61%	28,357	9,279	32.72%
	演習		90	90	100.00%	1,944	1,441	74.13%
	合計		234	232	99.15%	30,301	10,720	35.38%
経済学部	講義		143	142	99.30%	21,281	6,912	32.48%
	演習		120	113	94.17%	1,834	1,545	84.24%
	合計		263	255	96.96%	23,115	8,457	36.59%
文学部	講義		166	162	97.59%	11,700	6,625	56.62%
	演習		325	309	95.08%	7,787	5,807	74.57%
	合計		491	471	95.93%	19,487	12,432	63.80%
理学部	講義		114	113	99.12%	6,795	3,601	52.99%
	演習		36	36	100.00%	2,074	1,358	65.48%
	合計		150	149	99.33%	8,869	4,959	55.91%
教職課程	講義		36	36	100.00%	2,362	1,548	65.54%
	演習		48	48	100.00%	1,546	1,248	80.72%
	合計		84	84	100.00%	3,908	2,796	71.55%
学芸員	講義		11	11	100.00%	1,048	721	68.80%
	演習		12	12	100.00%	167	134	80.24%
	合計		23	23	100.00%	1,215	855	70.37%
形態別	講義計		763	755	98.95%	87,120	36,438	41.83%
	演習計		737	712	96.61%	17,915	13,332	74.42%
	語学計		468	463	98.93%	12,161	9,211	75.74%
全科目			1968	1930	98.07%	117,196	58,981	50.33%

注1 総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外

注2 総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者が5名以下の科目は含まれていない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、10の部門にまとめています。「計算機センター」

Ⅲ 実施に関わる全体的な状況と評価

「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」については、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いています。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計しています。

「形態別」: アンケート実施上の授業形態で、「講義」「演習」「語学」の3種類です。

「実施率」: 実施対象となった全科目に対する実施科目数の集計結果です。

「回答率」: 実際にアンケートを実施した全科目の総履修者数に対する集計結果です。

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を5段階にランク分けし、さらに「形態別」に分類した状況をまとめたものが**図表2**です。前年度とほぼ同様の傾向になっています。

図表2 形態別・総履修者数ランク

			総履修者数ランク					
			25名以下	26～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
形態別 講義	科目数		85	138	269	133	130	755
	%		11.26%	18.28%	35.63%	17.62%	17.22%	100.00%
演習	科目数		463	206	38	4	1	712
	%		65.03%	28.93%	5.34%	0.56%	0.14%	100.00%
語学	科目数		199	264	0	0	0	463
	%		42.98%	57.02%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	科目数		747	608	307	137	131	1,930
	%		38.70%	31.50%	15.91%	7.10%	6.79%	100.00%

回答者の種別については**図表3**のとおりです。前年度同様、回答者の約95%が本学の学部生であること、また、学部生に限ると、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していることも前年度と同様の傾向です。

昨年度増加傾向が見られた「無回答(学年不明)」(前年度比-1,485)及び「不明(学生種別不明)」(前年度比-517)の件数はそれぞれ低下しており、平成18年度及び平成19年度の水準に戻っています。

図表3 回答者の種別

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	23,749	16,243	10,412	4,318	33	1,010	55,765
大学院生(博士前期課程)	172	90	5	1	2	5	275
大学院生(博士後期課程)	19	23	23	0	0	2	67
科目等履修生(学部)	24	87	50	9	42	38	250
科目等履修生(大学院)	2	0	0	0	8	3	13
他大生(大学院生含む)	4	4	7	2	72	0	89
不明	1,428	362	238	169	21	304	2,522
合計	25,398	16,809	10,735	4,499	178	1,362	58,981

※一部、学生種別と学年との回答の関係としてふさわしくないものもありますが、そのまま掲載しています。

第1章 授業評価アンケート実施の概要

2. 授業満足度にみる集計結果

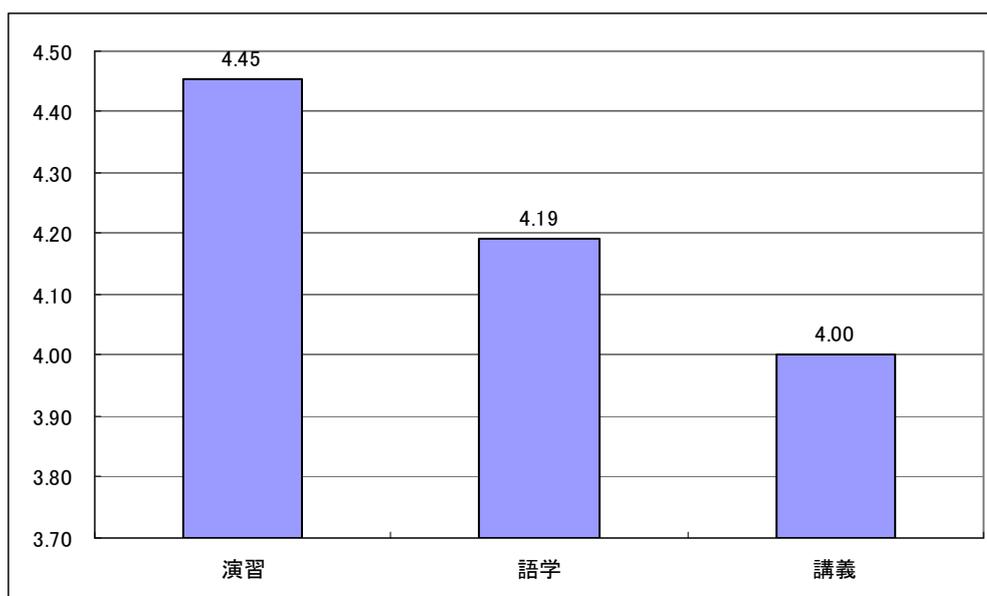
今回のアンケート結果については、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計した「科目ベース」の2種類の集計を行っています。これは、「回答者ベース」による集計結果だけで分析すると、履修者数の多い科目の影響を強く受けてしまうことがあるためです。

さて、以下では、質問項目10の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に注目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数ランク別」、質問項目1の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」（以下、「学年別」）、という4つの視点から分析してみることになります。

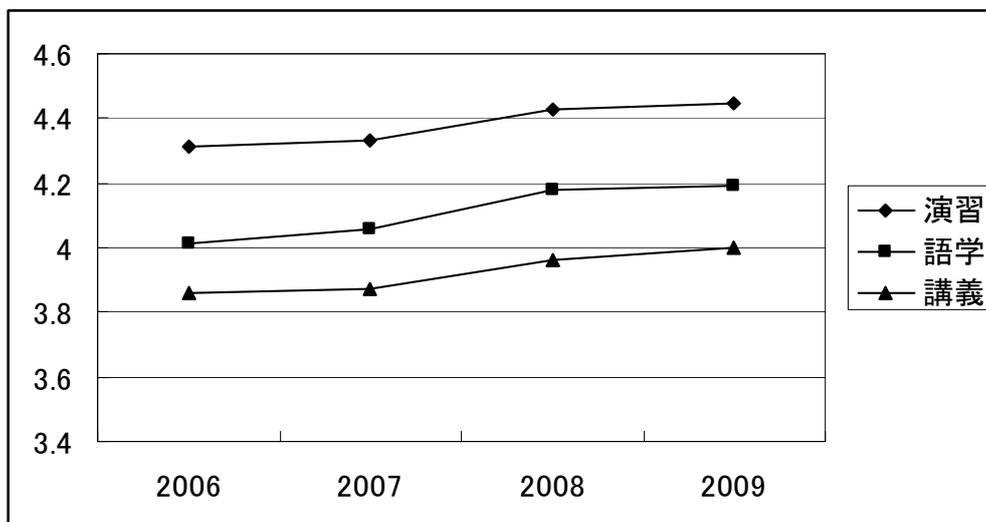
・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表4です。前年度の結果と比較してみると、「演習」(+0.02ポイント)、「語学」(+0.01ポイント)、「講義」(+0.04ポイント)のいずれも上昇しました。比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べると、発表など学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが分かります。

図表4-1 「10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



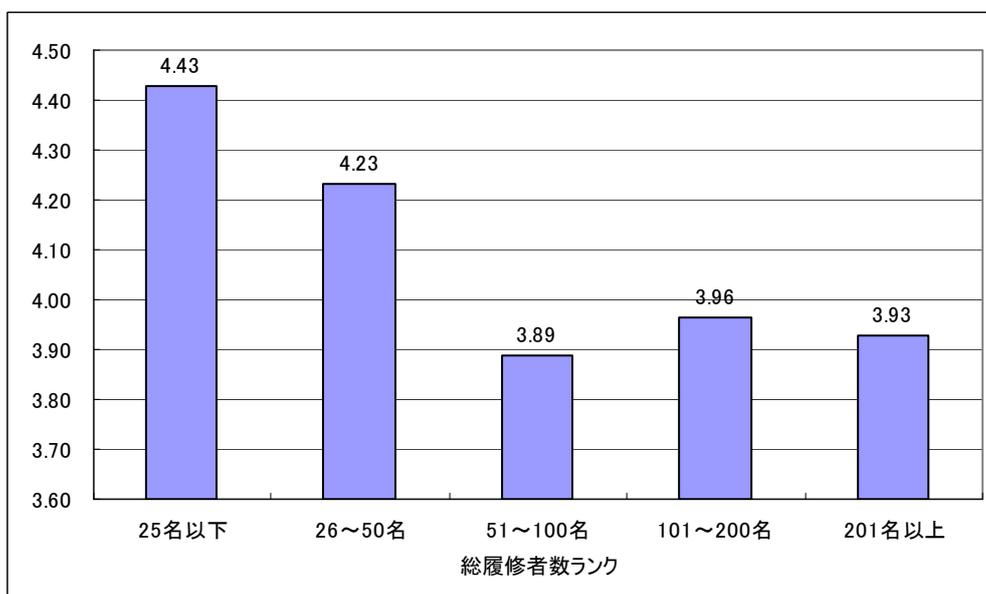
図表 4-2 「10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)
(過去4カ年)



・「総履修者数ランク別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係していることですが、授業の規模によって満足度に差があることも考えられます。このため、アンケート実施科目の総履修者数を5つのランクに分けた上で集計した結果が図表5です。前年度と比較すると、「25名以下」(同ポイント)、「26～50名」(+0.03ポイント)、「51～100名」(+0.03ポイント)、「101～200名」(+0.02ポイント)、「201名以上」(+0.11ポイント)となりました。全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にあります。

図表5 「10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「総履修者数ランク別」集計結果
(科目ベース)



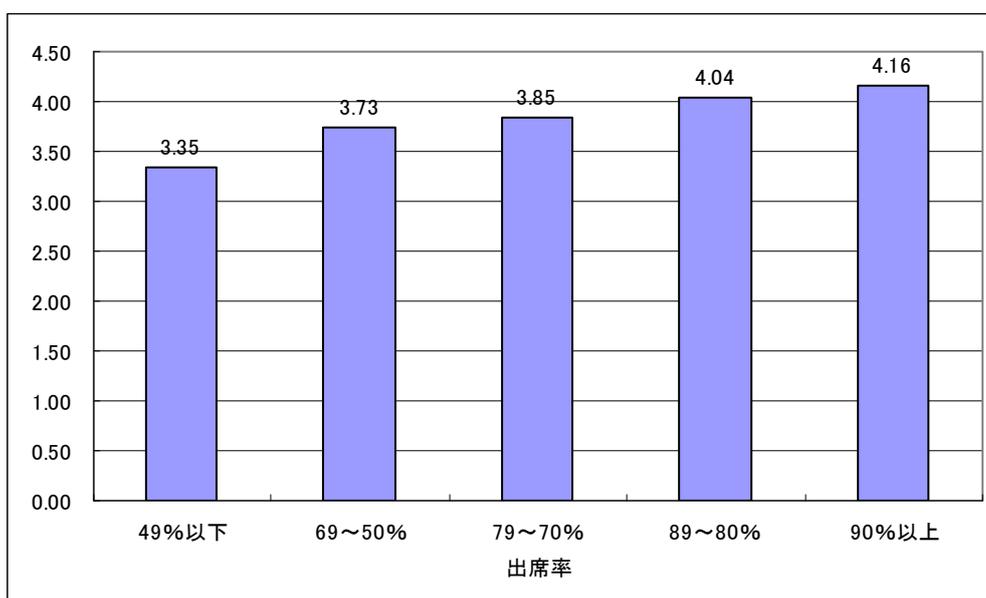
第1章 授業評価アンケート実施の概要

・「出席率別」による集計結果

授業への満足度は、出席率とどのような関係にあるのでしょうか。その集計結果が図表6です。前年度と比較すると、「49%以下」(-0.12ポイント)、「69~50%」(+0.02ポイント)、「79~70%」(+0.02ポイント)、「89~80%」(+0.06ポイント)、「90%以上」(+0.04ポイント)でした。

「49%以下」の区分においてポイントが低下したことは、「出席率」と「授業に対する満足度」の強い相関関係を表しているともいえそうです。

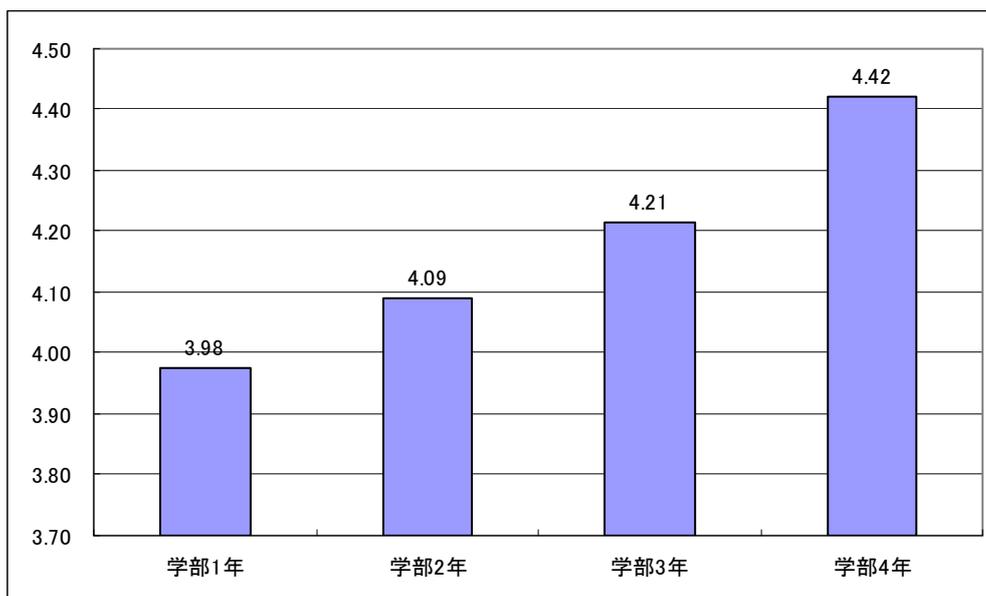
図表6 「10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」と「1 出席率」の集計結果(回答者ベース)



・「学年別」による集計結果

学年毎の満足度の差はあるのでしょうか。これを確認するために、学部生に限定して「学年別」の分析を行った結果が図表7です。前年度と比較すると、「学部1年」(+0.04ポイント)、「学部2年」(+0.10ポイント)、「学部3年」(+0.05ポイント)、「学部4年」(+0.03ポイント)となりました。前年同様、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子が見えてきます。

図表7 「10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

4年目を向かえた授業評価アンケートは、過去3年間のアンケートの経験を踏まえ、極めて順調に実施することができた。FD推進委員会各委員、学長室経営企画課、教務部（現学生センター教務課）、教員、そして学生諸君の協力に心から感謝する。

これまでの授業評価アンケート実施にあたり、FD推進委員会では実施主体の組織化、関係各部の協力体制づくり、さらには教員と学生に対する啓蒙活動など多くの活動に取り組んできた。こうした基礎作業を着実にやってきたため、今回の授業評価アンケートは大きな混乱もなく整然と実施することができたといえよう。FD推進委員会、学長室経営企画課、教務部の間の連携も順調であった。

このように、授業評価アンケートが順調に実施されつつある一方、FD活動全体としては、将来的な課題もまた無視することはできない。これまで、FD推進委員会の主要な活動が、授業評価アンケートの実施に傾いていたことは否めない。授業評価アンケートは、授業の基礎的な条件を満たしているかどうかを検討するには重要な資料であるが、この授業評価アンケートだけでは捉えきれない、各教員の工夫も多数あると考えられる。このため、できる限り各教員の授業での工夫を共有化するために、昨年度から課題となっていた「授業改善事例の収集・整理」を実施すべく、今回初めて各部門に情報収集を依頼し、報告書に掲載することとなった。これまで限られた範囲で行われていた創意工夫を全教員にフィードバックすることで、より良い授業作りのための情報を共有化できれば幸いである。

現在、授業評価は教員にも学生にも確実に定着しつつある。その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びついてはじめて理解されるのであろう。個人の努力を大学全体で共有化でき、より良い授業作りのための改善が継続的に行われるシステムを構築することがFD活動の次の課題である。

第2章

各部門の分析・評価

第2章 各部門の評価・分析

この章では、各種集計結果に基づき行われた授業開設各部門の分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータとして、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別にまとめた「基礎集計表」、「相関係数表」および「経年変化比較表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目に対する回答の方向性の強弱を見ることができるもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。また、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第3章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q28 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計しています。

「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）

授業評価アンケートについて、昨年度に引き続き、部門別・形態別の「経年変化比較表」を作成し、4年間の数値の変化を確認した。

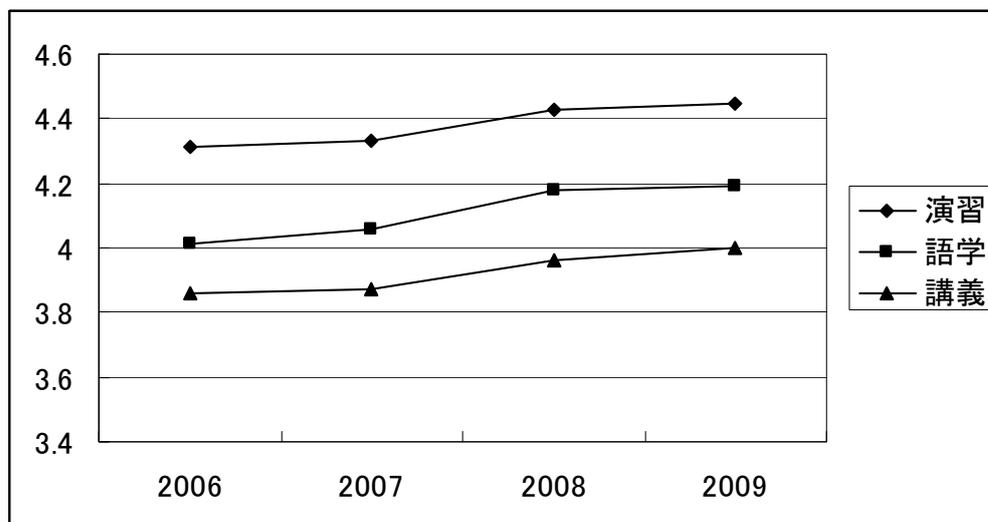
「科目ベース」の部門別・形態別平均で見た場合、いずれの授業形態においてもほとんどの部門で「問2 私は授業に意欲的に取り組んでいる」及び「問5 授業に対する教員の熱意が感じられる」から「問9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」までの回答において、過去4カ年で最高の数値を示している。しかし、演習形式の授業に関しては一部の部門で「問3 この授業のレベルは適切である」及び「問4 この授業を進める速さは適切である」の回答において、数値の低下が見られる。

このことから、学生の授業に対する意欲、教員の授業に対する熱意や取り組みは向上しているものの、教員と学生の間になんげつギャップが生じているように思われる。この点については、今後の授業改善のポイントとして検討すべき課題だろう。

なお、「問1 私はこの授業によく出席している」については、部門・形態によって傾向にバラつきがあるものの、全体的に高い数値を示している。

図表4-2「10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）に見られるように、「講義」、「演習」、「語学」とも、学生の満足度は年々上昇している。これは教員にとっても嬉しい結果であり、今後の授業改善に向けてよいきっかけになると思われるが、数値の上昇は鈍化してきており、学生満足度をより向上させるためにも、上述の教員と学生とのギャップを埋める改善策が必要になるのではないかと。

図表 4-2 「問10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）
（過去4カ年）



第2章 各部門の評価・分析

※比較対象期間は、「全員回答」である訪問番号1～10とする。

【部門別・形態別比較】(対象期間:平成18年度～平成21年度)

	平成21(2009)年度										平成20(2008)年度										平成19(2007)年度										平成18(2006)年度									
	実施率		回答率		回答者ベース		科目ベース		実施率		回答率		回答者ベース		科目ベース		実施率		回答率		回答者ベース		科目ベース		実施率		回答率		回答者ベース		科目ベース									
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差										
計	講義	100.00%	73.34%	3.76	1.098	3.79	0.922	3.66	1.124	3.72	0.938	98.81%	72.18%	3.65	1.181	3.70	0.971	97.62%	73.34%	3.61	1.181	3.65	0.971	97.62%	73.34%	3.61	1.181	3.65	0.971											
	演習	98.93%	75.74%	4.15	0.928	4.16	0.460	4.11	0.917	4.14	0.440	99.18%	74.71%	4.09	0.988	4.13	0.466	99.59%	74.08%	4.06	1.005	4.10	0.513	99.59%	74.08%	4.06	1.005	4.10	0.513											
	外化	98.10%	71.42%	4.54	0.729	4.56	0.916	4.50	0.741	4.52	0.918	99.12%	68.08%	4.43	0.877	4.45	0.997	100.00%	68.11%	4.44	0.880	4.44	0.930	100.00%	68.11%	4.44	0.880	4.44	0.930											
入基礎	講義	100.00%	38.71%	4.04	0.973	4.06	0.461	3.98	0.969	4.00	0.499	98.33%	37.50%	3.94	1.082	3.99	0.535	98.41%	36.94%	3.81	1.139	3.98	0.549	98.41%	36.94%	3.81	1.139	3.98	0.549											
	演習	100.00%	32.93%	3.83	1.151	3.83	-	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998	3.71	0.998									
	計	100.00%	38.67%	4.04	0.974	4.05	0.461	3.98	0.969	4.00	0.441	98.33%	37.50%	3.94	1.082	3.99	0.535	98.41%	36.94%	3.81	1.139	3.98	0.549	98.41%	36.94%	3.81	1.139	3.98	0.549											
法学部	講義	98.61%	32.72%	3.94	1.037	3.97	0.496	3.83	1.077	3.86	0.526	100.00%	30.98%	3.79	1.153	3.86	0.580	98.01%	34.59%	4.31	0.905	3.87	0.560	98.01%	34.59%	4.31	0.905	3.87	0.560											
	演習	100.00%	74.13%	4.30	0.878	4.38	0.417	4.45	0.762	4.47	0.378	97.67%	73.92%	4.36	0.873	4.39	0.445	95.35%	74.97%	3.82	1.144	4.35	0.443	95.35%	74.97%	3.82	1.144	4.35	0.443											
	計	99.15%	35.38%	3.99	1.025	4.13	0.508	4.11	1.063	3.91	0.858	99.15%	32.89%	3.85	1.141	4.05	0.592	97.06%	36.54%	3.86	1.128	4.04	0.569	97.06%	36.54%	3.86	1.128	4.04	0.569											
経済学部	講義	99.30%	32.43%	3.91	1.063	4.00	0.520	3.86	1.054	3.98	0.541	99.37%	33.85%	3.88	1.130	4.03	0.585	98.74%	33.24%	4.19	0.946	3.97	0.569	98.74%	33.24%	4.19	0.946	3.97	0.569											
	演習	94.17%	84.24%	4.55	0.706	4.55	0.352	4.46	0.809	4.48	0.428	96.75%	81.39%	4.42	0.868	4.42	0.467	93.16%	77.49%	3.70	1.172	4.41	0.474	93.16%	77.49%	3.70	1.172	4.41	0.474											
	計	96.96%	36.59%	4.03	1.037	4.25	0.530	3.97	1.040	3.97	0.553	98.22%	37.77%	3.98	1.107	4.20	0.571	96.38%	36.79%	3.91	1.123	4.15	0.574	96.38%	36.79%	3.91	1.123	4.15	0.574											
文学部	講義	97.59%	56.62%	4.03	0.944	4.10	0.416	4.24	0.875	4.03	0.469	99.36%	56.13%	3.98	1.058	4.03	0.553	97.62%	55.92%	3.94	1.071	4.08	0.564	97.62%	55.92%	3.94	1.071	4.08	0.564											
	演習	95.08%	74.57%	4.32	0.811	4.34	0.383	3.97	0.980	4.29	0.425	98.48%	70.30%	4.21	0.935	4.25	0.471	98.37%	70.70%	3.97	1.069	4.23	0.472	98.37%	70.70%	3.97	1.069	4.23	0.472											
	計	95.93%	63.80%	4.17	0.896	4.26	0.411	4.09	0.943	4.20	0.457	98.81%	62.53%	4.07	1.017	4.17	0.515	98.06%	61.18%	4.06	1.026	4.17	0.517	98.06%	61.18%	4.06	1.026	4.17	0.517											
理学部	講義	99.12%	52.99%	3.69	1.125	3.74	0.568	4.24	0.875	3.77	0.589	97.39%	52.58%	3.75	1.160	3.83	0.603	97.32%	51.51%	4.10	1.013	3.74	0.597	97.32%	51.51%	4.10	1.013	3.74	0.597											
	演習	100.00%	65.48%	3.94	1.047	3.88	0.519	3.82	1.036	3.79	0.509	96.77%	64.78%	3.79	1.146	3.77	0.575	100.00%	56.24%	4.35	0.904	3.59	0.617	100.00%	56.24%	4.35	0.904	3.59	0.617											
	計	99.33%	55.91%	3.76	1.110	3.77	0.560	3.74	1.087	3.77	0.572	97.26%	55.28%	3.76	1.156	3.82	0.598	97.79%	52.37%	3.68	1.176	3.71	0.603	97.79%	52.37%	3.68	1.176	3.71	0.603											
教職課程	講義	100.00%	65.54%	4.18	0.917	4.18	0.409	3.88	0.841	4.26	0.348	100.00%	67.91%	4.19	0.965	4.22	0.489	100.00%	64.63%	4.15	0.971	4.14	0.511	100.00%	64.63%	4.15	0.971	4.14	0.511											
	演習	100.00%	80.72%	4.43	0.836	4.40	0.398	4.37	0.846	4.42	0.369	100.00%	83.59%	4.38	0.855	4.42	0.418	98.33%	80.56%	4.39	0.868	4.40	0.424	98.33%	80.56%	4.39	0.868	4.40	0.424											
	計	100.00%	71.55%	4.29	0.891	4.30	0.417	3.95	0.846	4.32	0.370	100.00%	75.67%	4.29	0.912	4.31	0.456	98.92%	72.61%	4.24	0.961	4.31	0.473	98.92%	72.61%	4.24	0.961	4.31	0.473											
学芸員	講義	100.00%	68.80%	4.20	0.872	4.28	0.378	4.03	0.903	4.17	0.386	100.00%	70.27%	4.12	0.965	4.18	0.463	90.91%	67.10%	3.61	1.190	4.28	0.488	90.91%	67.10%	3.61	1.190	4.28	0.488											
	演習	100.00%	80.24%	4.56	0.650	4.55	0.280	4.55	0.685	4.55	0.322	100.00%	81.54%	4.50	0.747	4.50	0.403	90.00%	80.25%	4.53	0.725	4.53	0.341	90.00%	80.25%	4.53	0.725	4.53	0.341											
	計	100.00%	70.37%	4.26	0.851	4.42	0.357	4.10	0.894	4.35	0.409	100.00%	71.67%	4.17	0.947	4.35	0.466	90.48%	69.18%	4.22	0.943	4.40	0.441	90.48%	69.18%	4.22	0.943	4.40	0.441											
合計	98.07%	50.33%	4.06	0.992	4.17	0.499	4.01	1.005	4.14	0.513	98.81%	48.73%	3.98	1.081	4.12	0.551	98.12%	49.03%	3.96	1.088	4.10	0.558	98.12%	49.03%	3.96	1.088	4.10	0.558												

I. 法 学 部

1. 集計データからわかること

まず講義については、アンケートの回収率は 33%で前年度とほぼ同じであるが、回答した学生に限れば問 1 で「出席率 90%以上」と回答した者は 71%であり、尺度平均値も 4.50 と 2006 年以降で最も高くなっている。授業への意欲的な取り組み（問 2）に関しても、「強くそう思う」または「そう思う」と回答した学生は 52%と昨年度の 43%から一定の改善が認められ、尺度平均値も 3.55 とやはり 2006 年度以降の最高値となっている。次に授業のレベル（問 3）、進度（問 4）、理解のしやすさ（問 7）、話し方（問 8）、教材の内容（問 12）については、いずれも 3 分の 2 前後の回答者が適切であると答えており、さらに学習環境への配慮（問 6）、知的好奇心の刺激（問 9）では約 7 割、教員の熱意（問 5）についてはほぼ 8 割の回答者が肯定的に回答するなど概ね好評価といえる。授業の総合的評価（問 10）も 72%の回答者が肯定的に回答しており、尺度平均値も 3.99（過去最高）と着実な改善が認められる。なお、授業の総合的評価と最も相関の高い項目は問 7 (0.80)と問 9 (0.78)であり、「知的好奇心を刺激し、なおかつ理解しやすい」授業が高い評価を得ていることが窺える。

次に演習に関しては回収率が 74%と講義と比較すれば非常に高いが、2008 年度の 83%からは低下が見られる。ただし、ここでも回答した学生に限れば問 1 で「出席率 90%以上」と回答した者は 71%で、尺度平均値に関しても昨年度からの悪化は見られない。しかし授業への意欲的な取り組み（問 2）に関しては、「強くそう思う」または「そう思う」と回答した学生は 75%と昨年度の 81%から若干の低下が見られ、尺度平均値も 4.25 から 4.09 へと下がっている。それ以外の各評価項目に対する肯定的な回答の比率は、授業のレベル（問 3）74%、課題への取り組みのサポート（問 14）75%、活発な議論の促進（問 13）77%、授業進度（問 4）80%、学習環境への配慮（問 6）82%、理解のしやすさ（問 7）83%、話し方（問 8）85%、知的好奇心の刺激（問 9）85%、教員の熱意（問 5）87%等となっており、概ね良好と考えられるが、いずれの項目についても尺度平均値は 2008 年度よりも若干低くなっている。なお、演習に関しても総合的評価と最も相関の高い項目は知的好奇心の刺激(0.79)と理解のしやすさ(0.78)である。

2. 今後の授業改善に向けて

講義科目に関して、相対的に最も評価の低かった項目は板書・スライドの提示の仕方（問 11：肯定的回答の比率 58%、尺度平均値 3.69）であった。この項目は総合的評価との相関も 0.64 と決して低くはなく、その改善の重要度は高いと言えよう。同時にこの項目は標準偏差も大きく、科目間、教員間でのばらつきが大きいことが分かる。法学部が 2010 年度に実施している教員相互の授業参観は、こうした点についてすぐれた授業を行っている同僚から学ぶ機会を持つということで、授業の改善に大きく資するものと期待される。な

第2章 各部門の評価・分析

お、授業への出席率(問1)と他の評価項目との相関を見ると、学生自身の意欲(問2:0.37)、教員の熱意(問5:0.19)等との相関が相対的には高いが、全体的に相関係数は小さく、この問題に関しては何らかの別の側面からの検討が必要であることが示唆される。

演習科目に関しては、多くの項目において評価のピークであった2008年度から若干の低下が見られ、またアンケートの回収率自体も低下している。ただしこれには就職状況等の要因も影響していると考えられ、もう1～2年の推移を見る必要がある。



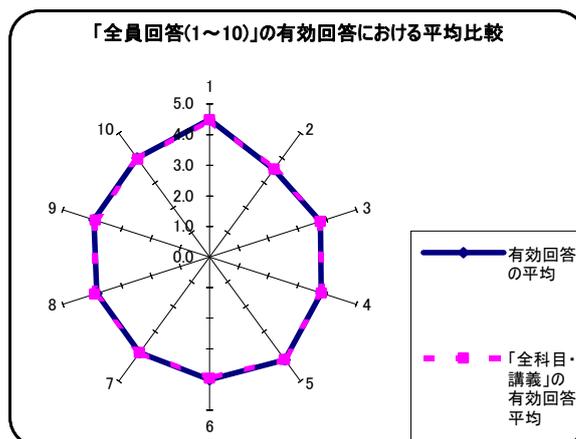
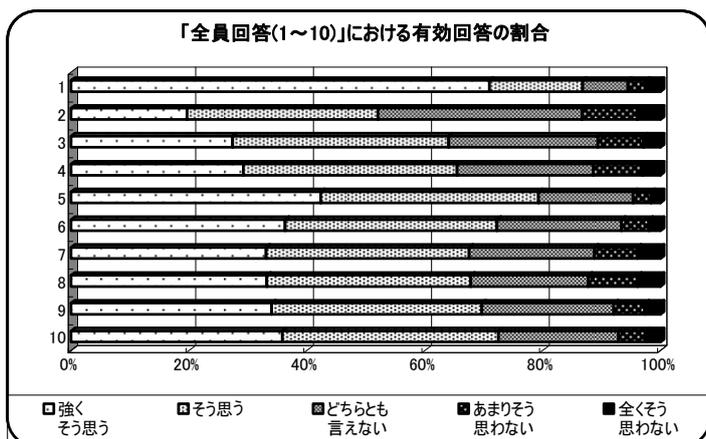
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,279	28,357	32.72%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	6,578	1,464	713	286	225	13	9,279	4.50	0.938	4.47	0.270
			70.89%	15.78%	7.68%	3.08%	2.42%	0.14%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,822	3,001	3,200	869	364	23	9,279				
			19.64%	32.34%	34.49%	9.37%	3.92%	0.25%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,536	3,388	2,340	716	266	33	9,279				
			27.33%	36.51%	25.22%	7.72%	2.87%	0.36%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,704	3,358	2,142	766	284	25	9,279				
			29.14%	36.19%	23.08%	8.26%	3.06%	0.27%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,918	3,415	1,489	281	145	31	9,279				
			42.22%	36.80%	16.05%	3.03%	1.56%	0.33%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3,363	3,325	1,955	433	179	24	9,279					
		36.24%	35.83%	21.07%	4.67%	1.93%	0.26%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	3,062	3,184	1,964	674	362	33	9,279					
		33.00%	34.31%	21.17%	7.26%	3.90%	0.36%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,073	3,200	1,840	778	357	31	9,279					
		33.12%	34.49%	19.83%	8.38%	3.85%	0.33%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,148	3,298	2,069	487	242	35	9,279					
		33.93%	35.54%	22.30%	5.25%	2.61%	0.38%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,301	3,372	1,871	438	222	75	9,279					
		35.57%	36.34%	20.16%	4.72%	2.39%	0.81%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,560	2,845	2,252	895	437	290	9,279	3.69	1.129	3.73	0.504
			27.59%	30.66%	24.27%	9.65%	4.71%	3.13%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,902	3,123	2,183	537	225	309	9,279					
		31.27%	33.66%	23.53%	5.79%	2.42%	3.33%	100.00%					



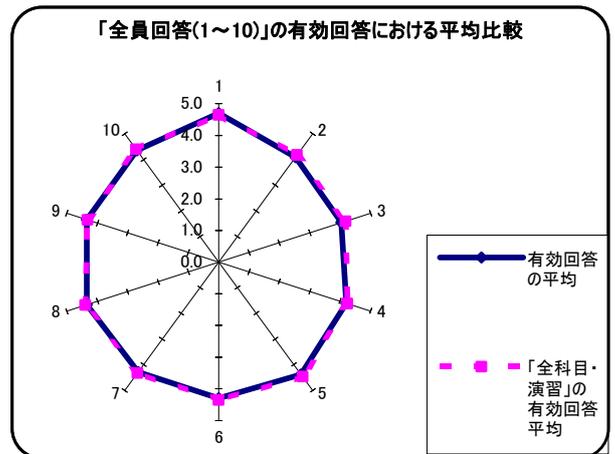
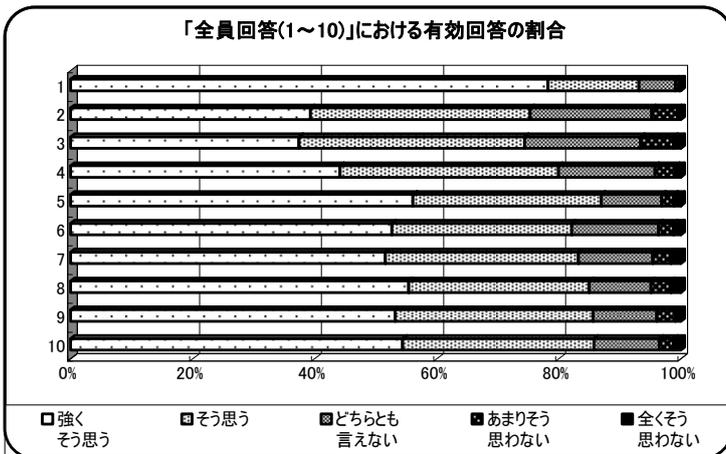
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,441	1,944	74.13%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,127	214	86	10	3	1	1,441	4.70	0.629	4.69	0.269
			78.21%	14.85%	5.97%	0.69%	0.21%	0.07%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	566	518	287	60	8	2	1,441	4.09	0.895	4.18	0.390
			39.28%	35.95%	19.92%	4.16%	0.56%	0.14%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	538	531	274	77	17	4	1,441	4.04	0.941	4.10	0.422
			37.34%	36.85%	19.01%	5.34%	1.18%	0.28%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	636	515	227	49	12	2	1,441	4.19	0.880	4.25	0.367
			44.14%	35.74%	15.75%	3.40%	0.83%	0.14%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	808	444	142	29	16	2	1,441	4.39	0.831	4.45	0.379
			56.07%	30.81%	9.85%	2.01%	1.11%	0.14%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	758	425	205	35	17	1	1,441	4.30	0.885	4.40	0.387	
		52.60%	29.49%	14.23%	2.43%	1.18%	0.07%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	743	455	175	43	23	2	1,441	4.29	0.905	4.40	0.429	
		51.56%	31.58%	12.14%	2.98%	1.60%	0.14%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	797	425	146	47	23	3	1,441	4.34	0.903	4.43	0.431	
		55.31%	29.49%	10.13%	3.26%	1.60%	0.21%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	762	465	150	43	13	8	1,441	4.34	0.850	4.44	0.382	
		52.88%	32.27%	10.41%	2.98%	0.90%	0.56%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	777	447	153	33	17	14	1,441	4.36	0.852	4.45	0.404	
		53.92%	31.02%	10.62%	2.29%	1.18%	0.97%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	662	453	186	34	19	87	1,441	4.26	0.887	4.32	0.447
			45.94%	31.44%	12.91%	2.36%	1.32%	6.04%	100.00%				
14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	661	414	212	45	20	89	1,441	4.22	0.929	4.29	0.457	
		45.87%	28.73%	14.71%	3.12%	1.39%	6.18%	100.00%					



相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.371(**)	1										
Q3	.168(**)	.499(**)	1									
Q4	.123(**)	.420(**)	.752(**)	1								
Q5	.191(**)	.434(**)	.557(**)	.564(**)	1							
Q6	.137(**)	.388(**)	.475(**)	.496(**)	.595(**)	1						
Q7	.130(**)	.449(**)	.716(**)	.713(**)	.640(**)	.589(**)	1					
Q8	.113(**)	.393(**)	.632(**)	.726(**)	.577(**)	.515(**)	.773(**)	1				
Q9	.187(**)	.516(**)	.627(**)	.598(**)	.615(**)	.511(**)	.687(**)	.635(**)	1			
Q10	.189(**)	.518(**)	.701(**)	.689(**)	.688(**)	.601(**)	.800(**)	.728(**)	.784(**)	1		
Q11	.124(**)	.398(**)	.552(**)	.586(**)	.521(**)	.478(**)	.653(**)	.623(**)	.545(**)	.636(**)	1	
Q12	.157(**)	.401(**)	.581(**)	.586(**)	.548(**)	.508(**)	.636(**)	.590(**)	.569(**)	.650(**)	.706(**)	1

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.270(**)	1										
Q3	.103(**)	.534(**)	1									
Q4	.084(**)	.450(**)	.707(**)	1								
Q5	.057(*)	.397(**)	.530(**)	.624(**)	1							
Q6	.064(*)	.427(**)	.511(**)	.574(**)	.678(**)	1						
Q7	.069(**)	.470(**)	.631(**)	.669(**)	.664(**)	.683(**)	1					
Q8	.041	.373(**)	.534(**)	.609(**)	.620(**)	.611(**)	.775(**)	1				
Q9	.081(**)	.472(**)	.535(**)	.531(**)	.599(**)	.566(**)	.665(**)	.631(**)	1			
Q10	.066(*)	.467(**)	.623(**)	.644(**)	.693(**)	.652(**)	.757(**)	.742(**)	.779(**)	1		
Q13	.051	.380(**)	.476(**)	.479(**)	.560(**)	.580(**)	.557(**)	.540(**)	.584(**)	.617(**)	1	
Q14	.061(*)	.400(**)	.488(**)	.506(**)	.576(**)	.568(**)	.611(**)	.576(**)	.610(**)	.674(**)	.689(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

部門名 法学部
形態名 講義

			2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.50	0.938	4.47	0.270	4.39	1.053	4.35	0.383	4.39	1.021	4.37	0.301	4.41	1.029	4.39	0.296
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.55	1.032	3.57	0.393	3.38	1.054	3.40	0.426	3.23	1.003	3.30	0.359	3.24	1.041	3.31	0.422
	3	この授業のレベルは適切である	3.78	1.024	3.78	0.459	3.68	1.030	3.69	0.471	4.12	1.302	4.13	0.542	4.16	1.252	4.12	0.512
	4	この授業を進める速さは適切である	3.80	1.045	3.82	0.451	3.70	1.069	3.74	0.483	4.08	1.359	4.20	0.582	4.17	1.258	4.26	0.467
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.15	0.907	4.19	0.391	4.07	0.941	4.08	0.408	3.88	0.949	3.93	0.436	3.89	0.955	3.93	0.448
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.00	0.967	4.09	0.360	3.92	1.003	4.00	0.384	3.79	1.020	3.88	0.452	3.72	1.063	3.89	0.489
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.86	1.080	3.88	0.539	3.75	1.111	3.79	0.552	3.55	1.122	3.64	0.592	3.60	1.095	3.66	0.532
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.85	1.092	3.88	0.548	3.74	1.132	3.81	0.580	3.51	1.150	3.63	0.599	3.56	1.109	3.66	0.535
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.93	1.003	3.98	0.436	3.79	1.050	3.87	0.469	3.62	1.048	3.73	0.504	3.61	1.052	3.70	0.478
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.99	0.985	4.02	0.465	3.87	1.013	3.91	0.496	3.71	1.022	3.80	0.536	3.75	1.003	3.82	0.486
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.69	1.129	3.73	0.504	3.61	1.135	3.62	0.557	3.31	1.157	3.43	0.607	3.30	1.136	3.38	0.535
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.89	1.009	3.92	0.382	3.77	1.039	3.83	0.464	3.58	1.045	3.73	0.496	3.61	1.004	3.70	0.434

部門名 法学部
形態名 演習

			2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.70	0.629	4.69	0.269	4.69	0.659	4.66	0.371	4.70	0.628	4.64	0.390	4.65	0.692	4.63	0.314
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.09	0.895	4.18	0.390	4.25	0.791	4.28	0.347	4.06	0.843	4.07	0.405	3.96	0.884	4.04	0.421
	3	この授業のレベルは適切である	4.04	0.941	4.10	0.422	4.15	0.893	4.16	0.453	4.14	1.189	4.16	0.540	4.20	1.204	4.21	0.532
	4	この授業を進める速さは適切である	4.19	0.880	4.25	0.367	4.32	0.811	4.33	0.368	4.57	0.960	4.56	0.407	4.60	0.963	4.63	0.325
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.39	0.831	4.45	0.379	4.55	0.693	4.58	0.320	4.40	0.743	4.42	0.368	4.31	0.784	4.35	0.394
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.30	0.885	4.40	0.387	4.50	0.709	4.54	0.291	4.34	0.810	4.40	0.374	4.25	0.841	4.31	0.378
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.29	0.905	4.40	0.429	4.48	0.735	4.50	0.347	4.28	0.866	4.33	0.443	4.22	0.860	4.27	0.427
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.34	0.903	4.43	0.431	4.49	0.727	4.52	0.320	4.35	0.830	4.42	0.384	4.23	0.898	4.32	0.446
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.34	0.850	4.44	0.382	4.53	0.715	4.58	0.315	4.38	0.784	4.43	0.402	4.28	0.843	4.34	0.423
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.36	0.852	4.45	0.404	4.54	0.701	4.56	0.319	4.41	0.787	4.44	0.429	4.34	0.793	4.40	0.422
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.26	0.887	4.32	0.447	4.48	0.755	4.49	0.343	4.33	0.835	4.38	0.406	4.25	0.851	4.33	0.419
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.22	0.929	4.29	0.457	4.42	0.791	4.46	0.386	4.24	0.899	4.30	0.510	4.19	0.880	4.26	0.471

Ⅱ. 経済学部

1. 授業評価の概要

図表1は2009年度の授業評価の概要を示している。まず分野別の評価結果(各分野の「平均値」)をみると、講義では、いずれの分野も4点(「そう思う」の回答に対応する)前後の水準であるが、そのなかでも評価の高い分野は「教員のクラス・マネジメント」(4.08点)と「総合評価」(4.07点)であり、低い分野は「授業内容」(3.89点)、中間分野は「授業への学生関与」(3.98点)と「教員のティーチング・スキル」(4.02点)である。同様に演習についても、いずれの分野も4.5点前後であるが、そのなかにあって評価の高い分野は「総合評価」(4.61点)と「授業への学生関与」(4.59点)であり、低い分野は「授業内容」(4.47点)、

図表1 授業評価の概要(2009年度)

分野	設問番号	個別設問	講義	演習	演習と講義の差異
授業への学生関与	1	私はこの授業によく出席している	4.36	4.75	0.39
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.60	4.43	0.83
	平均値		3.98	4.59	0.61
授業内容	3	この授業のレベルは適切である	3.82	4.36	0.54
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.97	4.58	0.61
	平均値		3.89	4.47	0.58
教員のティーチング・スキル	4	この授業を進める速さは適切である	3.89	4.45	0.56
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.19	4.61	0.42
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.99	4.57	0.58
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.05	4.60	0.56
	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.90	-	-
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.99	-	-
平均値		4.02	4.56	0.54	
教員のクラス・マネジメント	6	教員は教室内在が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	4.08	4.56	0.48
	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	-	4.53	-
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-	4.55	-
平均値		4.08	4.55	0.46	
総合評価	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.07	4.61	0.54

中間分野は「教員のティーチング・スキル」(4.56点)と「教育のクラス・マネジメント」(4.55点)である。つまり、講義、演習にかかわらず「授業内容」の評価が低いこと、相対的にみて演習では「授業への学生関与」、講義では「教員のクラス・マネジメント」の評価が高いことに特徴がある。

つぎに総合評価以外の個別設問の結果をみると、講義、演習に関わらず、「私はこの授業によく出席している」「授業に対する教員の熱意が感じられる」の評価が高く、「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」「この授業のレベルは適切である」「この授業を進める速さは適切である」の評価が低い。

最後に講義と演習の評価の違いを整理すると、つぎのような特徴がみられる。図表1の「演習と講義の差異」の欄をみてもらうと、講義に比べて演習の評価は全ての分野において高いが、そのなかにあって差異の大きい分野は「授業の学生関与」と「授業内容」である。その原因を確認するために両分野の個別設問の結果をみると、上記の大きな差異は、学生が講義に比べて演習に対して、授業内容に魅力を感じ(「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」)、授業に意欲的に取り組んでいる(「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」)からである。演習に対する高い評価の背景にはこのようなことがあり、授業に対する学生の積極的な関与を引き出し、魅力ある授業を学生に提供するには、演習を中心とした少人数教育の充実をはかることが重要であることが改めて確認されたといえよう。

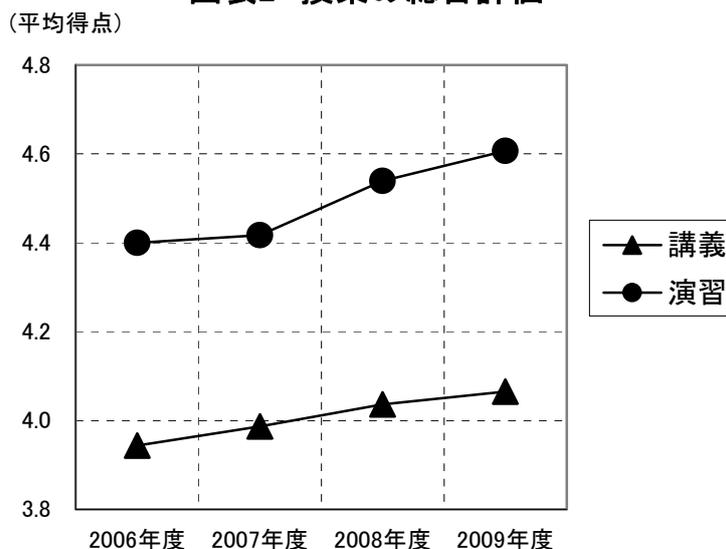
2. 授業はどのように改善されてきたのか

(改善が進む総合評価)

2009年度の授業に対する学生の総合評価(「総合的に見てこの授業は高く評価できる」の設問による評価)は上記したようにきわめて肯定的である。講義は4.1点、演習は4.6点とともに4点(「そう思う」)を超え、とくに少人数教育の典型である演習の評価は5点(「強くそう思う」)に近い水準にある。

以上の総合評価はこれ

図表2 授業の総合評価



(注)「総合的に見てこの授業は高く評価できる」の回答結果である

までどのように変化してきたのか。図表 2 に示してあるように、講義、演習ともに確実に評価が改善され、総合評価の平均得点は 2006 年度と 2009 年度の間に講義では 0.12 点、演習では 0.21 点向上している。さらに注目すべきことは、演習に対する評価がここ 2 年で (2008 年度以降) 大幅に改善していることであり、ここ数年の経済学部の演習運営の改善努力が反映していると考えられる。

(分野別の変化をみる)

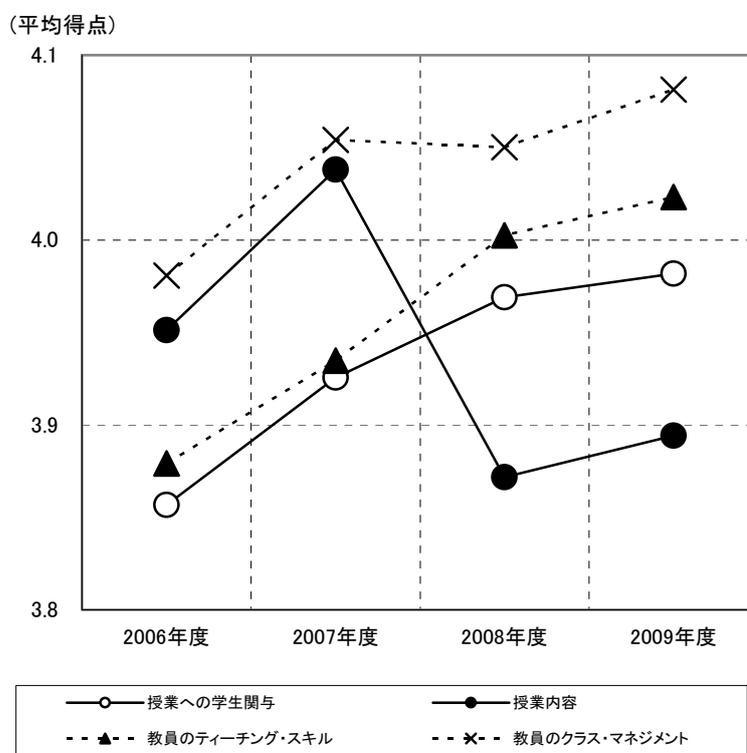
以上の総合評価の向上の背景として、何が考えられるのか。それを確認するために、授業評価の変化を分野別にみることにする。

まず講義についてみると (図表 3 を参照)、「教員のクラス・マネジメント」「教員のティーチング・スキル」「授業への学生関与」は確実に改善しており、こうしたことが総合評価の向上に結びついていると考えられる。

ただし、「授業内容」の評価が 2008 年度から大きく低下している。その背景を明らかにするために、「授業内容」を構成する個別設問の結果についてみると、「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の評価がわずかではあるが向上しているにもかかわらず、「この授業のレベルは適切である」の評価が 2008 年度以降顕著に低下している。講義については、授業レベルの設定に工夫を加えていく必要があるようだ。

同様に演習についてみると (図表 4 を参照)、「授業への学生関与」、「授業内容」、「教員のティーチング・スキル」、「教員のクラス・マネジメント」のいずれの分野も評価は確実に改善しており、それが総合評価の改善に結びついていると思われる。とくに「教員のクラス・マネジメント」の改善が顕著であり、その背景には、「教員は教室内が学習にふさわしい状態になるよう心がけている」、「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」の個別設問の評価の向上がある。

図表3 授業の分野別評価(講義)



3. 経済学部の特徴は何か

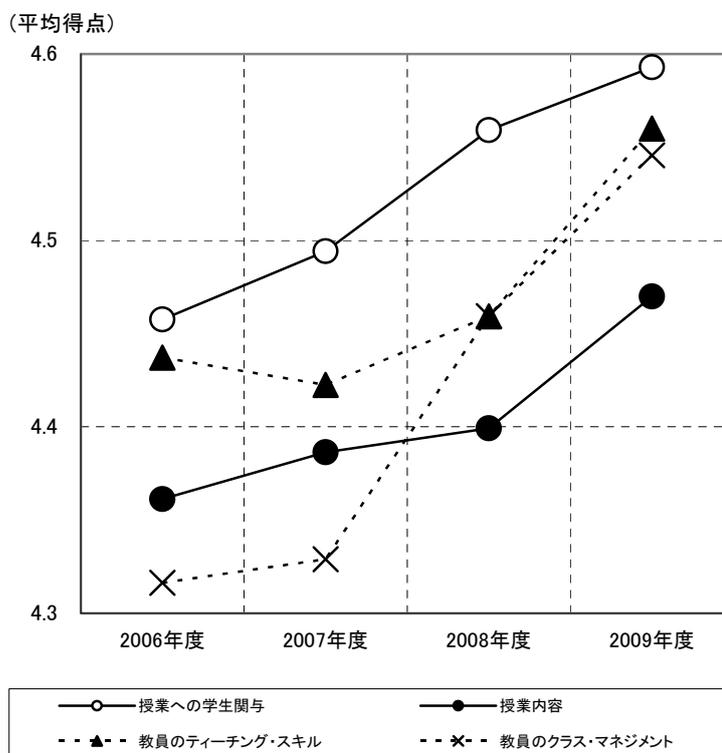
それでは、以上の経済学部の授業評価は他学部と比較すると、どのような特徴があるのか。ここでは3学部平均(経済学部、法学部、文学部の平均値)との比較を行うこととする。

まず講義についてみると(図表5を参照)、経済学部は「教員のクラス・マネジメント」と「教員のティーチング・スキル」では3学部平均と同水準の評価であるが、「授業への学生関与」と「授業内容」の評価は低い。この低い評価の背景を把握するために個別設問まで

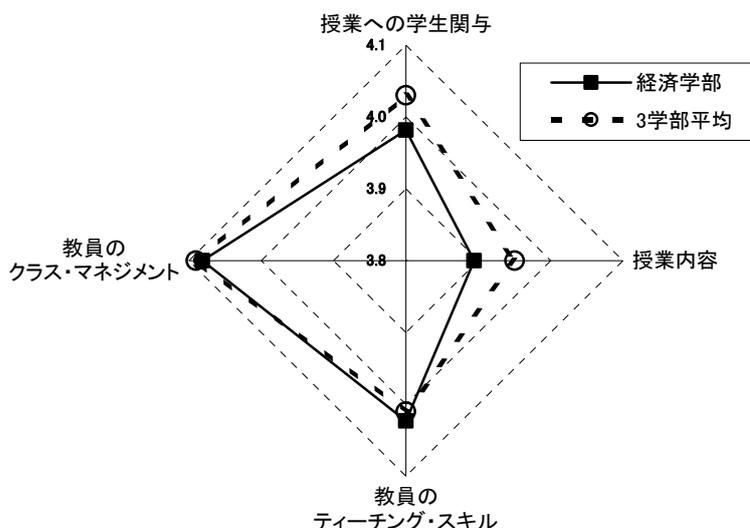
おりてみてみると、「授業への学生関与」では、「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」と「私はこの授業によく出席している」がともに低い評価である。それに対して「授業内容」については、「この授業のレベルは適切である」に比べて「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の評価が厳しい。

つぎに演習についてみると(図表6を参照)、第一に、どの分野をみても経済学部の値が3学部平均を上まわるとともに、得点の差異は分野に関わらず同じ水準である。つまり、経済学部の評価はどの側面についても満遍なく他学部を上まわっている。個別設問においてみると、「授業への学生関与」分野では「私はこの授業に意欲的に取り

図表4 授業の分野別評価(演習)

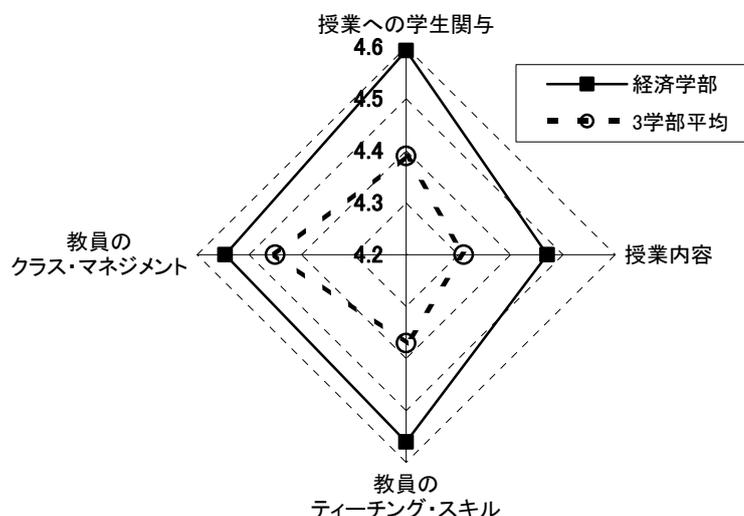


図表5 他学部比較(講義)



組んでいる」、「授業内容」分野では「この授業のレベルは適切である」、「教員のティーチング・スキル」分野では「この授業を進める速さは適切である」、「教員のクラス・マネジメント」分野では「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」の評価が3学部平均に比べてとくに高くなっている。

図表6 他学部比較(演習)



4. 今後の改善の方向を考える

以上の授業評価の結果を踏まえると、この間の経済学部の努力によって改善された点と、今後さらに改善に取り組まねばならない点が明らかになる。まず、改善が進んだ主要な点を確認すると以下になる。

- (1) これまでの授業運営を改善する努力の結果、講義、演習ともに学生の評価は確実に改善されており、とくに2008年度以降は演習運営の質が大幅に向上している。
- (2) その背景には、講義については、教員のクラス・マネジメントとティーチング・スキルが改善されたことと、学生の授業に対する取組みが積極的になったことがある。演習については、授業運営のあらゆる面で改善がみられるが、とくに教員のクラス・マネジメントの向上が目立っている。
- (3) 他学部と比較した経済学部の強みは演習にあり、学生が評価する授業運営の質はどの面をみても他学部を上まわっている。

さらに、経済学部の「強み」と「弱み」を踏まえると、以下の点が今後取り組むべき主要な課題になろう。

第一には、講義、演習にかかわらず「授業内容」の評価が全般的に低いこと、講義では「授業内容」の評価が2008年度から低下し、他学部と比較しても低いことから、講義を中心に授業内容の改善が必要である。

第二には、経済学部の強みである演習をさらに伸ばしていくことが重要な課題になる。具体的には、授業に対する学生の積極的な関与を引き出し、魅力ある授業を学生に提供するには、演習を中心とした少人数教育の充実をはかることが重要である。



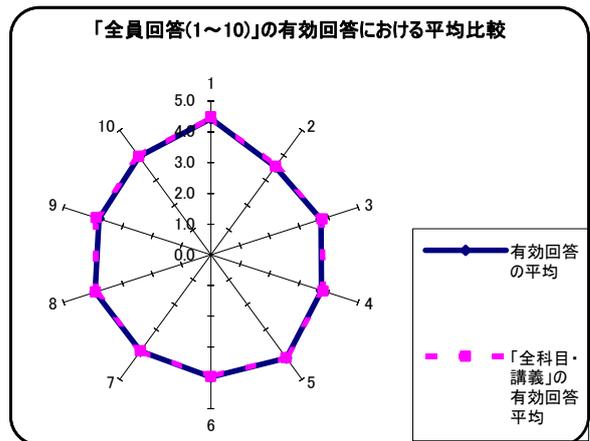
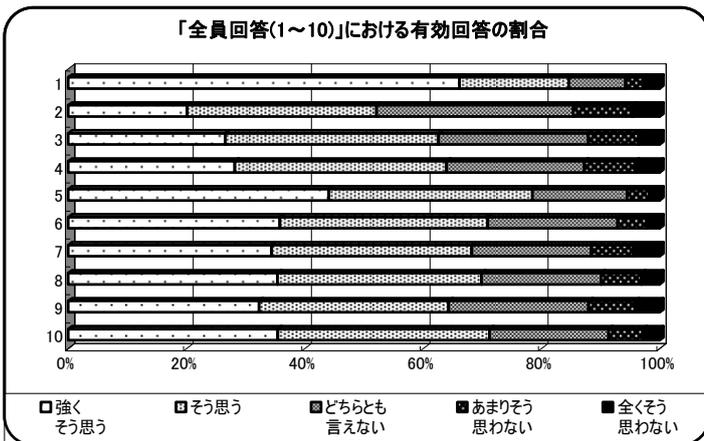
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	6,912	21,281	32.48%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4,565 66.04%	1,275 18.45%	664 9.61%	213 3.08%	182 2.63%	13 0.19%	6,912 100.00%	4.42	0.969	4.36	0.368
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,386 20.05%	2,207 31.93%	2,290 33.13%	689 9.97%	317 4.59%	23 0.33%	6,912 100.00%	3.53	1.062	3.60	0.468
	3	この授業のレベルは適切である	1,829 26.46%	2,483 35.92%	1,742 25.20%	589 8.52%	240 3.47%	29 0.42%	6,912 100.00%	3.74	1.052	3.82	0.493
	4	この授業を進める速さは適切である	1,943 28.11%	2,465 35.66%	1,607 23.25%	593 8.58%	285 4.12%	19 0.27%	6,912 100.00%	3.75	1.082	3.89	0.503
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,033 43.88%	2,374 34.35%	1,101 15.93%	259 3.75%	121 1.75%	24 0.35%	6,912 100.00%	4.15	0.941	4.19	0.451
	6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,465 35.66%	2,421 35.03%	1,514 21.90%	340 4.92%	149 2.16%	23 0.33%	6,912 100.00%	3.97	0.984	4.08	0.446
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,369 34.27%	2,333 33.75%	1,388 20.08%	492 7.12%	306 4.43%	24 0.35%	6,912 100.00%	3.87	1.101	3.99	0.549
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,435 35.23%	2,374 34.35%	1,389 20.10%	473 6.84%	210 3.04%	31 0.45%	6,912 100.00%	3.92	1.049	4.05	0.486
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,218 32.09%	2,203 31.87%	1,626 23.52%	541 7.83%	282 4.08%	42 0.61%	6,912 100.00%	3.81	1.098	3.97	0.533
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,429 35.14%	2,452 35.47%	1,380 19.97%	397 5.74%	194 2.81%	60 0.87%	6,912 100.00%	3.95	1.020	4.07	0.509
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,181 31.55%	2,244 32.47%	1,425 20.62%	537 7.77%	244 3.53%	281 4.07%	6,912 100.00%	3.84	1.084	3.90	0.529
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,228 32.23%	2,294 33.19%	1,474 21.33%	416 6.02%	203 2.94%	297 4.30%	6,912 100.00%	3.90	1.038	3.99	0.489





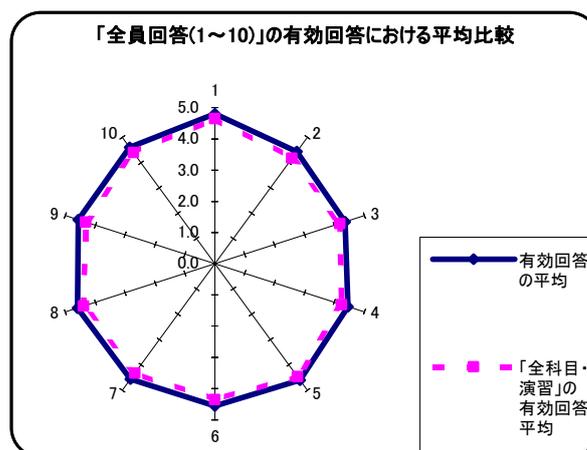
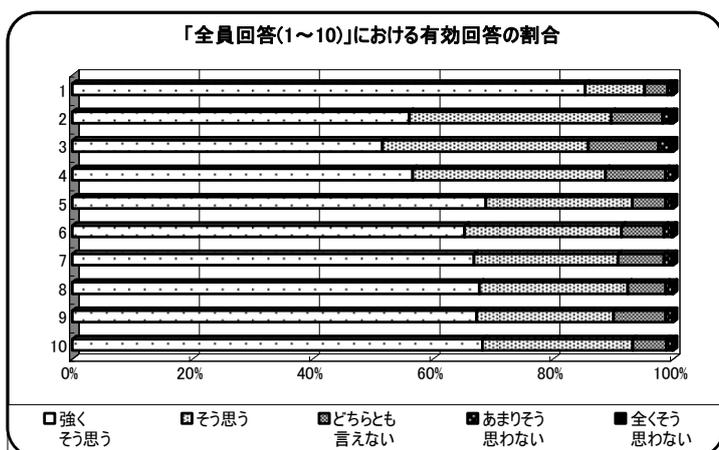
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,545	1,834	84.24%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,318	153	58	10	5	1	1,545	4.79	0.563	4.75	0.319
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	865	519	132	20	7	2	1,545	4.44	0.741	4.43	0.333
	3	この授業のレベルは適切である	796	529	180	32	6	2	1,545	4.35	0.794	4.36	0.404
	4	この授業を進める速さは適切である	874	495	154	20	0	2	1,545	4.44	0.724	4.45	0.339
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,061	375	86	15	4	4	1,545	4.61	0.664	4.61	0.323
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,008	403	109	19	5	1	1,545	4.55	0.708	4.56	0.300
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,032	370	118	20	4	1	1,545	4.56	0.713	4.57	0.350
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,046	381	98	18	1	1	1,545	4.59	0.669	4.60	0.320
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,038	351	134	16	3	3	1,545	4.56	0.711	4.58	0.332
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,046	383	85	15	3	13	1,545	4.60	0.658	4.61	0.338
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	958	368	133	18	4	64	1,545	4.52	0.731	4.53	0.359
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	947	387	127	13	5	66	1,545	4.53	0.717	4.55	0.342



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.381(**)	1										
Q3	.166(**)	.533(**)	1									
Q4	.096(**)	.434(**)	.772(**)	1								
Q5	.158(**)	.439(**)	.546(**)	.548(**)	1							
Q6	.140(**)	.435(**)	.514(**)	.529(**)	.644(**)	1						
Q7	.115(**)	.471(**)	.731(**)	.725(**)	.654(**)	.646(**)	1					
Q8	.083(**)	.418(**)	.637(**)	.700(**)	.591(**)	.590(**)	.774(**)	1				
Q9	.143(**)	.537(**)	.654(**)	.611(**)	.591(**)	.568(**)	.714(**)	.659(**)	1			
Q10	.150(**)	.534(**)	.708(**)	.704(**)	.699(**)	.656(**)	.825(**)	.744(**)	.795(**)	1		
Q11	.126(**)	.427(**)	.541(**)	.569(**)	.565(**)	.545(**)	.665(**)	.627(**)	.572(**)	.669(**)	1	
Q12	.155(**)	.436(**)	.562(**)	.567(**)	.560(**)	.548(**)	.659(**)	.609(**)	.584(**)	.671(**)	.763(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.295(**)	1										
Q3	.137(**)	.536(**)	1									
Q4	.130(**)	.458(**)	.689(**)	1								
Q5	.091(**)	.460(**)	.515(**)	.574(**)	1							
Q6	.078(**)	.430(**)	.452(**)	.518(**)	.612(**)	1						
Q7	.074(**)	.448(**)	.588(**)	.612(**)	.662(**)	.600(**)	1					
Q8	.070(**)	.432(**)	.515(**)	.562(**)	.600(**)	.573(**)	.735(**)	1				
Q9	.045	.494(**)	.512(**)	.510(**)	.568(**)	.511(**)	.643(**)	.594(**)	1			
Q10	.104(**)	.508(**)	.593(**)	.612(**)	.680(**)	.569(**)	.761(**)	.677(**)	.747(**)	1		
Q13	.106(**)	.440(**)	.461(**)	.489(**)	.502(**)	.533(**)	.549(**)	.526(**)	.503(**)	.589(**)	1	
Q14	.070(**)	.422(**)	.414(**)	.440(**)	.541(**)	.469(**)	.549(**)	.533(**)	.499(**)	.573(**)	.663(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.42	0.969	4.36	0.368	4.34	1.061	4.35	0.402	4.34	1.065	4.33	0.422	4.28	1.118	4.30	0.394
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.53	1.062	3.60	0.468	3.44	1.057	3.59	0.531	3.32	1.060	3.52	0.605	3.24	1.087	3.41	0.483
	3	この授業のレベルは適切である	3.74	1.052	3.82	0.493	3.71	1.016	3.82	0.502	4.17	1.270	4.21	0.613	4.10	1.301	4.12	0.663
	4	この授業を進める速さは適切である	3.75	1.082	3.89	0.503	3.73	1.043	3.87	0.491	4.21	1.268	4.36	0.511	4.17	1.260	4.36	0.460
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.15	0.941	4.19	0.451	4.06	0.946	4.15	0.496	3.97	0.951	4.09	0.499	3.91	0.973	4.04	0.489
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.97	0.984	4.08	0.446	3.91	0.993	4.05	0.476	3.84	1.005	4.05	0.489	3.75	1.023	3.98	0.455
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.87	1.101	3.99	0.549	3.84	1.073	3.96	0.581	3.72	1.096	3.90	0.574	3.67	1.084	3.85	0.552
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.92	1.049	4.05	0.486	3.90	1.024	4.03	0.496	3.78	1.046	3.97	0.527	3.75	1.030	3.90	0.471
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.81	1.098	3.97	0.533	3.78	1.077	3.93	0.558	3.66	1.092	3.87	0.569	3.57	1.114	3.79	0.563
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.95	1.020	4.07	0.509	3.93	0.997	4.04	0.527	3.82	1.035	3.99	0.543	3.75	1.026	3.94	0.523
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.84	1.084	3.90	0.529	3.80	1.082	3.89	0.528	3.63	1.122	3.80	0.599	3.56	1.113	3.73	0.592
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.90	1.038	3.99	0.489	3.89	1.008	3.98	0.468	3.75	1.058	3.90	0.527	3.69	1.017	3.87	0.519

部門名 経済学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.79	0.563	4.75	0.319	4.78	0.605	4.75	0.343	4.80	0.576	4.75	0.344	4.79	0.582	4.71	0.379
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.44	0.741	4.43	0.333	4.34	0.829	4.36	0.391	4.23	0.817	4.24	0.386	4.20	0.860	4.20	0.470
	3	この授業のレベルは適切である	4.35	0.794	4.36	0.404	4.27	0.860	4.30	0.416	4.41	1.064	4.41	0.443	4.38	1.084	4.38	0.482
	4	この授業を進める速さは適切である	4.44	0.724	4.45	0.339	4.32	0.851	4.33	0.421	4.65	0.905	4.67	0.337	4.68	0.852	4.71	0.337
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.61	0.664	4.61	0.323	4.49	0.825	4.51	0.454	4.31	0.854	4.31	0.517	4.31	0.821	4.34	0.443
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.55	0.708	4.56	0.300	4.46	0.802	4.47	0.396	4.34	0.826	4.35	0.433	4.26	0.836	4.30	0.429
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.56	0.713	4.57	0.350	4.47	0.812	4.49	0.429	4.33	0.893	4.34	0.516	4.29	0.851	4.34	0.486
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.59	0.669	4.60	0.320	4.51	0.780	4.51	0.418	4.37	0.831	4.37	0.454	4.31	0.847	4.35	0.487
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.56	0.711	4.58	0.332	4.48	0.814	4.50	0.421	4.33	0.864	4.36	0.477	4.31	0.862	4.35	0.470
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.60	0.658	4.61	0.338	4.52	0.772	4.54	0.421	4.41	0.826	4.42	0.480	4.36	0.828	4.40	0.470
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.52	0.731	4.53	0.359	4.46	0.798	4.43	0.448	4.30	0.877	4.31	0.510	4.31	0.855	4.34	0.478
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.53	0.717	4.55	0.342	4.48	0.776	4.47	0.434	4.33	0.839	4.33	0.438	4.27	0.886	4.31	0.499

III. 文 学 部

1. 集計データから分かること

本年度の授業評価アンケートは、講義については延べ 6,625 名（履修者総数の 56.6%）、また演習については延べ 5,807 名（同 74.6%）、合計では 12,432 名（同 63.8%）の学生が回答をした。これは過去 3 年とほぼ同様の水準である。ただし、実施率は 95.9%であり、過去 3 年に比して 2 ないし 3 ポイント低くなっている。

質問項目は後掲の通りであるが、本年度のデータによる項目間の「相関係数表」によれば、講義・演習ともに「Q3 レベルが適切」と「Q4 速さが適切」、「Q7 理解しやすい授業」と「Q8 教員の話し方が適切」、「Q9 新しい知見の獲得」と「Q10 総合的に高い評価」が高い相関を持っていた。これらのほかには、講義では Q10 が Q7・Q8・Q4・Q12「教材が適切」・Q3 と、Q7 が Q3 と、また演習では Q10 が Q7 と高い相関を持っていることが知られた。

講義に関する集計結果では、「Q2 学生の意欲的取り組み」が科目ベースで 3.61 となっており、回答の中心が「4 そう思う」と「3 どちらとも言えない」のおよそ中間にあることが目につく。Q9 は 4.19、Q10 は 4.18 であり、概ね良好である。演習では、科目ベースで Q2 が 4.09 であり、講義におけるほどの値にはなっていない。また Q9 は回答者の約 84%、Q10 では約 87%が「5 強くそう思う」あるいは「4 そう思う」と回答しており、良好である。

これらを過去 3 年分を加えた 4 年間の「経年変化比較表」の中で見てみよう。講義については、「Q1 授業への出席」では有意な変化が認められず、本年度 4.38 の水準がほぼ続いてきている。Q3・Q4 は項目基準が更新された 2008 年度に比し、数値が上昇している。他のほとんどの項目では、2006 年度と 2007 年度がほぼ同水準の値を示した後、2007 年度から上昇している。一方演習については、同様の事情をもつ Q3・Q4 が 2008 年度に比して上昇しており、そして他の全ての項目において 2006 年度から数値が一貫して高くなっている。

文学部における講義・演習の両形態による授業は、ほとんどの項目が問題とは認められない程度の水準にあるとともに、全ての項目で改善傾向を示していた。これらによれば数値の上で基本的に良好な状況にあったことが知られる。

2. 今後の取り組みについて

上記の検討の中で 2 つの留意すべき点があることが知られた。第 1 は、授業アンケートの実施率が 2 ないし 3 ポイント低下したことである。このような動向が続いた場合には、本アンケートの信頼性と実施の意義が損なわれることになるであろう。先に述べたように文学部の授業が基本的に良好な状況にあるのは、教員一人一人が、また学部・学科が中心となって授業の充実に向け不断の努力を重ねてきた結果であることは言を俟たない。その

第2章 各部門の評価・分析

ような傾向や動向は、本アンケートの結果により授業ごとに、あるいは学部全体で確認されることとなる。この意味で本アンケートは客観的指標の一つとして一定の役割を担うものであると言えよう。実施率のこれ以上の低下をくい止め、有効な水準が維持できるよう理解と協力を求めたい。

第2は、講義科目に関し「Q2 学生の意欲的取り組み」（ただし質問項目名は「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習を含む）」）の値が3.61となっており、学生自身が必ずしも意欲的に授業に取り組んでいると認識していないという点である。回答者の全体に占める割合は、「5 強くそう思う」が17.1%、「4 そう思う」が33.7%、「3 どちらとも言えない」が36.5%、「2 あまりそう思わない」が9.9%、「1 全くそう思わない」が2.6%である。経年で見ると2006年度は3.47、2007年度3.37、2008年度3.53であるので、わずかながら上昇傾向にあると見ることができる。これらは様々に問うことが出来る。例えば、果たしてこの値は授業に対する消極性を示すような懸念材料であるのかどうかである。またこの質問項目は何を浮かびあがらせ、その結果はどのように使うべきであるのか（主に学生の参加の有り様を見る項目なのか、それとも授業の充実度を判断する項目なのか）ということ自体も検討の余地があるように思われる。慎重に検討し、必要に応じて対策を立てることが求められる。

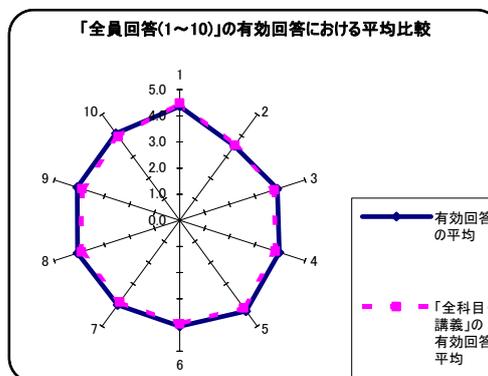
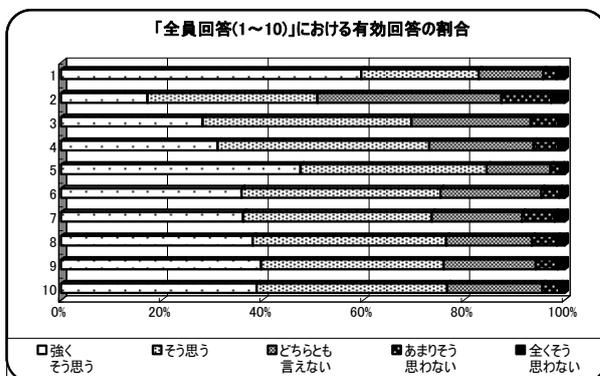
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	6,625	11,700	56.62%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	3,950	1,540	846	180	104	5	6,625	4.37	0.916	4.38	0.345
			59.62%	23.25%	12.77%	2.72%	1.57%	0.08%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,134	2,234	2,416	658	173	10	6,625	3.53	0.974	3.61	0.355
			17.12%	33.72%	36.47%	9.93%	2.61%	0.15%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,862	2,742	1,565	362	83	11	6,625	3.90	0.916	3.96	0.342
			28.11%	41.39%	23.62%	5.46%	1.25%	0.17%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,059	2,778	1,372	322	87	7	6,625	3.97	0.911	4.03	0.359
			31.08%	41.93%	20.71%	4.86%	1.31%	0.11%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,149	2,446	839	137	49	5	6,625	4.29	0.819	4.34	0.322
			47.53%	36.92%	12.66%	2.07%	0.74%	0.08%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,371	2,613	1,325	235	73	8	6,625	4.05	0.893	4.11	0.335	
		35.79%	39.44%	20.00%	3.55%	1.10%	0.12%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,393	2,476	1,185	430	130	11	6,625	3.99	0.989	4.07	0.409	
		36.12%	37.37%	17.89%	6.49%	1.96%	0.17%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,520	2,541	1,123	327	102	12	6,625	4.07	0.940	4.13	0.404	
		38.04%	38.35%	16.95%	4.94%	1.54%	0.18%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,628	2,399	1,209	286	92	11	6,625	4.09	0.933	4.19	0.372	
		39.67%	36.21%	18.25%	4.32%	1.39%	0.17%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,556	2,488	1,244	224	68	45	6,625	4.10	0.893	4.18	0.371	
		38.58%	37.55%	18.78%	3.38%	1.03%	0.68%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,963	2,261	1,530	586	166	119	6,625	3.81	1.044	3.89	0.481
			29.63%	34.13%	23.09%	8.85%	2.51%	1.80%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,262	2,460	1,359	312	97	135	6,625	4.00	0.941	4.08	0.411	
		34.14%	37.13%	20.51%	4.71%	1.46%	2.04%	100.00%					



第2章 各部門の評価・分析



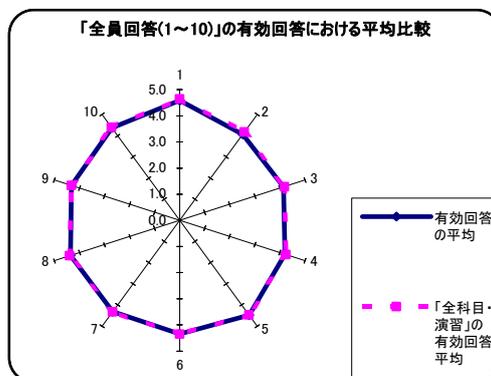
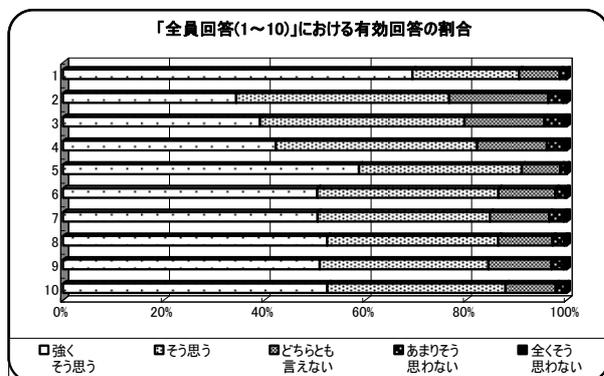
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	5,807	7,787	74.57%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4,024	1,231	470	73	5	4	5,807	4.58	0.701	4.58	0.301
			69.30%	21.20%	8.09%	1.26%	0.09%	0.07%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,994	2,454	1,137	177	37	8	5,807				
			34.34%	42.26%	19.58%	3.05%	0.64%	0.14%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,270	2,355	921	219	36	6	5,807				
			39.09%	40.55%	15.86%	3.77%	0.62%	0.10%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,449	2,320	803	187	41	7	5,807				
			42.17%	39.95%	13.83%	3.22%	0.71%	0.12%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,408	1,874	448	59	11	7	5,807				
			58.69%	32.27%	7.71%	1.02%	0.19%	0.12%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,929	2,084	656	108	22	8	5,807					
		50.44%	35.89%	11.30%	1.86%	0.38%	0.14%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,933	1,987	683	167	33	4	5,807					
		50.51%	34.22%	11.76%	2.88%	0.57%	0.07%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,041	1,969	625	138	27	7	5,807					
		52.37%	33.91%	10.76%	2.38%	0.46%	0.12%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,955	1,942	728	140	34	8	5,807					
		50.89%	33.44%	12.54%	2.41%	0.59%	0.14%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,023	2,039	572	107	19	47	5,807					
		52.06%	35.11%	9.85%	1.84%	0.33%	0.81%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	2,864	1,898	721	124	26	174	5,807				
			49.32%	32.68%	12.42%	2.14%	0.45%	3.00%	100.00%				
14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	2,868	1,892	729	113	25	180	5,807					
		49.39%	32.58%	12.55%	1.95%	0.43%	3.10%	100.00%					



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.348(**)	1										
Q3	.157(**)	.511(**)	1									
Q4	.116(**)	.435(**)	.743(**)	1								
Q5	.168(**)	.397(**)	.508(**)	.554(**)	1							
Q6	.134(**)	.424(**)	.516(**)	.571(**)	.614(**)	1						
Q7	.121(**)	.462(**)	.706(**)	.698(**)	.612(**)	.632(**)	1					
Q8	.122(**)	.393(**)	.599(**)	.685(**)	.582(**)	.594(**)	.752(**)	1				
Q9	.164(**)	.514(**)	.616(**)	.583(**)	.591(**)	.549(**)	.671(**)	.606(**)	1			
Q10	.178(**)	.525(**)	.682(**)	.685(**)	.673(**)	.636(**)	.784(**)	.716(**)	.789(**)	1		
Q11	.104(**)	.406(**)	.545(**)	.589(**)	.525(**)	.547(**)	.650(**)	.627(**)	.550(**)	.653(**)	1	
Q12	.125(**)	.411(**)	.582(**)	.608(**)	.547(**)	.550(**)	.665(**)	.630(**)	.586(**)	.684(**)	.730(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.369(**)	1										
Q3	.147(**)	.498(**)	1									
Q4	.107(**)	.407(**)	.704(**)	1								
Q5	.097(**)	.365(**)	.494(**)	.540(**)	1							
Q6	.109(**)	.403(**)	.478(**)	.515(**)	.625(**)	1						
Q7	.073(**)	.389(**)	.637(**)	.644(**)	.635(**)	.628(**)	1					
Q8	.066(**)	.333(**)	.570(**)	.605(**)	.583(**)	.567(**)	.773(**)	1				
Q9	.115(**)	.420(**)	.556(**)	.553(**)	.563(**)	.505(**)	.645(**)	.610(**)	1			
Q10	.118(**)	.457(**)	.642(**)	.650(**)	.674(**)	.621(**)	.771(**)	.690(**)	.750(**)	1		
Q13	.122(**)	.393(**)	.458(**)	.498(**)	.528(**)	.542(**)	.562(**)	.532(**)	.514(**)	.589(**)	1	
Q14	.100(**)	.384(**)	.511(**)	.529(**)	.574(**)	.546(**)	.627(**)	.574(**)	.557(**)	.640(**)	.682(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.37	0.916	4.38	0.345	4.39	0.915	4.38	0.312	4.45	0.873	4.40	0.312	4.41	0.913	4.36	0.381
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.53	0.974	3.61	0.355	3.44	0.986	3.53	0.413	3.29	0.972	3.37	0.437	3.31	1.017	3.47	0.519
	3	この授業のレベルは適切である	3.90	0.916	3.96	0.342	3.80	0.949	3.82	0.410	4.28	1.175	4.25	0.490	4.28	1.159	4.28	0.527
	4	この授業を進める速さは適切である	3.97	0.911	4.03	0.359	3.87	0.948	3.93	0.406	4.41	1.095	4.45	0.461	4.32	1.146	4.44	0.510
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.29	0.819	4.34	0.322	4.27	0.839	4.33	0.372	4.09	0.893	4.16	0.461	4.10	0.882	4.21	0.458
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.05	0.893	4.11	0.335	4.00	0.908	4.07	0.362	3.87	0.945	3.96	0.432	3.93	0.929	4.08	0.445
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.99	0.989	4.07	0.409	3.91	1.027	3.97	0.472	3.74	1.078	3.83	0.564	3.76	1.079	3.90	0.569
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.07	0.940	4.13	0.404	3.99	0.987	4.07	0.456	3.81	1.037	3.89	0.533	3.78	1.065	3.94	0.555
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.09	0.933	4.19	0.372	4.04	0.978	4.12	0.419	3.91	0.987	4.00	0.467	3.88	1.023	4.03	0.498
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.10	0.893	4.18	0.371	4.04	0.939	4.10	0.438	3.91	0.960	4.00	0.488	3.93	0.976	4.06	0.507
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.81	1.044	3.89	0.481	3.70	1.084	3.78	0.528	3.57	1.111	3.66	0.587	3.51	1.117	3.65	0.587
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.00	0.941	4.08	0.411	3.95	0.957	4.01	0.432	3.84	0.967	3.93	0.470	3.84	0.984	3.98	0.495

部門名 文学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.58	0.701	4.58	0.301	4.56	0.747	4.54	0.284	4.52	0.762	4.48	0.335	4.51	0.797	4.47	0.345
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.07	0.846	4.09	0.352	4.01	0.882	4.04	0.371	3.84	0.893	3.89	0.426	3.82	0.908	3.87	0.403
	3	この授業のレベルは適切である	4.14	0.859	4.16	0.363	4.02	0.925	4.05	0.414	4.29	1.141	4.26	0.548	4.30	1.121	4.28	0.549
	4	この授業を進める速さは適切である	4.20	0.845	4.23	0.373	4.10	0.905	4.14	0.401	4.49	1.033	4.51	0.420	4.53	0.977	4.56	0.416
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.48	0.699	4.51	0.312	4.42	0.769	4.46	0.366	4.26	0.807	4.31	0.425	4.18	0.844	4.23	0.432
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.34	0.780	4.37	0.324	4.27	0.838	4.33	0.356	4.14	0.862	4.22	0.410	4.11	0.896	4.18	0.418
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.31	0.832	4.34	0.394	4.22	0.908	4.29	0.461	4.11	0.924	4.18	0.475	4.05	0.953	4.14	0.480
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.36	0.802	4.38	0.384	4.27	0.864	4.33	0.415	4.13	0.925	4.21	0.459	4.13	0.919	4.21	0.446
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.32	0.827	4.34	0.389	4.24	0.898	4.31	0.445	4.17	0.901	4.22	0.448	4.10	0.921	4.17	0.439
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.38	0.765	4.41	0.363	4.29	0.841	4.35	0.419	4.19	0.861	4.24	0.454	4.16	0.862	4.22	0.427
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.32	0.814	4.36	0.373	4.20	0.883	4.27	0.433	4.08	0.908	4.14	0.478	3.98	0.951	4.07	0.492
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.33	0.808	4.37	0.365	4.24	0.855	4.30	0.406	4.11	0.902	4.17	0.441	4.04	0.929	4.11	0.472

IV. 理 学 部

1. 集計データからわかること

平成21年度から理学部は物理学科、化学科、数学科に生命科学科を加えた4学科体制となり、今年度のデータに生命科学科の授業評価も加えられている。

講義（回収率 52.99%）

- 学生の「出席状況」は非常に良好。
（90.92%の学生が80%以上の出席率、70%未満の出席率の学生は2.41%）
- 「教員の熱意」、「教員による良好な学習環境の維持」については高い評価を得ている。
良い（「強くそう思う」、「そう思う」）と回答した学生が、各々67.79%、60.09%で、悪い（「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」）と回答した学生の8.74%、10.69%を大きく上回っていた。
- 「授業に対する取り組み」は半数の学生が積極的であり、「教員の話し方」、「知的好奇心の喚起」、「板書・スライドの提示の仕方」、「教材の内容」については、半数以上の学生が満足している。
「意欲的に取り組んでいる」かとの設問に対して、50.05%の学生が「強くそう思う」、「そう思う」と回答し（「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生は13.61%）、「話し方」、「知的好奇心・新しいものの見方」、「板書・スライド」、「教材」については、各々55.76%、53.54%、53.57%、54.73%の学生が満足（「強くそう思う」、「そう思う」）と回答し、16.13%、15.50%、16.00%、10.16%の学生が不満（「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」）と回答している。
- 全体の1/5程度の学生が、「授業のレベル」、「進度」について行けておらず、授業を理解しにくいと感じている。
授業のレベル、進度が適切である（「強くそう思う」、「そう思う」）と回答した学生が、各々48.82%、51.06%であったものの、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生が、19.46%、18.03%であり、「教員は理解しやすい授業を行っている」かとの設問には、52.79%の学生が「強くそう思う」、「そう思う」と回答し、19.47%の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答している。
- 「総合評価」では、約6割の学生が授業を高く評価し、1/8程度の学生が低く評価している。
57.45%の学生が「強くそう思う」、「そう思う」と回答し、12.33%の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答している。
- 2006～2009年の4年間では、今年度の「出席率」、「授業への意欲的な取り組み」、「板書やスライドの提示の仕方」が最も高い数値となっており、逆に「教員の熱意」、「教員による良好な学習環境の維持」、「理解しやすい講義」、「教員の話し方」、「知的好奇

第2章 各部門の評価・分析

心の喚起」、「総合評価」はわずかではあるが最も低い数値であった。

演習（回収率 65.48%）

- 学生の出席状況は講義と同じく非常に良好。
93.15%の学生が80%以上の出席率、70%未満の出席率の学生は2.50%。
- 約7割の学生が、教員の熱意や教員による課題参加への助力を感じ、意欲的に演習に取り組んでいる。
教員の熱意を感じている：「強くそう思う」、「そう思う」が72.61%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が6.70%。
教員による課題参加への助力：69.36%が「強くそう思う」、「そう思う」、5.89%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
意欲的な取り組み：69.95%が「強くそう思う」、「そう思う」、7.81%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
- 授業のレベル、進度は6割以上の学生が適切と評価し、ついていけないと感じている学生は1/10程度。
授業のレベル：「強くそう思う」、「そう思う」が60.97%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が11.05%。
授業を進める速さの適切さ：「強くそう思う」、「そう思う」が62.60%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が8.69%。
- 良好な学習環境の維持、理解しやすい授業、話し方、知的好奇心の喚起、発言・議論の喚起についても6割以上の学生から高い評価。
教員による良好な学習環境の維持：「強くそう思う」、「そう思う」が65.46%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が9.28%。
理解しやすい授業：64.43%が「強くそう思う」、「そう思う」、11.71%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
教員の話し方：68.05%が「強くそう思う」、「そう思う」、7.66%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
知的好奇心の喚起：64.36%が「強くそう思う」、「そう思う」、10.82%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
教員による参加者の発言・議論の喚起：61.56%が「強くそう思う」、「そう思う」、7.44%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
- 総合評価では、約7割の学生が授業を高く評価し、1/12程度の学生が低く評価している。
総合的な評価：68.77%が「強くそう思う」、「そう思う」、8.61%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。
- 2006～2009年の4年間では、今年度の「出席率」、「授業への意欲的な取り組み」、「教

員の熱意」、「教員による良好な学習環境の維持」、「理解しやすい講義」、「教員の話し方」、「知的好奇心の喚起」、「総合評価」、「教員による発言・議論の喚起」、「教員による課題参加への助力」が最も高い数値となっている。

2. 今後の授業改善に向けて

講義では、学生の出席状況は非常に良く、教員の熱意、教員による良好な学習環境の維持については高評価であり、総合的に見ても、約6割の学生が授業を高く評価している。しかし、授業に対する教員の熱意、教員による良好な学習環境の維持、理解しやすい授業、授業の進度、知的好奇心・新しいものの見方の喚起、総合評価は過去と比較してわずかではあるが低い評価となっているので、今後はこれらに力点を置いた授業改善が望まれる。本質的な課題としては、いかに学習内容の質を落とすことなく、授業のレベル、進度に難を感じている1/5程度の学生を引き上げて行くかということである。演習はどの項目についても講義より評価が高く、過去と比べても今年度の評価は高い。これは教員による授業改善の結果であり、少人数教育が実践されている演習では、学生と教員の距離が近いため、行き届いた教育やコミュニケーションが行えることも大きな要因であろう。講義と演習を現行よりももう少し上手くリンクさせることができれば、授業のレベル、進度に難を感じている学生が講義内容をより理解できるように助力できるかもしれない。今年度から導入されたG-Portは、従来の講義だけでは難しかった双方向型の教育を実践する有効な方法の一つであるので、今後の授業改善に向けた活用が期待される。



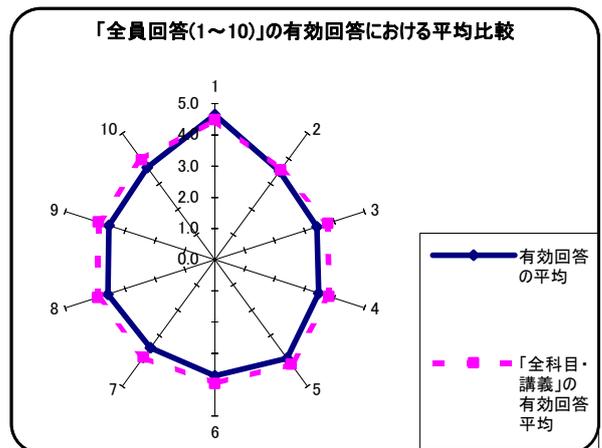
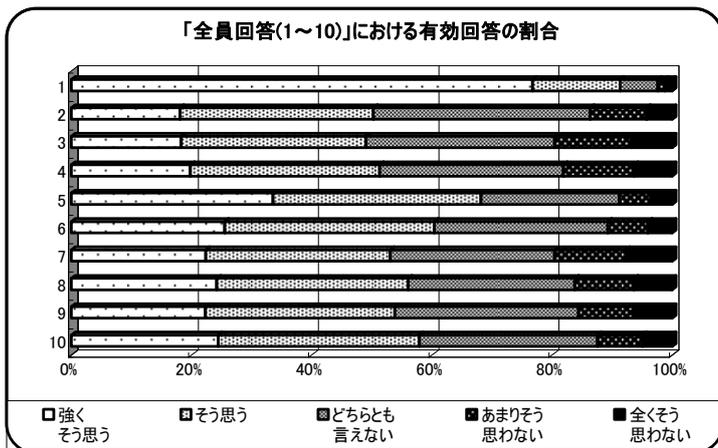
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	3,601	6,795	52.99%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	2,753	521	225	43	44	15	3,601	4.64	0.758	4.60	0.252
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	648	1,154	1,291	336	154	18	3,601	3.50	1.028	3.52	0.334
	3	この授業のレベルは適切である	656	1,102	1,124	456	245	18	3,601	3.41	1.128	3.44	0.504
	4	この授業を進める速さは適切である	711	1,128	1,096	423	226	17	3,601	3.47	1.123	3.54	0.517
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,202	1,239	824	187	128	21	3,601	3.89	1.042	3.94	0.459
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	915	1,249	1,035	241	144	17	3,601	3.71	1.045	3.80	0.446
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	802	1,099	978	426	275	21	3,601	3.48	1.182	3.55	0.584
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	868	1,140	994	353	228	18	3,601	3.58	1.144	3.66	0.556
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	800	1,128	1,094	332	226	21	3,601	3.54	1.122	3.61	0.474
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	873	1,196	1,058	269	175	30	3,601	3.65	1.078	3.71	0.499
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	822	1,107	962	346	230	134	3,601	3.56	1.148	3.63	0.542
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	838	1,133	1,117	222	144	147	3,601	3.67	1.043	3.72	0.426





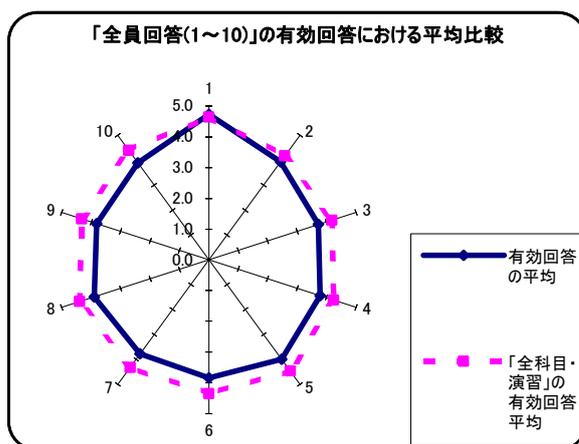
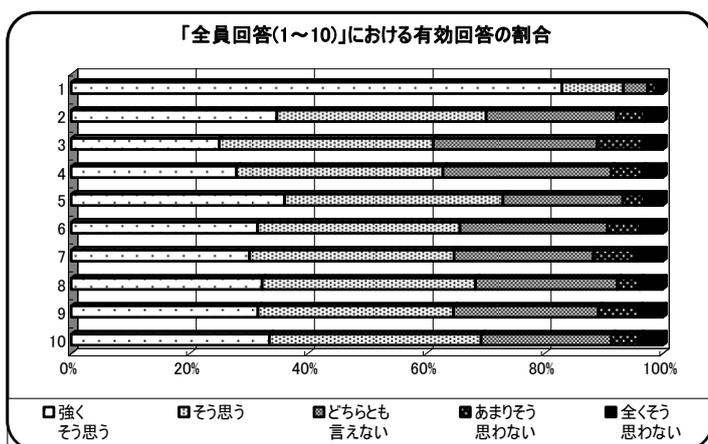
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,358	2,074	65.48%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,124	141	56	19	15	3	1,358	4.73	0.706	4.66	0.313
			82.77%	10.38%	4.12%	1.40%	1.10%	0.22%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	471	479	298	65	41	4	1,358	3.94	1.015	3.86	0.472
			34.68%	35.27%	21.94%	4.79%	3.02%	0.29%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	338	490	374	106	44	6	1,358	3.72	1.027	3.65	0.432
			24.89%	36.08%	27.54%	7.81%	3.24%	0.44%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	378	472	384	71	47	6	1,358	3.79	1.021	3.75	0.428
			27.84%	34.76%	28.28%	5.23%	3.46%	0.44%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	488	498	274	49	42	7	1,358	3.99	0.995	3.95	0.430
			35.94%	36.67%	20.18%	3.61%	3.09%	0.52%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	426	463	337	75	51	6	1,358	3.84	1.050	3.79	0.456	
		31.37%	34.09%	24.82%	5.52%	3.76%	0.44%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	408	467	318	96	63	6	1,358	3.78	1.093	3.75	0.487	
		30.04%	34.39%	23.42%	7.07%	4.64%	0.44%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	436	488	323	52	52	7	1,358	3.89	1.025	3.84	0.402	
		32.11%	35.94%	23.78%	3.83%	3.83%	0.52%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	427	447	332	92	55	5	1,358	3.81	1.079	3.74	0.534	
		31.44%	32.92%	24.45%	6.77%	4.05%	0.37%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	452	482	297	64	53	10	1,358	3.90	1.044	3.84	0.504	
		33.28%	35.49%	21.87%	4.71%	3.90%	0.74%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	382	454	299	58	43	122	1,358	3.87	1.018	3.86	0.436
			28.13%	33.43%	22.02%	4.27%	3.17%	8.98%	100.00%				
14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	515	427	211	41	39	125	1,358	4.09	1.000	4.05	0.423	
		37.92%	31.44%	15.54%	3.02%	2.87%	9.20%	100.00%					



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.280(**)	1										
Q3	.114(**)	.538(**)	1									
Q4	.072(**)	.453(**)	.777(**)	1								
Q5	.094(**)	.405(**)	.540(**)	.601(**)	1							
Q6	.062(**)	.397(**)	.531(**)	.593(**)	.698(**)	1						
Q7	.050(**)	.451(**)	.723(**)	.760(**)	.663(**)	.664(**)	1					
Q8	.053(**)	.394(**)	.606(**)	.724(**)	.660(**)	.641(**)	.792(**)	1				
Q9	.086(**)	.516(**)	.641(**)	.625(**)	.602(**)	.593(**)	.689(**)	.654(**)	1			
Q10	.094(**)	.505(**)	.718(**)	.733(**)	.725(**)	.687(**)	.815(**)	.749(**)	.786(**)	1		
Q11	.045(**)	.377(**)	.579(**)	.667(**)	.630(**)	.598(**)	.738(**)	.722(**)	.590(**)	.718(**)	1	
Q12	.082(**)	.404(**)	.593(**)	.632(**)	.624(**)	.596(**)	.684(**)	.648(**)	.614(**)	.690(**)	.724(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.345(**)	1										
Q3	.165(**)	.546(**)	1									
Q4	.153(**)	.479(**)	.769(**)	1								
Q5	.174(**)	.473(**)	.546(**)	.632(**)	1							
Q6	.154(**)	.479(**)	.550(**)	.622(**)	.687(**)	1						
Q7	.143(**)	.459(**)	.653(**)	.726(**)	.713(**)	.702(**)	1					
Q8	.173(**)	.466(**)	.595(**)	.700(**)	.696(**)	.677(**)	.807(**)	1				
Q9	.235(**)	.576(**)	.635(**)	.656(**)	.661(**)	.651(**)	.712(**)	.696(**)	1			
Q10	.197(**)	.548(**)	.670(**)	.718(**)	.731(**)	.723(**)	.813(**)	.760(**)	.805(**)	1		
Q13	.152(**)	.412(**)	.514(**)	.577(**)	.608(**)	.602(**)	.674(**)	.652(**)	.627(**)	.692(**)	1	
Q14	.196(**)	.443(**)	.541(**)	.589(**)	.628(**)	.597(**)	.679(**)	.655(**)	.649(**)	.708(**)	.750(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学 習 院 大 学 平 成 21 (2009) 年 度 授 業 評 価 アンケート 経 年 変 化 比 較 表

部門名 理学部
形態名 講義

			2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.64	0.758	4.60	0.252	4.54	0.881	4.53	0.287	4.57	0.872	4.57	0.322	4.55	0.885	4.53	0.298
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.50	1.028	3.52	0.334	3.47	1.017	3.50	0.381	3.38	0.983	3.41	0.377	3.35	0.999	3.32	0.349
	3	この授業のレベルは適切である	3.41	1.128	3.44	0.504	3.43	1.096	3.45	0.507	3.72	1.471	3.71	0.666	3.68	1.460	3.67	0.686
	4	この授業を進める速さは適切である	3.47	1.123	3.54	0.517	3.49	1.108	3.55	0.535	3.86	1.479	3.95	0.726	3.83	1.450	3.91	0.710
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.89	1.042	3.94	0.459	3.91	1.017	3.98	0.543	3.95	0.935	4.04	0.468	3.93	0.951	3.97	0.424
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.71	1.045	3.80	0.446	3.74	1.022	3.83	0.478	3.73	0.993	3.86	0.459	3.66	1.014	3.76	0.433
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.48	1.182	3.55	0.584	3.53	1.157	3.59	0.603	3.48	1.115	3.60	0.573	3.44	1.123	3.49	0.535
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.58	1.144	3.66	0.556	3.62	1.117	3.69	0.582	3.58	1.073	3.69	0.515	3.45	1.118	3.52	0.547
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.54	1.122	3.61	0.474	3.64	1.104	3.73	0.534	3.54	1.043	3.69	0.512	3.47	1.061	3.55	0.454
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.65	1.078	3.71	0.499	3.70	1.067	3.79	0.572	3.67	1.009	3.79	0.515	3.62	1.021	3.67	0.455
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.56	1.148	3.63	0.542	3.55	1.120	3.63	0.590	3.51	1.105	3.62	0.579	3.42	1.129	3.45	0.577
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.67	1.043	3.72	0.426	3.70	0.995	3.76	0.472	3.64	0.951	3.71	0.417	3.52	1.005	3.55	0.428

部門名 理学部
形態名 演習

			2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.73	0.706	4.66	0.313	4.68	0.759	4.62	0.374	4.69	0.764	4.61	0.412	4.66	0.756	4.61	0.286
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.94	1.015	3.86	0.472	3.79	1.031	3.73	0.507	3.72	1.009	3.65	0.508	3.46	1.011	3.38	0.422
	3	この授業のレベルは適切である	3.72	1.027	3.65	0.432	3.61	1.025	3.55	0.436	3.74	1.440	3.76	0.480	3.70	1.442	3.75	0.411
	4	この授業を進める速さは適切である	3.79	1.021	3.75	0.428	3.69	0.998	3.64	0.383	4.05	1.393	4.09	0.369	4.03	1.368	4.03	0.474
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.99	0.995	3.95	0.430	3.90	0.972	3.88	0.391	3.85	0.966	3.82	0.456	3.67	1.006	3.62	0.473
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.84	1.050	3.79	0.456	3.68	1.038	3.65	0.423	3.57	1.047	3.55	0.453	3.33	1.046	3.32	0.428
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.78	1.093	3.75	0.487	3.67	1.013	3.65	0.429	3.47	1.064	3.47	0.498	3.30	1.128	3.28	0.561
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.89	1.025	3.84	0.402	3.74	1.010	3.73	0.397	3.54	1.009	3.54	0.451	3.29	1.120	3.30	0.515
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.81	1.079	3.74	0.534	3.70	1.055	3.67	0.462	3.59	1.079	3.56	0.564	3.26	1.043	3.22	0.462
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.90	1.044	3.84	0.504	3.78	0.999	3.74	0.430	3.67	1.017	3.64	0.558	3.42	1.075	3.37	0.527
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3.87	1.018	3.86	0.436	3.79	1.019	3.80	0.447	3.66	1.030	3.63	0.497	3.41	1.068	3.34	0.540
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.09	1.000	4.05	0.423	3.99	0.973	3.98	0.413	3.83	1.006	3.81	0.429	3.64	1.061	3.56	0.487

V. 計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。授業形態は講義のみであるが、座学のみだけではなく、学生1人に1台のパソコンを割当て、実際にパソコンを操作しながら学ぶ形態を講義の中に取り入れている。また、受講者の多い「初等情報処理1」はほとんどの学科で選択科目であるが、学内の実習室等で計算機センターのコンピュータを利用する権利を得るためには単位取得が必要であり、実質的に必修科目に近い。

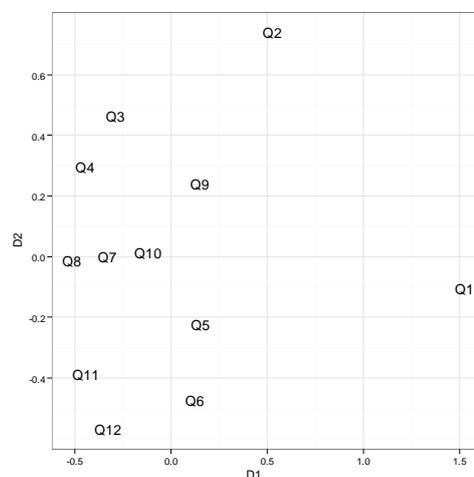
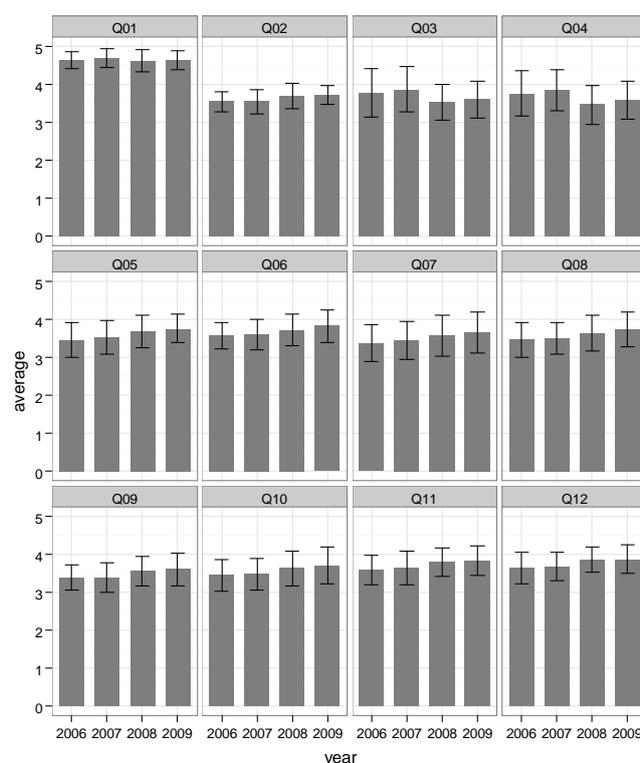
以上のような科目の特徴をふまえて、本年度の授業評価アンケートの設問 Q1 から Q12 の集計結果について、2006 年度～2008 年度の過去 3 年間の経年変化も考慮しつつ分析した後、今後の改善点について検討する。

1. 集計データからわかること

右図に 2006 年度から 2009 年度までの評価の部門別・形態別平均と標準偏差のグラフを示す。また、右下には、2009 年度のアンケート項目間の相関係数を距離に変換し多次元尺度構成法でプロットした図を示す。この図では線形相関が高い設問ほど相対的に近い位置にプロットされる。

Q1 出席率： 計算機センターの部門別平均 4.65(標準偏差 0.259)は、大学全体の講義の平均 4.47(標準偏差 0.330)と比べ高く、標準偏差も小さい。この結果は、過去3年間と同様に計算機センターで開講している講義科目では、学生全体の出席率が高いことが読み取れる。一方で、出席率(Q1)と意欲(Q2)の相関係数は、0.261 と低く、学習意欲が出席率に結びついているわけではないことがうかがえる。計算機センター開講授業のうち「初等情報処理1」の単位取得は、計算機センターのコンピュータを卒業まで利用するための条件となっているため、依然として、義務的・受け身的な態度で授業を受ける学生が多いと考えられる。

Q2 意欲的か： 計算機センターの部門別平均 3.73(標準偏差 0.254)は、大学全体の講義の平均



0.361(標準偏差 0.383)よりも高く、経年変化をみても徐々に改善がみられる。しかし、図からも読み取れるように、学習意欲(Q2)と、理解度(Q7)、知的好奇心(Q9)及び総合評価(Q10)との相関は低く、学生の学習意欲に十分に答える授業内容になっていないことや、学生が義務的・受け身的な態度で授業を受けていることが、可能性として考えられる。

Q3 授業レベルの適切さ・Q4 授業の速さの適切さ： 授業レベル(Q3)の評価については、計算機センターの部門別平均 3.61(標準偏差 0.488)は、大学全体の講義の平均 3.79(標準偏差 0.482)より低い。また、授業の速さ(Q4)の評価においても計算機センターの部門別平均 3.59(標準偏差 0.499)は、大学全体の講義の平均 3.85(標準偏差 0.490)より低い。計算機センターで開講している科目は、授業レベルや速さが適切でないと感じている学生が比較的多いことが読み取れる。大学入学時点で学生のコンピュータの知識には個人差が大きく、そのことが標準偏差の相対的な大きさにもあらわれており、授業への要求に差が生じる一因となっていると考えられる。なお、この2つの設問については2008年度より内容・選択肢が変更された。今年度は昨年度と比較して改善がみられる。

Q5 教員の熱意 Q6 教員の環境保全 Q7 授業のわかりやすさ Q8 教員の話し方 Q9 新たな知見 Q10 総合評価： Q5～Q10のいずれの設問においても計算機センターの部門別平均は、過去3年の結果と同様に大学全体よりも若干低い。ただし、過去3年で、それぞれの設問でコンスタントに改善がみられる。設問内容から容易に推測できるように、Q5からQ8における設問項目における評価の低さが、Q9とQ10の評価の低さに繋がると考えられる。すなわち、授業中における教員の熱意、教員の環境設備、理解のしやすさ、そして話し方に対する評価が低いと、授業から受ける知的好奇心と満足度の評価も悪くなる。この傾向を持つのは計算機センターも例外ではない。

Q11 板書・スライドの提示： 計算機センターの部門別平均 3.84(標準偏差 0.395)は、大学全体の講義の平均 3.83(標準偏差 0.504)より若干高く、授業の分かりやすさ(Q7)と教員の話し方(Q8)の評価が大学全体の評価より低いことと比較して一貫性がないように見える。この傾向は、過去3年も同様であり、スライド等での視覚的・直感的分かりやすさに比べて、情報処理科目特有の専門用語に対する聞き取りや親しみのなさに起因するのではないかと思われる。また、学生がスライド等で提示したイメージどおりにパソコンを操作できないと感じていることを示していると考えられる。なお、過去3年間で、学生の満足度は徐々に上昇している。

Q12 教材(教科書、配布資料等)の内容： 計算機センターの部門別平均 3.88(標準偏差 0.380)は、大学全体の講義の平均 3.96(標準偏差 0.437)と比べやや低い数値ではあるが、過去3年で徐々に全体との差も狭まり改善がみられる。板書・スライドの提示(Q11)との相関

は高く、授業の教材の準備が十分になされているかという視点で評価を受けていると考えられる。

2. 今後の授業改善に向けて

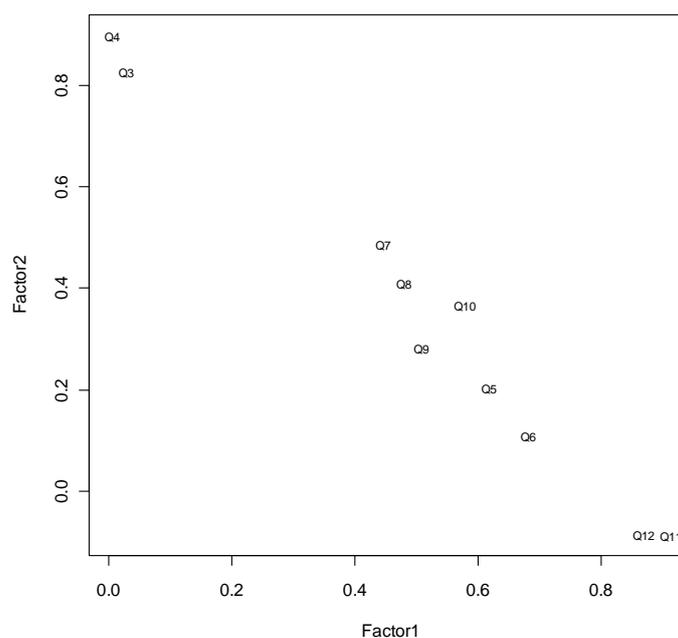
概して学生の授業への評価が全学平均よりもやや低い傾向にあり、個々の学生のニーズ・レベルに合わせて授業の改善をする必要がある。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の2点に留意しなくてはならない。

- 1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど(約75%)は、コンピュータの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は1年生である。またそのクラス規模は、50名から100名に及ぶ。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなり、学年が低いほど、授業の総合評価は低くなっており、計算機センターの開講科目も、同様の傾向を示していることがわかる。
- 2) 特に初等情報処理の一学期開講科目である「初等情報処理1」においては、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピュータを利用できる権利を与えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピュータを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理1」の単位を修得する必要があり、出席は必須である。

「初等情報処理1」を履修する学生のコンピュータ操作のスキルには、大きな個人差がある上に、実際にコンピュータを操作しながら授業を進める形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後授業内容がわからないままに、ただ義務的・受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

右図に授業アンケート評価の因子分析の結果を示す(最小二乗法、promax回転)。2因子を仮定し、独自因子の負荷量が非常に高いQ1,Q2は除外した。因子1(横軸)は学生からみた教員側の授業への取り組みの姿勢、因子2(縦軸)は学生側の理解度をあらわす因子と考えられる。

過去3年の質問項目の評価と比較すると、設問が変わり直接比較できないQ3,Q4を除くと、Q1以外のすべての項目で、年々、学生の評価が向上しており、教員の授業改善の取り組みが反映



第2章 各部門の評価・分析

されていると考えられる。

今後、義務的に出席している学生が、よりいっそう学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善してゆくことが望まれる。また、高等学校による教科「情報」の必修化により、個々の学生のコンピュータ操作のスキルの差はさらに広がる傾向にあり、すべての学生に満足いくレベルの授業を行うことがいっそう難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。また、「初等情報処理 1,2」は多くの教員が担当しており、このような科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、課題を検討するための仕組みを作ることが望まれる。

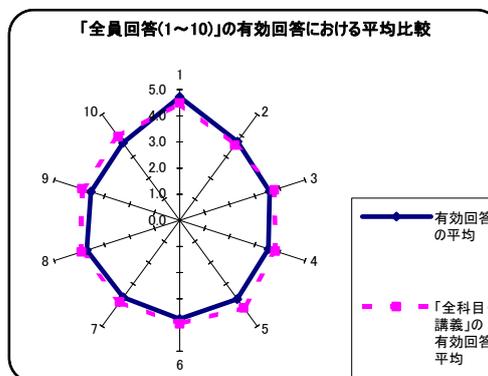
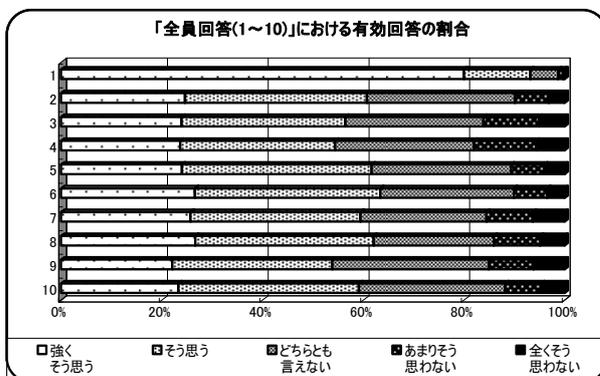
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	3,647	4,973	73.34%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	2,913	479	202	34	12	7	3,647	4.72	0.640	4.65	0.259
			79.87%	13.13%	5.54%	0.93%	0.33%	0.19%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	894	1,315	1,065	246	115	12	3,647				
			24.51%	36.06%	29.20%	6.75%	3.15%	0.33%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	871	1,182	997	400	186	11	3,647				
			23.88%	32.41%	27.34%	10.97%	5.10%	0.30%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	862	1,118	1,002	450	206	9	3,647				
			23.64%	30.66%	27.47%	12.34%	5.65%	0.25%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	874	1,370	1,006	241	148	8	3,647				
			23.96%	37.57%	27.58%	6.61%	4.06%	0.22%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	966	1,337	963	242	125	14	3,647					
		26.49%	36.66%	26.41%	6.64%	3.43%	0.38%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	936	1,226	908	336	229	12	3,647					
		25.66%	33.62%	24.90%	9.21%	6.28%	0.33%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	968	1,287	866	333	177	16	3,647					
		26.54%	35.29%	23.75%	9.13%	4.85%	0.44%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	802	1,155	1,127	324	223	16	3,647					
		21.99%	31.67%	30.90%	8.88%	6.11%	0.44%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	846	1,300	1,052	257	170	22	3,647					
		23.20%	35.65%	28.85%	7.05%	4.66%	0.60%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,014	1,280	862	215	107	169	3,647				
			27.80%	35.10%	23.64%	5.90%	2.93%	4.63%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,081	1,253	863	179	100	171	3,647					
		29.64%	34.36%	23.66%	4.91%	2.74%	4.69%	100.00%					



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.261(**)	1										
Q3	.113(**)	.477(**)	1									
Q4	.107(**)	.414(**)	.801(**)	1								
Q5	.088(**)	.410(**)	.590(**)	.636(**)	1							
Q6	.082(**)	.409(**)	.549(**)	.588(**)	.710(**)	1						
Q7	.083(**)	.399(**)	.711(**)	.761(**)	.684(**)	.675(**)	1					
Q8	.091(**)	.379(**)	.648(**)	.730(**)	.649(**)	.634(**)	.803(**)	1				
Q9	.097(**)	.470(**)	.606(**)	.589(**)	.618(**)	.593(**)	.648(**)	.639(**)	1			
Q10	.093(**)	.468(**)	.710(**)	.728(**)	.727(**)	.696(**)	.806(**)	.768(**)	.761(**)	1		
Q11	.098(**)	.375(**)	.583(**)	.625(**)	.622(**)	.605(**)	.687(**)	.678(**)	.583(**)	.696(**)	1	
Q12	.102(**)	.358(**)	.580(**)	.585(**)	.575(**)	.583(**)	.647(**)	.623(**)	.549(**)	.664(**)	.779(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.72	0.640	4.65	0.259	4.70	0.679	4.63	0.286	4.75	0.604	4.70	0.241	4.72	0.636	4.65	0.230
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.72	1.009	3.73	0.254	3.68	1.042	3.71	0.334	3.55	1.033	3.56	0.320	3.55	1.034	3.55	0.273
	3	この授業のレベルは適切である	3.59	1.117	3.61	0.488	3.50	1.130	3.53	0.472	3.89	1.437	3.88	0.602	3.82	1.460	3.79	0.644
	4	この授業を進める速さは適切である	3.54	1.144	3.59	0.499	3.40	1.179	3.47	0.516	3.82	1.463	3.86	0.543	3.74	1.474	3.76	0.598
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.71	1.031	3.77	0.383	3.59	1.056	3.69	0.426	3.43	1.016	3.53	0.452	3.36	1.008	3.46	0.461
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.76	1.026	3.83	0.423	3.62	1.045	3.73	0.417	3.51	1.023	3.61	0.407	3.48	0.982	3.58	0.357
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.63	1.145	3.67	0.544	3.51	1.174	3.58	0.553	3.38	1.114	3.45	0.505	3.32	1.109	3.38	0.493
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.70	1.105	3.75	0.452	3.55	1.130	3.64	0.468	3.44	1.072	3.51	0.407	3.39	1.070	3.47	0.464
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.55	1.112	3.61	0.435	3.47	1.095	3.57	0.386	3.30	1.065	3.40	0.377	3.33	1.064	3.40	0.341
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.66	1.056	3.71	0.483	3.56	1.055	3.64	0.461	3.39	1.008	3.48	0.416	3.36	1.014	3.45	0.424
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.83	1.017	3.84	0.395	3.77	1.024	3.81	0.377	3.59	1.023	3.65	0.440	3.55	1.016	3.60	0.392
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.87	1.004	3.88	0.380	3.85	0.971	3.87	0.332	3.66	0.978	3.69	0.388	3.61	0.974	3.64	0.417

VI. 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施対象 468 科目中、アンケートを実施したのは 463 科目で、実施率は 98.93%であった。実施率自体は決して低い数字ではないが、100%を達成した昨年度はもとより、過去 3 年間にわたり 99%以上の実施率であった事を考慮すると、今後実施率が下がらないよう注意する必要があるだろう。

評価自体について概観すると、Q1「私はこの授業に出席している」の項目以外は、過去のデータと比較可能な全ての項目に於いて最も高い数値が出ている。

◎ アンケート項目別分析

Q1 「私はこの授業によく出席している」

この項目はこれまで実施された 4 回中最も低い数値ではあるが、科目ベース平均で 4.52 と、最高値を出した 2007 年度の 4.56 と比較しても遜色ない高い数値である。理由としては語学を必修科目として履修している者が多いためと思われるが、更に、語学の授業が 40 人以下という少人数で行われているため、3分の1以上の欠席は認められないという規定を遵守するのに必要な出欠確認が十分に行われていることも、出席率が高い理由の1つであると思われる。

Q2 「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は科目ベースの平均点が、2006 年度の授業評価アンケート導入以来、3.78 から年々少しずつ上昇し、2009 年度は 3.95 である。しかし、Q1 に比べると数値的にはかなり落ちており、授業に出席してはいるが、必ずしもその授業に意欲的に取り組んでいるとも言えない状況が窺える。ただし、70%以上の学生が意欲的に取り組んでいると答えていることは好ましい事態であると言える。今後はさらに多くの学生が授業やその前後の予習・復習に積極的に取り組めるよう教員側の様々な工夫が求められる。

Q3 「この授業のレベルは適切である」

この項目は 2006 年度と 2007 年度は評価の点数の取り方が、2008 年度及び 2009 年度とは異なるので、過去の年度との比較は出来ないが、科目ベースの平均点が 4.01 で、また 75%以上の学生が肯定的に回答し、否定的な回答が 7%であることから、外国語教育研究センターで提供されている授業のレベルについては概ね適切であると判断される。一方、「どちらとも言えない」が 20%弱あるから、履修者の能力に応じたクラス分けを行うことで、さら

なる改善の余地があると思われる。英語については、2008年度より、理学部を対象に緩やかな習熟度別クラス編成を試みているが、教員側からは今のところ授業がやりやすいという感想が聞かれている。また、理学部に続いて、2011年度から英語の習熟度別クラス編成を導入する予定の学科もある。このような習熟度別クラス編成が教員側から見ても学生側から見ても効果的であるとの結果が得られた場合には、同様のクラス分けを全学的に行うことを検討する必要があるであろう。1年生の入学段階で全学的にTOEICが実施され、入学者の英語力の測定がここ6年ほど行われているが、その得点をもとに1年生の段階で能力別クラス編成を行うことは可能である。そうなれば教育効果のより一層の向上が全学的に望めるものと期待される。

Q4 「この授業を進める速さについて」

この項目もQ3と同じ理由から過去との比較は出来ないが、科目ベースの平均値が4.07で、否定的な回答が7%弱であるのに対し、肯定的な回答が全体の75%以上になっていることから、授業の進捗については概ね適切であると判断される。しかし、個々の学生の習熟度や学習能力の違いが授業の進捗に対する受け止め方にも大きく影響するので、習熟度別クラス編成の導入や、場合によっては、語学に当てられている授業時間数の増加によって、なお改善の余地はあると思われる。

Q5 「授業に対する教員の熱意が感じられる」

科目ベースの平均値が4.31で、かなり高い数値であり、年々数値が上昇している。85%強の学生が「そう思う」と回答し、否定的な回答は3.5%弱で、教師に対する評価項目の中で批判的の回答が最も少ないことから、多くの語学教員が熱意を持って授業を行っているといえよう。

Q6 「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている」

科目ベースの平均点は4.21であり、昨年度同様高い点で、肯定的な評価となっている。肯定的回答の割合も80%を超え、否定的回答が全体の4%強なので、概ね良い状況であると思われる。科目ベースの平均点が2006年度は4.06、2007年度が4.09であったことを考えると、各教員の改善努力の跡が窺われるが、教室運営は教師のみの問題ではなく、受講している学生にも大きく左右されやすい事柄なので、今後も注視する必要がある。

Q7 「教員は理解しやすい授業を行っている」

科目ベースの平均点は4.17で、この4年間でも最も高い数値である。肯定的な回答が80%弱で、それ以外が約20%の割合で、その内の6.2パーセントが否定的な回答を寄せている。

全体としては、理解しやすい授業が行われていると言えるだろうが、20%の学生が肯定的に回答していないことを考えると、まだ改善の余地はあると思われる。授業方法に関する教師間の情報・意見交換等により、改善される部分もあるのではないだろうか。

Q8「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

この項目も、科目ベースの平均点が年々上昇している。約80%の学生が肯定的に捉えている。しかし、この項目は学生側の関与が少なく、教員が適切な話し方を心掛けることで容易に改善が見込まれる項目なので、本来はもっと高い数値が出てもおかしくはないと思われる。

Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

科目ベースの平均点は3.99で、年ごとに数値は上がっている。限られた時間内での文法学習や会話練習、辞書を参照しながらの読解練習・作文練習等、語学という科目の特性上どうしても他の専門科目と異なり、知的好奇心を刺激するところまで行くのはなかなか難しい点がある。しかし、例えば、コミュニケーションの授業では、当該言語の使われている地域の社会や文化について部分的に紹介したり、或いは、ビデオや写真等の視聴覚教材を利用したりすることで、学生達に刺激を与えることは可能であろう。この項目はまだ改善の余地は大きく残されていると考えられる。

Q10「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目も毎年科目ベースの平均点が上昇しているが、昨年度に比べると0.1ポイントの上昇に留まっている。約80%の学生が肯定的に回答し、否定的な回答を寄せているのが丁度5%である。この項目は総合評価を表すが、相関係数に基づく限り、この項目と最も相関性が高いのは、Q7の0.808であり、全相関係数中でも最も高い値を示している。次いでQ8の0.762、Q9の0.759と続く。Q8はQ7との相関係数が0.802で、全相関係数の中でQ7とQ10の相関係数に次いで高い数値を示していることから分るとおり、「理解しやすい授業」が総合評価に大きく反映される、と言う事が分かる。Q9とQ10の高い相関性も考慮すると、学生が最も期待しているのは「理解しやすい授業」であり、「知的好奇心が刺激」され、「新しいものの見方」が獲得出来る授業であると考えられる。正に、教育の本来の意義に沿うものであろう。従って、新しいものの見方が得られるような未知なるものに目を向けさせ、学生の知的好奇心を刺激し、理解を助けるような授業を目指すことが求められている。

Q11「板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均点が4.03であり、昨年度よりも更に高い値となっている。肯定的な回

答は74%弱であり、この項目はQ8と同様、教員の努力が数値に反映されやすいので、本来はもう少し高い数値が得られてもおかしくはない項目である。年々数値が上昇していることから、教員の努力する姿勢が読み取れるが、引き続きより一層の工夫が求められよう。

Q12「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均点が4.12であり、約77%の学生が肯定的な回答を寄せ、否定的な回答が丁度5%なので、大体に於いて適切な内容の教材が使用されていると見て良いだろう。この項目は各学生の好みに左右され易いと思われるため、肯定的回答がこれだけ高いことは評価に値すると言って良いだろう。

Q13「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」

この項目では科目ベースの平均点が4.15である。肯定的回答は76%強あり、否定的回答は5%を切っている。これらの数値からは、学生の発言や議論を教員が促していることを明確に読み取ることが出来る。それにも拘わらず、Q9との相関係数が0.601で、特に高い関連性を示していないのは注意を払うべき点であろう。教員が発言や議論を盛んに促す一方で、学生達がなかなか発言に至らず沈黙するという状況が、この相関係数にも現れていると思われる。教員の努力が空回りしている事を示唆しているようである。

Q14「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

科目ベースの平均点が4.15であり、77%弱が肯定的回答、5%弱が否定的回答となっており、教員の学生を支援する姿勢がこれらの数値から明確に読み取ることが出来る。また、Q13との相関係数が0.762という高い相関関係を示す一方で、Q7との相関係数が0.678で、際だった相関関係が見られない点は、教員が課題に取り組む学生を支援し、発言や議論を促そうとするものの、その成果が十分に現れていない、と考えられる。従って、効果的な指導法について教員はさらに研鑽を積むことが求められよう。

Q15「1回1回の授業のねらいが明確である」

75%弱の学生が肯定的に捉え、6%強の学生が否定的に回答している。科目ベースの平均点は4.08である。講読の授業など、各回の授業の狙いを明確にしにくい科目もあるが、この項目はQ8、Q11と同様、教員の努力が報われやすい項目であり、各授業のねらいを明確にすることは学生の理解の助けともなるので、教員は授業のねらいや各授業の目標を明確に示し、授業を運営していくことが必要である。

Q16 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均点が 4.17 で、この項目もこの 4 年間で最高値を出している。肯定的な回答は約 79%を超え、否定的な回答は 5%強であることから、評価に値するものと言えよう。また、Q15 との相関係数が 0.763 と、高い相関関係を示しているので、各授業のねらいを明確にすることと時間を有効に使うことが表裏をなしていると言えよう。また、Q10 との相関係数も 0.718 であることから、時間が有効に使われることを学生達も望んでいると考えられる。今後とも授業時間を有効に活用する努力を怠らずに続けることが求められる。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学の授業では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われるが、教員の指導方法の改善やカリキュラムの見直し等によって、より効果の高い授業が行われるよう教員やセンターの努力が求められよう。現在行っているように、センターが指導方法改善のための教員相互の情報交換や相談等の機会を設け、或いは、それぞれの教員が個人的に情報交換や相談をすることは、今後とも有効であろう。

また、特に英語においては入学者の英語力に相当の開きがあることが、入学時に行われる TOEIC 英語能力試験で分かっている。習熟度に応じた英語の授業の展開が求められるところであるが、そのためにも現在理学部で行われているのと同じような形で、新入生の英語授業に関しては緩やかな習熟度別クラス編成が全学的に行われることが望まれる。

授業評価アンケートについて述べると、現在の方式はすべてマークシートでの回答のため、数値でおおよそのところは調査できるが、学生が具体的にどういうことを求めているかについてはよく分からないのが実情である。外国語教育研究センターが以前試行した際に用いた「外国語教育研究センター版授業評価アンケート」のように、より具体的に意見が述べられる記述式の項目についても、今後取り入れて行くべきではないかと思われる。



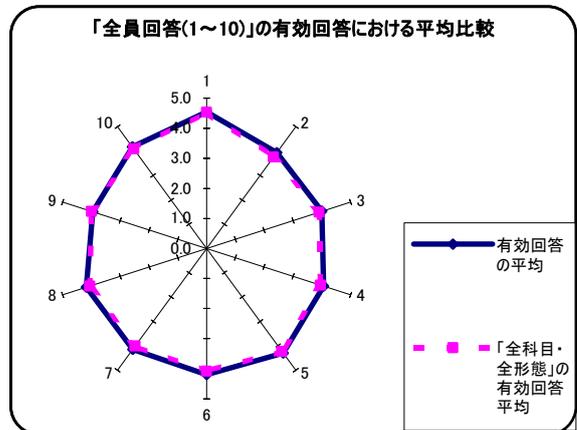
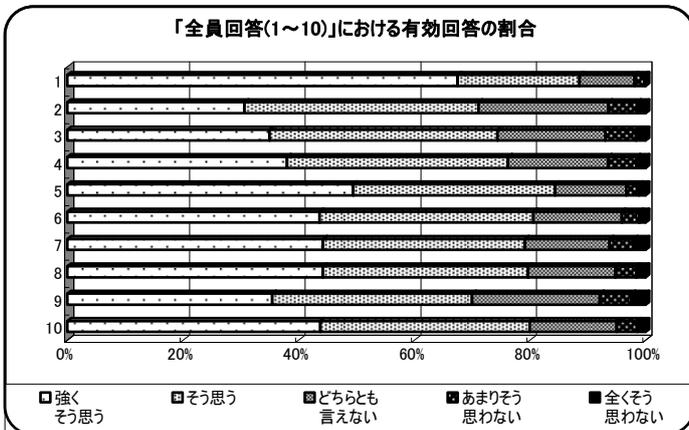
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,211	12,161	75.74%

形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	6,210	1,939	871	163	18	10	9,211	4.54	0.753	4.52	0.256
			67.42%	21.05%	9.46%	1.77%	0.20%	0.11%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,822	3,721	2,063	459	136	10	9,211	3.94	0.927	3.95	0.368
			30.64%	40.40%	22.40%	4.98%	1.48%	0.11%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	3,215	3,625	1,711	490	154	16	9,211	4.01	0.949	4.01	0.442
			34.90%	39.36%	18.58%	5.32%	1.67%	0.17%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	3,496	3,519	1,585	455	146	10	9,211	4.06	0.943	4.07	0.456
			37.95%	38.20%	17.21%	4.94%	1.59%	0.11%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4,547	3,216	1,129	198	110	11	9,211	4.29	0.852	4.31	0.438
			49.36%	34.91%	12.26%	2.15%	1.19%	0.12%	100.00%				
6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4,015	3,402	1,403	279	99	13	9,211	4.19	0.878	4.21	0.384	
		43.59%	36.93%	15.23%	3.03%	1.07%	0.14%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	4,067	3,203	1,349	379	191	22	9,211	4.15	0.959	4.17	0.508	
		44.15%	34.77%	14.65%	4.11%	2.07%	0.24%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4,066	3,256	1,390	330	147	22	9,211	4.17	0.923	4.19	0.453	
		44.14%	35.35%	15.09%	3.58%	1.60%	0.24%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,253	3,178	2,028	503	221	28	9,211	3.95	1.004	3.99	0.476	
		35.32%	34.50%	22.02%	5.46%	2.40%	0.30%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,007	3,317	1,375	321	136	55	9,211	4.17	0.912	4.19	0.474	
		43.50%	36.01%	14.93%	3.48%	1.48%	0.60%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,226	3,391	1,870	368	154	202	9,211	4.02	0.940	4.03	0.454
			35.02%	36.81%	20.30%	4.00%	1.67%	2.19%	100.00%				
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3,545	3,400	1,610	307	143	206	9,211	4.10	0.918	4.12	0.431
		38.49%	36.91%	17.48%	3.33%	1.55%	2.24%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,681	2,971	1,632	292	134	501	9,211	4.12	0.932	4.15	0.455
			39.96%	32.25%	17.72%	3.17%	1.45%	5.44%	100.00%				
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3,590	3,099	1,587	287	134	514	9,211	4.12	0.923	4.15	0.451
			38.98%	33.64%	17.23%	3.12%	1.45%	5.58%	100.00%				
「語学」 のみ	15	1回1回の授業のねらいが明確である	3,232	3,087	1,587	368	155	782	9,211	4.05	0.954	4.08	0.468
			35.09%	33.51%	17.23%	4.00%	1.68%	8.49%	100.00%				
	16	教員は授業時間を有効に活用している	3,575	3,082	1,335	298	135	786	9,211	4.15	0.920	4.17	0.439
			38.81%	33.46%	14.49%	3.24%	1.47%	8.53%	100.00%				



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
Q1	1															
Q2	.351(**)	1														
Q3	.153(**)	.508(**)	1													
Q4	.115(**)	.448(**)	.766(**)	1												
Q5	.127(**)	.427(**)	.549(**)	.607(**)	1											
Q6	.111(**)	.417(**)	.553(**)	.589(**)	.687(**)	1										
Q7	.107(**)	.439(**)	.680(**)	.715(**)	.694(**)	.705(**)	1									
Q8	.099(**)	.402(**)	.631(**)	.696(**)	.647(**)	.652(**)	.802(**)	1								
Q9	.123(**)	.505(**)	.592(**)	.603(**)	.632(**)	.611(**)	.674(**)	.646(**)	1							
Q10	.127(**)	.489(**)	.685(**)	.716(**)	.725(**)	.698(**)	.808(**)	.782(**)	.759(**)	1						
Q11	.126(**)	.405(**)	.578(**)	.616(**)	.605(**)	.614(**)	.696(**)	.665(**)	.610(**)	.697(**)	1					
Q12	.114(**)	.398(**)	.632(**)	.630(**)	.590(**)	.601(**)	.692(**)	.655(**)	.620(**)	.718(**)	.757(**)	1				
Q13	.127(**)	.419(**)	.510(**)	.555(**)	.611(**)	.589(**)	.599(**)	.575(**)	.601(**)	.637(**)	.588(**)	.585(**)	1			
Q14	.120(**)	.425(**)	.562(**)	.592(**)	.625(**)	.618(**)	.678(**)	.648(**)	.641(**)	.703(**)	.650(**)	.646(**)	.762(**)	1		
Q15	.110(**)	.436(**)	.562(**)	.598(**)	.627(**)	.627(**)	.675(**)	.625(**)	.647(**)	.706(**)	.664(**)	.659(**)	.637(**)	.704(**)	1	
Q16	.106(**)	.426(**)	.553(**)	.613(**)	.658(**)	.644(**)	.677(**)	.650(**)	.621(**)	.718(**)	.666(**)	.655(**)	.647(**)	.687(**)	.763(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 16 教員は授業時間を有効に活用している

第2章 各部門の評価・分析

学 習 院 大 学 平 成 21 (2009) 年 度 授 業 評 価 アンケート 経 年 変 化 比 較 表

部門名 外国語教育研究センター

形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.54	0.753	4.52	0.256	4.55	0.747	4.53	0.260	4.58	0.712	4.56	0.248	4.56	0.730	4.53	0.261
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.94	0.927	3.95	0.368	3.89	0.910	3.91	0.374	3.76	0.921	3.80	0.373	3.76	0.926	3.78	0.375
	3	この授業のレベルは適切である	4.01	0.949	4.01	0.442	3.95	0.946	3.97	0.401	4.30	1.159	4.31	0.474	4.26	1.175	4.29	0.492
	4	この授業を進める速さは適切である	4.06	0.943	4.07	0.456	3.99	0.942	4.01	0.432	4.39	1.139	4.41	0.470	4.36	1.142	4.37	0.486
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.29	0.852	4.31	0.438	4.26	0.844	4.29	0.406	4.10	0.857	4.15	0.438	4.07	0.886	4.11	0.476
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.19	0.878	4.21	0.384	4.17	0.849	4.21	0.363	4.03	0.879	4.09	0.385	4.00	0.893	4.06	0.419
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.15	0.959	4.17	0.508	4.11	0.935	4.15	0.453	3.98	0.967	4.04	0.496	3.93	0.989	4.00	0.532
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.17	0.923	4.19	0.453	4.13	0.913	4.18	0.422	3.98	0.954	4.05	0.461	3.95	0.971	4.02	0.485
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.95	1.004	3.99	0.476	3.92	0.976	3.97	0.450	3.80	0.975	3.87	0.467	3.72	0.995	3.78	0.488
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.17	0.912	4.19	0.474	4.14	0.896	4.18	0.437	4.00	0.921	4.06	0.463	3.96	0.946	4.01	0.514
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.02	0.940	4.03	0.454	3.97	0.912	4.00	0.401	3.81	0.932	3.86	0.447	3.75	0.960	3.81	0.470
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.10	0.918	4.12	0.431	4.06	0.887	4.10	0.378	3.92	0.905	3.97	0.403	3.88	0.918	3.93	0.419
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.12	0.932	4.15	0.455	4.07	0.927	4.12	0.460	3.98	0.936	4.05	0.477	3.90	0.973	3.96	0.532
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.12	0.923	4.15	0.451	4.08	0.914	4.12	0.439	3.96	0.924	4.03	0.471	3.88	0.961	3.94	0.522
「語学」 のみ	15	1回1回の授業のねらいが明確である	4.05	0.954	4.08	0.468	4.00	0.940	4.04	0.445	3.88	0.955	3.93	0.463	3.85	0.976	3.90	0.504
	16	教員は授業時間を有効に活用している	4.15	0.920	4.17	0.439	4.08	0.925	4.11	0.438	3.93	0.949	3.98	0.451	3.93	0.960	3.97	0.498

VII. スポーツ・健康科学センター

集計データからわかる事及び今後の授業改善に向けて

全項目（スポーツ・健康科学センター該当項目、1-10（共通）および13、14）において学生回答単純集計平均は、「4.32」から「4.66」の間にあり、「全科目・演習」の平均値よりもおおむね上位にあるが、科目の特性上、より個別に学生と対面で接する機会が多いことも好結果に反映されていると思われる。このような中で「4.32」と一番評価が低かった第13項目、「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」は、若干質問自体が科目に適合しにくい項目であるが、学生に実技上の質問を積極的に促すなど、「こうやりなさい。」から「どうすればうまくいくと思う？」といった、学生に考えさせる機会を増やす実技指導の研究も今後必要なのかも知れない。

「経年変化比較」では、全12項目中、10項目が最高点を記録しており年々の好回答に甘んじることなく改善の努力をしている姿勢がうかがえる。

第2章 各部門の評価・分析

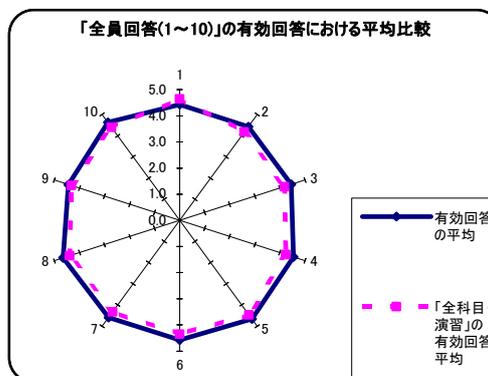
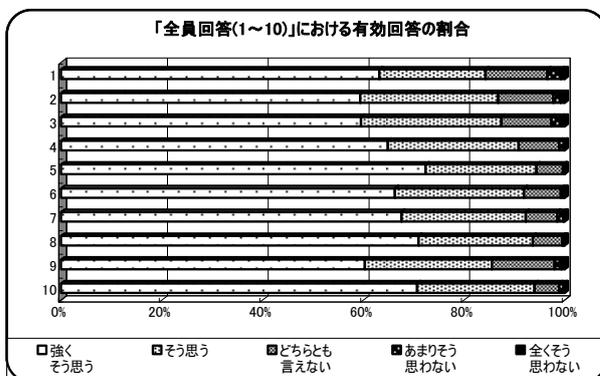
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 スポーツ・健康科学センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,772	2,481	71.42%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,114	372	217	47	13	9	1,772	4.43	0.861	4.44	0.298
			62.87%	20.99%	12.25%	2.65%	0.73%	0.51%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,049	484	194	26	13	6	1,772	4.43	0.801	4.45	0.346
			59.20%	27.31%	10.95%	1.47%	0.73%	0.34%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,050	492	174	35	12	9	1,772	4.44	0.803	4.46	0.318
			59.26%	27.77%	9.82%	1.98%	0.68%	0.51%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,145	458	141	18	2	8	1,772	4.55	0.695	4.56	0.286
			64.62%	25.85%	7.96%	1.02%	0.11%	0.45%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,279	389	92	3	3	6	1,772	4.66	0.598	4.68	0.243
			72.18%	21.95%	5.19%	0.17%	0.17%	0.34%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,169	451	130	9	4	9	1,772	4.57	0.671	4.59	0.274	
		65.97%	25.45%	7.34%	0.51%	0.23%	0.51%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,194	435	111	22	4	6	1,772	4.58	0.686	4.60	0.299	
		67.38%	24.55%	6.26%	1.24%	0.23%	0.34%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,253	400	104	4	4	7	1,772	4.64	0.624	4.66	0.251	
		70.71%	22.57%	5.87%	0.23%	0.23%	0.40%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,064	445	219	24	11	9	1,772	4.43	0.807	4.47	0.386	
		60.05%	25.11%	12.38%	1.35%	0.62%	0.51%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,244	411	85	17	3	12	1,772	4.63	0.638	4.66	0.306	
		70.20%	23.19%	4.80%	0.96%	0.17%	0.68%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	506	270	158	16	3	819	1,772	4.32	0.830	4.35	0.447
			28.56%	15.24%	8.92%	0.90%	0.17%	46.22%	100.00%				
14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	585	253	101	8	4	821	1,772	4.48	0.751	4.50	0.414	
		33.01%	14.28%	5.70%	0.45%	0.23%	46.33%	100.00%					



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.353(**)	1										
Q3	.159(**)	.540(**)	1									
Q4	.171(**)	.533(**)	.743(**)	1								
Q5	.139(**)	.467(**)	.520(**)	.626(**)	1							
Q6	.120(**)	.439(**)	.495(**)	.623(**)	.683(**)	1						
Q7	.106(**)	.438(**)	.561(**)	.679(**)	.678(**)	.700(**)	1					
Q8	.106(**)	.432(**)	.552(**)	.674(**)	.681(**)	.683(**)	.787(**)	1				
Q9	.167(**)	.521(**)	.520(**)	.581(**)	.587(**)	.581(**)	.621(**)	.629(**)	1			
Q10	.154(**)	.508(**)	.606(**)	.686(**)	.667(**)	.651(**)	.727(**)	.736(**)	.703(**)	1		
Q13	.096(**)	.427(**)	.477(**)	.535(**)	.536(**)	.549(**)	.597(**)	.521(**)	.595(**)	.585(**)	1	
Q14	.167(**)	.416(**)	.497(**)	.540(**)	.584(**)	.562(**)	.600(**)	.569(**)	.612(**)	.650(**)	.782(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

🌸 学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.43	0.861	4.44	0.298	4.33	0.911	4.35	0.331	4.37	0.876	4.35	0.341	4.43	0.875	4.41	0.345
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.43	0.801	4.45	0.346	4.37	0.816	4.41	0.331	4.27	0.879	4.30	0.357	4.32	0.835	4.33	0.337
	3	この授業のレベルは適切である	4.44	0.803	4.46	0.318	4.39	0.799	4.41	0.347	4.44	1.154	4.40	0.449	4.41	1.166	4.40	0.457
	4	この授業を進める速さは適切である	4.55	0.695	4.56	0.286	4.47	0.745	4.48	0.305	4.65	0.976	4.63	0.341	4.67	0.921	4.68	0.264
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.66	0.598	4.68	0.243	4.64	0.604	4.66	0.235	4.51	0.715	4.53	0.332	4.52	0.669	4.52	0.247
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.57	0.671	4.59	0.274	4.56	0.679	4.58	0.251	4.42	0.778	4.45	0.354	4.38	0.777	4.39	0.269
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.58	0.686	4.60	0.299	4.57	0.670	4.59	0.291	4.44	0.789	4.47	0.408	4.42	0.744	4.43	0.269
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.64	0.624	4.66	0.251	4.62	0.623	4.65	0.260	4.47	0.770	4.51	0.372	4.47	0.753	4.48	0.251
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.43	0.807	4.47	0.386	4.40	0.790	4.44	0.349	4.24	0.911	4.30	0.462	4.25	0.882	4.27	0.346
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.63	0.638	4.66	0.306	4.61	0.628	4.64	0.271	4.49	0.763	4.52	0.415	4.53	0.693	4.54	0.271
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.32	0.830	4.35	0.447	4.28	0.857	4.30	0.470	4.15	0.916	4.19	0.538	4.02	0.889	4.08	0.516
	14	教員は参加者が課題に取り組みの助けた	4.48	0.751	4.50	0.414	4.48	0.719	4.53	0.349	4.34	0.831	4.37	0.445	4.26	0.792	4.29	0.403

VIII. 共通科目運営委員会

本学では、いわゆる教養教育的科目を「総合基礎科目」と称しているが、共通科目運営委員会は、この「総合基礎科目」のうち、外国語科目・体育科目・情報処理科目を除く科目の運営を担当している。したがって本章で分析する「共通科目」とは、「総合基礎科目」のうち共通科目運営委員会が担当する科目を指している。

A) 集計データからわかること

共通科目に関しては、授業評価アンケートの対象となる 66 科目すべてについてアンケートを実施した。したがって、実施率は 100%である。

学生の回答率（回答者数／総履修者数）は 38.67%と、大学全体の回答率（50.33%）と比較すると 11.66%低くなっている（Ⅲ. 実施に関わる全体的な状況と評価 図表 1 参照）。これは共通科目がほぼすべて講義科目であり、比較的回答率の高い演習科目が 1 科目しかないことが原因のひとつと考えられるが、講義科目のみの平均（41.83%）と比較しても下回っていることから、共通科目の回答率＝出席率が他の科目と比較して低いという結果になった。

回答率の経年変化を見ると、35.94%（平成 18 年度）、37.50%（平成 19 年度）、42.57%（平成 20 年度）と徐々に上向きになってきたにもかかわらず、今回数値が下がっており、回答率（出席率）を向上させるための施策を検討する必要がある。

Q 1 私はこの授業によく出席している

出席状況は、大学全体の平均をやや下回っている。出席率別で見ると 90%以上出席している学生が平均をやや下回り、80～89%はほぼ同じ、79%以下はやや上回るという結果になっている。他の質問項目との相関係数は非常に低く、授業への出席率が高くても、学生の意欲や満足度には結びついていないことがわかる。経年変化（講義科目の科目ベース平均、以下同じ）を見ると 4.33（平成 18 年度）、4.38（平成 19 年度）、4.30（平成 20 年度）、4.38（平成 21 年度）とほぼ横ばいである。

Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生が意欲的に取り組んでいるかについては、大学全体の平均をやや下回っている。「どちらともいえない」という回答が最も多いのは、他の部門の講義科目とも共通している。演習科目と違い、講義科目は自ら参加しているという意識が持ちにくいことが原因のひとつと考えられる。他の質問項目との相関係数はやや低く、意欲的に授業に取り組んでいても、必ずしも満足度の高さに結びついていないことがわかる。経年変化を見ると、3.30（平成 18 年度）、3.25（平成 19 年度）、3.42（平成 20 年度）、3.55（平成 21 年度）と、数値が上昇傾向にある。

Q 3 この授業のレベルは適切である。

授業のレベルの適切さについては、大学全体の平均をやや上回っており、「強くそう思う」「そう思う」を合わせると72.3%となる（大学全体では69.42%）。授業への満足度（Q10）との相関係数も0.707と高く、授業のレベルに満足していることがわかる。経年変化を見ると4.33（平成18年度）、4.29（平成19年度）、3.87（平成20年度）、3.95（平成21年度）となっている。（注：平成18・19年度は集計方法が異なるため、正確な経年変化の比較はできない）

Q4 この授業を進める速さは適切である

授業の速さについては、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.697と比較的高く、授業を進める速さにほぼ満足していることがわかる。経年変化を見ると4.56（平成18年度）、4.53（平成19年度）、4.01（平成20年度）、4.03（平成21年度）となっている。（注：平成18・19年度は集計方法が異なるため、正確な経年変化の比較はできない）

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

教員の熱意については、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.692と比較的高く、教員の熱意にほぼ満足していることがわかる。経年変化を見ると4.02（平成18年度）、4.09（平成19年度）、4.22（平成20年度）、4.24（平成21年度）と年々数値が上昇している。

Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

学習にふさわしい状態に保たれているかについては、大学全体の平均をやや下回っているものの、授業への満足度（Q10）との相関係数は0.638と比較的高く、学習にふさわしい状態に保たれていることがわかる。経年変化を見ると3.78（平成18年度）、3.82（平成19年度）、3.95（平成20年度）、4.04（平成21年度）と、年々数値が上昇している。

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

理解しやすさについては、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.788と高く、授業の理解しやすさにはかなり満足していることがわかる。経年変化を見ると3.76（平成18年度）、3.77（平成19年度）、3.98（平成20年度）、4.04（平成21年度）と年々数値が上昇している。

Q8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

話し方については、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.738と高く、教員の話し方にはかなり満足していることがわかる。経年変化を見ると3.85（平成18年度）、3.87（平成19年度）、4.09（平成20年度）、4.13（平成21年度）と年々数値が上昇している。

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心については、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの

平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.759と高く、知的好奇心が刺激されるような授業が行われていることがわかる。経年変化を見ると3.98（平成18年度）、3.98（平成19年度）、4.09（平成20年度）、4.11（平成21年度）と年々数値が上昇している。

Q10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業全般に対する評価については、大学全体の平均をやや下回っているものの、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。理解のしやすさ（Q7）、話し方（Q8）、知的好奇心の刺激（Q9）といった項目と授業への満足度（Q10）との相関係数は非常に高い傾向にある。この傾向は共通科目に限らず全体的に見られるものであるが、教員の授業に対する取り組み姿勢がそのまま満足度としての評価につながっていることが分かる。経年変化を見ると3.91（平成18年度）、3.92（平成19年度）、4.06（平成20年度）、4.11（平成21年度）と年々数値が上昇している。

Q11 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である

板書の仕方については、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.632と比較的高く、板書の仕方等がほぼ適切に行われていることがわかる。経年変化を見ると3.65（平成18年度）、3.69（平成19年度）、3.83（平成20年度）、3.93（平成21年度）と年々数値が上昇している。

Q12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

教材については、大学全体の平均とほぼ同じ数値となっており、講義科目のみの平均と比較すると上回っている。授業への満足度（Q10）との相関係数は0.685と比較的高く、教材の内容がほぼ適切であることがわかる。経年変化を見ると3.84（平成18年度）、3.83（平成19年度）、3.97（平成20年度）、4.04（平成21年度）と年々数値が上昇している。

■授業形態別の分析

共通科目はほぼすべて「講義」の形態で授業が行われているが、アンケート結果を見ると「演習」形式の授業が多く項目で、もっとも評価が高いことがわかる（第4章資料集参照）。

その理由として、「演習」は比較的履修者数が少ないため教員の目が届きやすいこと、発表やディスカッションなど参加型の授業形式であること、学生自身の意思で履修しており意欲的に取り組んでいることが挙げられる。

共通科目の場合、どうしても教員が学生に向けて一方的に講義をすることが多くなりがちであるが、学生が授業に参加しているという意識を持てるような工夫をする必要がある。

■学年別の分析

今回のアンケート結果からは、全科目の分析結果と同様、多くの質問項目において、学

第2章 各部門の評価・分析

年が上になればなるほど評価が高くなる傾向にあることがうかがえる（第4章資料集参照）。この理由については、アンケート結果のみで即断することはできないが、高学年になるにしたがって必修科目や選択必修科目の履修登録数が減少してくるため、結果として時間割に余裕ができ、学生は自らの意思で履修したい科目を履修しているということが影響しているものと思われる。

また、出席率についてのみ1年生がもっとも高いという結果が出ているが、その反面、満足度をはじめとする他のすべての項目は低学年ほど評価が低いという結果になっている。この背景には、1年生が大学の授業の進め方に不慣れであることが関係していると推察される。

■総履修者数ランク別の分析

総履修者数規模を「25名以下」「26～50名」「51名～100名」「101～200名」「201名以上」という5つのランクに分類し、これらのランク別に平均値の差について分析した（第3章資料集参照）。

出席率・学生の授業への意欲的な取り組み・授業スピード・満足度といった多くの項目で高い評価を得ているのは「25名以下」および「26～50名」のランクの科目であることがわかる。この理由としては、学生と教員との距離感が近く、双方にとって適度な緊張感が生まれているためと考えられる。一方、「101～200名以上」「201名以上」という規模の大きい科目で評価の低い項目が目立つ傾向にある。

履修者数が比較的多い共通科目が、いくつかの項目で大学全体の平均を下回っている原因のひとつが、こうした傾向によるものであるとすると、今後、履修者数の多い科目を増設して分散化する等の措置が必要となる。

B) 今後の課題

今回の授業評価アンケートは4回目の実施となり、前回までのアンケート結果を踏まえた各教員の授業内容に対する改善の努力が数字にも表われている。しかし、履修登録しているものの出席していない学生への対応、学生を意欲的に授業に取り組みさせるための施策、授業規模の見直しなどが課題として残されている。

一方、いわゆる大学設置基準の大綱化により一般教育科目の制度が廃止となり、平成6年度に現行の総合基礎科目の体系に移行して以来、全学的な検証の議論がなされないまま部分的な修正のみで共通科目が維持されてきたという問題もある。

そこで、平成23年度より、いくつかの改編を実施する予定である。

- ①「その他の総合基礎科目」あるいは「共通科目」と呼ばれてきた、外国語科目・体育科目・情報処理科目を除く総合基礎科目に「基礎教養科目」という正式な名称を付与する。
- ②「基礎教養科目」の区分を再編成する。

- ③「基礎教養科目」設置提案の主体は各学部教授会や大学附置研究施設であるが、それを他の大学各部門にも広げ、科目の多様化を図る。



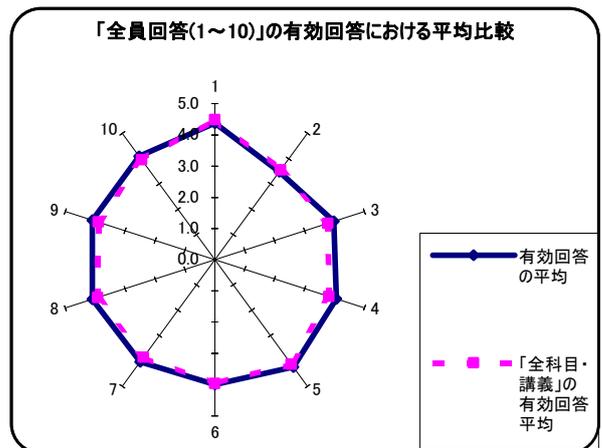
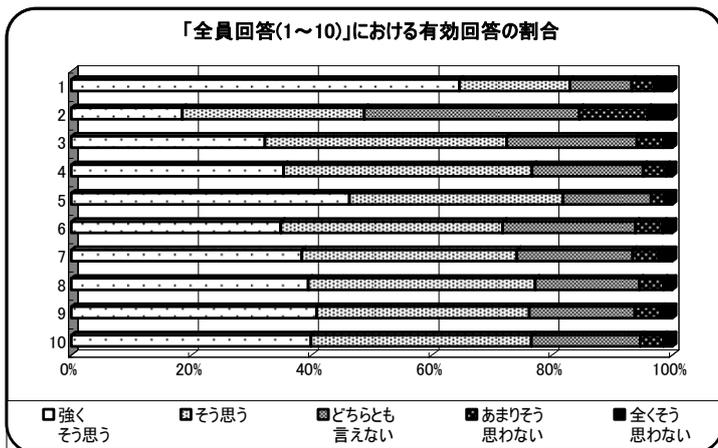
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 共通科目運営委員会

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,105	10,604	38.71%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース		部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			5	4	3	2	1		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差			
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		無回答				
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	2,645	755	422	154	122	7	4,105	4.38	1.012	4.38	0.409
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	756	1,241	1,465	463	171	9	4,105	3.48	1.047	3.55	0.418
	3	この授業のレベルは適切である	1,321	1,647	887	180	61	9	4,105	3.97	0.921	3.95	0.400
	4	この授業を進める速さは適切である	1,447	1,695	755	155	44	9	4,105	4.06	0.884	4.03	0.361
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,896	1,458	599	95	49	8	4,105	4.23	0.869	4.24	0.416
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,428	1,510	904	188	64	11	4,105	3.99	0.946	4.04	0.388
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,573	1,465	790	177	92	8	4,105	4.04	0.975	4.04	0.507
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,614	1,547	708	164	61	11	4,105	4.10	0.923	4.13	0.440
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,673	1,447	721	175	79	10	4,105	4.09	0.960	4.11	0.371
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,624	1,495	737	157	59	33	4,105	4.10	0.925	4.11	0.434
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,304	1,401	896	281	83	140	4,105	3.90	1.008	3.93	0.477
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,381	1,458	876	165	71	154	4,105	3.99	0.949	4.04	0.431





学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

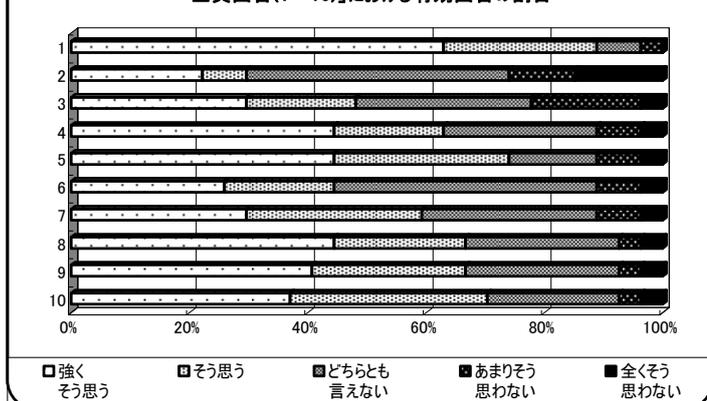
部門名 共通科目運営委員会

	合計	総履修者数	回収率
回収数	27	82	32.93%

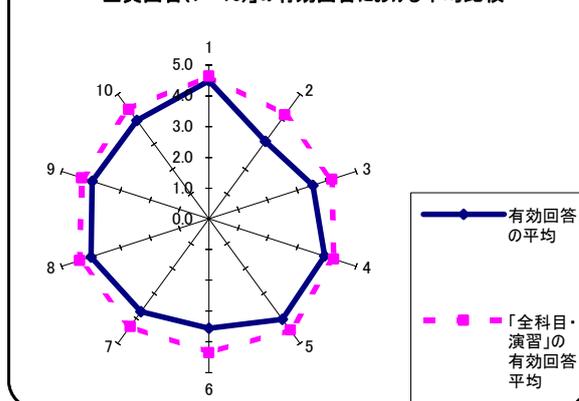
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	17	7	2	1	0	0	27	4.48	0.802	4.48	-
			62.96%	25.93%	7.41%	3.70%	0.00%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	6	2	12	3	4	0	27	3.11	1.311	3.11	-
			22.22%	7.41%	44.44%	11.11%	14.81%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	8	5	8	5	1	0	27	3.52	1.221	3.52	-
			29.63%	18.52%	29.63%	18.52%	3.70%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	12	5	7	2	1	0	27	3.93	1.174	3.93	-
			44.44%	18.52%	25.93%	7.41%	3.70%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	12	8	4	2	1	0	27	4.04	1.126	4.04	-
			44.44%	29.63%	14.81%	7.41%	3.70%	0.00%	100.00%				
6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	7	5	12	2	1	0	27	3.56	1.086	3.56	-	
		25.93%	18.52%	44.44%	7.41%	3.70%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	8	8	8	2	1	0	27	3.74	1.095	3.74	-	
		29.63%	29.63%	29.63%	7.41%	3.70%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	12	6	7	1	1	0	27	4.00	1.109	4.00	-	
		44.44%	22.22%	25.93%	3.70%	3.70%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	11	7	7	1	1	0	27	3.96	1.091	3.96	-	
		40.74%	25.93%	25.93%	3.70%	3.70%	0.00%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	10	9	6	1	1	0	27	3.96	1.055	3.96	-	
		37.04%	33.33%	22.22%	3.70%	3.70%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4	3	11	3	2	4	27	3.17	1.154	3.17	-
			14.81%	11.11%	40.74%	11.11%	7.41%	14.81%	100.00%				
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4	6	9	3	1	4	27	3.39	1.076	3.39	-
			14.81%	22.22%	33.33%	11.11%	3.70%	14.81%	100.00%				

「全員回答(1~10)」における有効回答の割合



「全員回答(1~10)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 共通科目運営委員会
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.376(**)	1										
Q3	.213(**)	.529(**)	1									
Q4	.174(**)	.454(**)	.777(**)	1								
Q5	.174(**)	.396(**)	.574(**)	.607(**)	1							
Q6	.160(**)	.431(**)	.546(**)	.583(**)	.611(**)	1						
Q7	.162(**)	.484(**)	.712(**)	.715(**)	.643(**)	.654(**)	1					
Q8	.149(**)	.436(**)	.645(**)	.699(**)	.632(**)	.632(**)	.788(**)	1				
Q9	.173(**)	.516(**)	.602(**)	.580(**)	.580(**)	.526(**)	.662(**)	.627(**)	1			
Q10	.189(**)	.523(**)	.707(**)	.697(**)	.692(**)	.638(**)	.788(**)	.738(**)	.759(**)	1		
Q11	.108(**)	.400(**)	.528(**)	.572(**)	.550(**)	.534(**)	.622(**)	.617(**)	.541(**)	.632(**)	1	
Q12	.154(**)	.431(**)	.592(**)	.606(**)	.574(**)	.566(**)	.674(**)	.653(**)	.559(**)	.685(**)	.701(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 共通科目運営委員会
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14	
Q1	1												
Q2	0.13	1											
Q3	-0.147	.708(**)	1										
Q4	-0.165	.580(**)	.833(**)	1									
Q5	0.065	.570(**)	.713(**)	.729(**)	1								
Q6	-0.054	.684(**)	.645(**)	.546(**)	.612(**)	1							
Q7	-0.086	.582(**)	.653(**)	.590(**)	.831(**)	.798(**)	.760(**)	1					
Q8	-0.159	.664(**)	.766(**)	.822(**)	.788(**)	.643(**)	.643(**)	.760(**)	1				
Q9	0.197	.675(**)	.506(**)	.508(**)	.565(**)	.537(**)	.539(**)	.540(**)	.540(**)	1			
Q10	-0.024	.615(**)	.702(**)	.649(**)	.778(**)	.720(**)	.757(**)	.854(**)	.667(**)	.667(**)	1		
Q13	0.067	.619(**)	.599(**)	.452(**)	.626(**)	.606(**)	.576(**)	.659(**)	.592(**)	.761(**)	.761(**)	1	
Q14	0.024	.624(**)	.590(**)	.456(**)	.608(**)	.648(**)	.660(**)	.698(**)	.621(**)	.738(**)	.931(**)	.931(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた


学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

 部門名 共通科目運営委員会
 形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.38	1.012	4.38	0.409	4.32	1.026	4.30	0.344	4.38	1.004	4.38	0.360	4.35	1.011	4.33	0.394
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.48	1.047	3.55	0.418	3.35	1.035	3.42	0.419	3.16	1.033	3.25	0.449	3.21	1.019	3.30	0.405
	3	この授業のレベルは適切である	3.97	0.921	3.95	0.400	3.90	0.917	3.87	0.372	4.38	1.135	4.29	0.494	4.43	1.095	4.33	0.544
	4	この授業を進める速さは適切である	4.06	0.884	4.03	0.361	4.00	0.853	4.01	0.298	4.57	0.983	4.53	0.296	4.56	0.977	4.56	0.296
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.23	0.869	4.24	0.416	4.20	0.858	4.22	0.390	4.01	0.882	4.09	0.383	3.96	0.910	4.02	0.405
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.99	0.946	4.04	0.388	3.90	0.944	3.95	0.374	3.67	1.028	3.82	0.423	3.62	0.995	3.78	0.398
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.04	0.975	4.04	0.507	3.98	0.954	3.98	0.429	3.71	1.045	3.77	0.483	3.73	1.036	3.76	0.534
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.10	0.923	4.13	0.440	4.05	0.917	4.09	0.395	3.78	0.996	3.87	0.401	3.78	0.982	3.85	0.447
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.09	0.960	4.11	0.371	4.05	0.943	4.09	0.344	3.91	0.990	3.98	0.379	3.91	0.989	3.98	0.400
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.10	0.925	4.11	0.434	4.05	0.910	4.06	0.404	3.85	0.957	3.92	0.418	3.88	0.967	3.91	0.460
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.90	1.008	3.93	0.477	3.80	1.029	3.83	0.463	3.53	1.109	3.69	0.535	3.57	1.044	3.65	0.527
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.99	0.949	4.04	0.431	3.95	0.937	3.97	0.426	3.73	0.979	3.83	0.424	3.76	0.964	3.84	0.432

 部門名 共通科目運営委員会
 形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.48	0.802	4.48	-	4.48	0.750	4.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.11	1.311	3.11	-	2.95	0.899	2.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	この授業のレベルは適切である	3.52	1.221	3.52	-	3.23	0.869	3.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	この授業を進める速さは適切である	3.93	1.174	3.93	-	3.68	0.945	3.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.04	1.126	4.04	-	4.09	0.921	4.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.56	1.086	3.56	-	3.73	0.883	3.73	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.74	1.095	3.74	-	3.32	1.086	3.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.00	1.109	4.00	-	4.00	1.024	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.96	1.091	3.96	-	3.82	1.053	3.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.96	1.055	3.96	-	3.82	0.733	3.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3.17	1.154	3.17	-	2.55	0.963	2.55	-	-	-	-	-	-	-	-	
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3.39	1.076	3.39	-	3.14	0.941	3.14	-	-	-	-	-	-	-	-	

IX. 教職課程

1. 集計データから分かること

教職課程において、学生による授業評価は、本学全体におけると同様に平成18（2006）年度から実施している。

結果を見た場合、「Q1 私はこの授業によく出席している」では、出席率 90%以上が 77.33% を占め、学生回答単純集計平均 4.69 となっている。これは、部門別平均 4.67 をわずかにだが上回っている。ただ、前年度の 80.02% を下回る結果となった。2 年連続で低下している。学生の授業への出席は、学習効果を高めるための最も基本的な課題であり、おおむね良好な結果が得られているとはいえ、出席の重要性を学生にさらに浸透させたい。

一方で、単に授業に出席しているだけでは、とりわけ教職課程の目指す中等教育の教員としての高い資質の育成という点では不十分であり、学生の主体的な授業への意欲を引き出せているかが問われなければならない。この点で、「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」では、学生回答単純集計平均 4.02 で昨年の同平均 4.08 からわずかに低下している。また、部門別平均では、前年同様に、スポーツ健康センターに次いで 2 位となっている。

さらに、授業を受けた結果、学生がそれをどう評価しているのかという点では、「Q10 総合的に見てこの授業は高く評価できる」が、学生回答単純集計平均 4.29 で前年の同平均 4.32 からわずかにポイントを落としている。

以上から見たとき、おおむね良好な授業評価を学生から得てはいるが、資格取得を目指す学生が受講している部門であるので当然の結果ともいえる。現状に満足することなくさらに授業改善に努め、より充実した授業を目指したい。

2. 今後の授業改善に向けて

学生による授業評価の実施は、授業に対する問題点を解決していく糸口になり得るものであり、今後も、学生による授業評価を継続していくが、教職課程として授業改善にそれをどう活かすのかを、引き続き議論していく。

教職課程では、21年度から教育実習 I（実習事前講義）を3年時に集中講義方式で行うことのほか、「教育課程論」を必修科目として開設した。また、文部科学省の指導により、再来年度から、教育実習を終えた4年生を対象とする「教職実践演習」を新規に開設することになる。これらのカリキュラム改革によって教職課程の授業体系が改善され、より実践力の身に付いた学生を輩出することが可能になる見込みである。しかし、必修科目がますます増加することで、教職課程履修に対する学生の負担感が一層高まることは間違いない。今後教員採用の増加が見込まれるだけに、このような負担増が教職課程履修希望者の減少を引き起こさないよう、新たな工夫を重ねていく必要があると考えている。



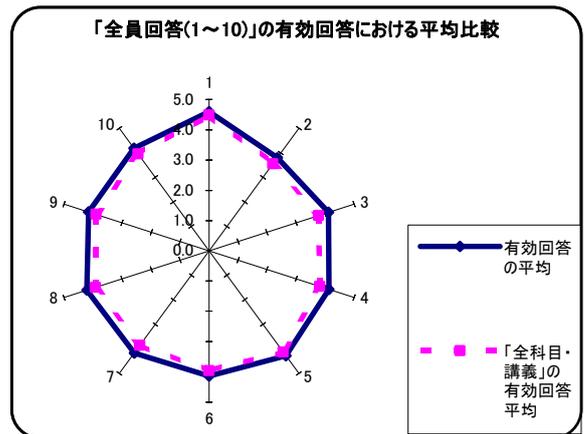
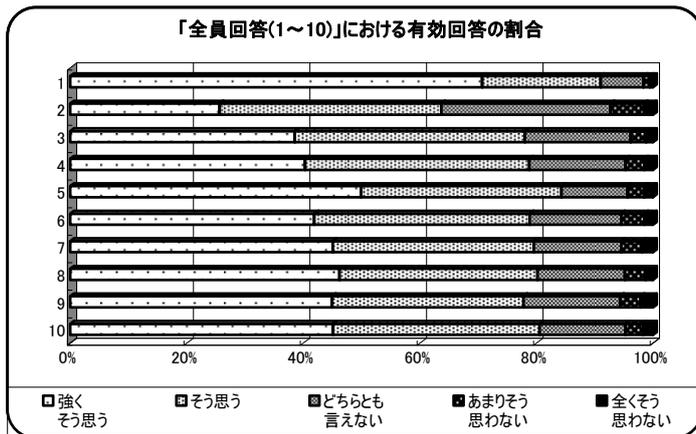
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,548	2,362	65.54%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,093	314	114	17	8	2	1,548	4.60	0.719	4.58	0.162
			70.61%	20.28%	7.36%	1.10%	0.52%	0.13%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	396	587	449	88	24	4	1,548	3.81	0.937	3.80	0.293
			25.58%	37.92%	29.01%	5.68%	1.55%	0.26%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	595	609	280	41	18	5	1,548	4.12	0.875	4.10	0.383
			38.44%	39.34%	18.09%	2.65%	1.16%	0.32%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	621	593	255	49	23	7	1,548	4.13	0.902	4.12	0.467
			40.12%	38.31%	16.47%	3.17%	1.49%	0.45%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	771	531	175	43	24	4	1,548	4.28	0.885	4.29	0.364
			49.81%	34.30%	11.30%	2.78%	1.55%	0.26%	100.00%				
6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	646	569	242	61	23	7	1,548	4.14	0.922	4.15	0.320	
		41.73%	36.76%	15.63%	3.94%	1.49%	0.45%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	696	532	232	55	29	4	1,548	4.17	0.940	4.17	0.416	
		44.96%	34.37%	14.99%	3.55%	1.87%	0.26%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	712	524	231	54	20	7	1,548	4.20	0.910	4.20	0.416	
		45.99%	33.85%	14.92%	3.49%	1.29%	0.45%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	692	506	255	54	33	8	1,548	4.15	0.962	4.16	0.386	
		44.70%	32.69%	16.47%	3.49%	2.13%	0.52%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	695	546	228	46	26	7	1,548	4.19	0.913	4.20	0.418	
		44.90%	35.27%	14.73%	2.97%	1.68%	0.45%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	465	506	397	94	39	47	1,548	3.84	1.017	3.87	0.470
			30.04%	32.69%	25.65%	6.07%	2.52%	3.04%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	576	567	285	40	27	53	1,548	4.09	0.916	4.09	0.392	
		37.21%	36.63%	18.41%	2.58%	1.74%	3.42%	100.00%					





学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

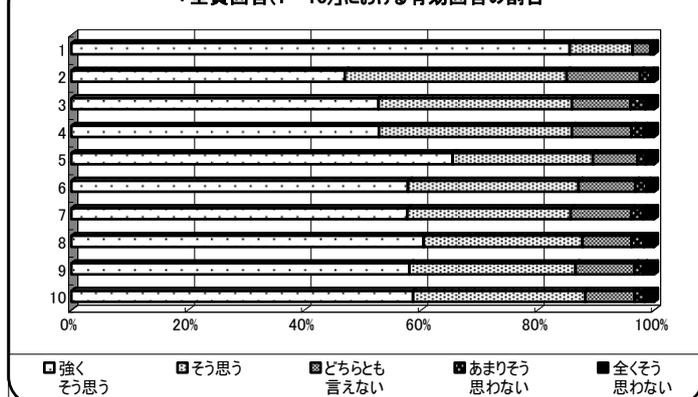
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,248	1,546	80.72%

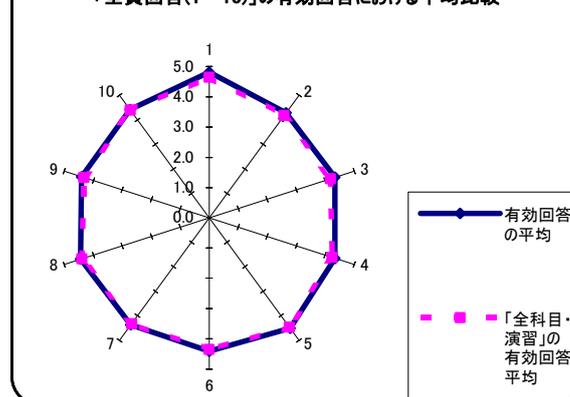
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,066	134	38	5	3	2	1,248	4.81	0.518	4.73	0.236
			85.42%	10.74%	3.04%	0.40%	0.24%	0.16%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	585	474	157	22	8	2	1,248	4.29	0.801	4.26	0.302
			46.88%	37.98%	12.58%	1.76%	0.64%	0.16%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	657	413	126	31	19	2	1,248	4.33	0.870	4.27	0.389
			52.64%	33.09%	10.10%	2.48%	1.52%	0.16%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	657	412	128	26	22	3	1,248	4.33	0.874	4.29	0.390
			52.64%	33.01%	10.26%	2.08%	1.76%	0.24%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	815	300	95	18	18	2	1,248	4.51	0.814	4.49	0.388
			65.30%	24.04%	7.61%	1.44%	1.44%	0.16%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	719	365	121	24	16	3	1,248	4.40	0.840	4.39	0.399	
		57.61%	29.25%	9.70%	1.92%	1.28%	0.24%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	717	349	129	26	23	4	1,248	4.38	0.889	4.35	0.421	
		57.45%	27.96%	10.34%	2.08%	1.84%	0.32%	100.00%					
8	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	753	340	105	26	22	2	1,248	4.43	0.866	4.39	0.412	
		60.34%	27.24%	8.41%	2.08%	1.76%	0.16%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	723	355	126	19	23	2	1,248	4.39	0.869	4.39	0.392	
		57.93%	28.45%	10.10%	1.52%	1.84%	0.16%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	724	365	105	21	20	13	1,248	4.42	0.843	4.40	0.422	
		58.01%	29.25%	8.41%	1.68%	1.60%	1.04%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	628	348	154	31	19	68	1,248	4.30	0.907	4.29	0.502
			50.32%	27.88%	12.34%	2.48%	1.52%	5.45%	100.00%				
14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	617	346	163	31	20	71	1,248	4.28	0.918	4.29	0.416	
		49.44%	27.72%	13.06%	2.48%	1.60%	5.69%	100.00%					

「全員回答(1~10)」における有効回答の割合



「全員回答(1~10)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.278(**)	1										
Q3	.148(**)	.567(**)	1									
Q4	.125(**)	.491(**)	.801(**)	1								
Q5	.099(**)	.430(**)	.619(**)	.688(**)	1							
Q6	.123(**)	.441(**)	.572(**)	.608(**)	.658(**)	1						
Q7	.107(**)	.465(**)	.694(**)	.733(**)	.703(**)	.656(**)	1					
Q8	.092(**)	.449(**)	.667(**)	.716(**)	.646(**)	.632(**)	.802(**)	1				
Q9	.142(**)	.541(**)	.645(**)	.657(**)	.633(**)	.576(**)	.680(**)	.657(**)	1			
Q10	.157(**)	.544(**)	.724(**)	.740(**)	.746(**)	.665(**)	.777(**)	.738(**)	.796(**)	1		
Q11	.117(**)	.447(**)	.556(**)	.583(**)	.552(**)	.550(**)	.656(**)	.635(**)	.559(**)	.643(**)	1	
Q12	.125(**)	.454(**)	.618(**)	.642(**)	.645(**)	.574(**)	.690(**)	.657(**)	.651(**)	.726(**)	.760(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.246(**)	1										
Q3	.104(**)	.581(**)	1									
Q4	.113(**)	.515(**)	.808(**)	1								
Q5	.055	.414(**)	.632(**)	.683(**)	1							
Q6	.093(**)	.431(**)	.664(**)	.710(**)	.748(**)	1						
Q7	.041	.424(**)	.723(**)	.756(**)	.742(**)	.755(**)	1					
Q8	.080(**)	.445(**)	.700(**)	.762(**)	.710(**)	.724(**)	.824(**)	1				
Q9	.090(**)	.469(**)	.700(**)	.702(**)	.690(**)	.673(**)	.732(**)	.723(**)	1			
Q10	.081(**)	.486(**)	.747(**)	.755(**)	.756(**)	.741(**)	.827(**)	.796(**)	.852(**)	1		
Q13	.075(*)	.430(**)	.583(**)	.593(**)	.594(**)	.618(**)	.631(**)	.635(**)	.599(**)	.674(**)	1	
Q14	.074(*)	.442(**)	.620(**)	.643(**)	.648(**)	.636(**)	.696(**)	.657(**)	.655(**)	.728(**)	.761(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた


学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

 部門名 教職課程
 形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.60	0.719	4.58	0.162	4.64	0.756	4.60	0.231	4.70	0.650	4.71	0.151	4.67	0.711	4.64	0.171
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.81	0.937	3.80	0.293	3.88	0.893	3.85	0.314	3.62	0.898	3.65	0.338	3.48	0.952	3.52	0.315
	3	この授業のレベルは適切である	4.12	0.875	4.10	0.383	4.16	0.827	4.15	0.290	4.68	0.874	4.67	0.268	4.58	0.951	4.58	0.290
	4	この授業を進める速さは適切である	4.13	0.902	4.12	0.467	4.18	0.816	4.18	0.320	4.61	0.938	4.60	0.250	4.64	0.885	4.65	0.239
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.28	0.885	4.29	0.364	4.38	0.757	4.39	0.278	4.14	0.861	4.20	0.393	4.15	0.840	4.17	0.346
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.14	0.922	4.15	0.320	4.27	0.809	4.29	0.237	4.08	0.914	4.11	0.394	3.96	0.949	4.00	0.408
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.17	0.940	4.17	0.416	4.24	0.861	4.25	0.375	3.99	0.983	4.05	0.505	3.86	1.049	3.94	0.486
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.20	0.910	4.20	0.416	4.26	0.851	4.30	0.404	4.01	0.960	4.09	0.477	3.88	1.006	3.97	0.522
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.15	0.962	4.16	0.386	4.24	0.831	4.26	0.235	4.03	0.965	4.07	0.398	3.88	1.012	3.95	0.410
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.19	0.913	4.20	0.418	4.25	0.807	4.27	0.290	4.00	0.952	4.07	0.452	3.92	0.992	3.99	0.432
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.84	1.017	3.87	0.470	3.84	1.003	3.92	0.471	3.51	1.083	3.62	0.562	3.37	1.068	3.44	0.500
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.09	0.916	4.09	0.392	4.20	0.839	4.23	0.310	3.96	0.907	4.02	0.400	3.87	0.898	3.90	0.355

 部門名 教職課程
 形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.81	0.518	4.73	0.236	4.79	0.494	4.75	0.201	4.82	0.492	4.78	0.209	4.75	0.592	4.74	0.224
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.29	0.801	4.26	0.302	4.22	0.793	4.25	0.265	4.08	0.847	4.12	0.415	4.02	0.892	4.10	0.351
	3	この授業のレベルは適切である	4.33	0.870	4.27	0.389	4.24	0.869	4.31	0.380	4.66	0.873	4.64	0.397	4.68	0.825	4.69	0.260
	4	この授業を進める速さは適切である	4.33	0.874	4.29	0.390	4.26	0.884	4.31	0.393	4.71	0.814	4.71	0.343	4.71	0.829	4.72	0.262
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.51	0.814	4.49	0.388	4.54	0.743	4.57	0.313	4.40	0.762	4.43	0.342	4.37	0.828	4.37	0.457
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.40	0.840	4.39	0.399	4.33	0.853	4.38	0.353	4.29	0.815	4.34	0.321	4.23	0.881	4.29	0.373
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.38	0.889	4.35	0.421	4.21	0.979	4.29	0.447	4.14	0.924	4.23	0.465	4.08	0.970	4.18	0.458
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.43	0.866	4.39	0.412	4.31	0.905	4.40	0.379	4.19	0.897	4.29	0.412	4.12	0.953	4.26	0.408
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.39	0.869	4.39	0.392	4.42	0.811	4.49	0.286	4.25	0.850	4.32	0.312	4.25	0.922	4.31	0.349
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.42	0.843	4.40	0.422	4.37	0.862	4.43	0.345	4.26	0.841	4.33	0.377	4.23	0.909	4.31	0.416
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.30	0.907	4.29	0.502	4.23	0.973	4.34	0.487	4.17	0.906	4.18	0.544	4.13	0.954	4.13	0.643
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.28	0.918	4.29	0.416	4.23	0.916	4.34	0.363	4.14	0.883	4.21	0.477	4.16	0.926	4.22	0.511

X. 学芸員資格取得に関する委員会

1. 全体の傾向

2006年度より2009年度までの経年変化を通観して言えることは、年によって若干の変化はあるものの、平均してきわめて高い数値を維持し続けているということである。これは、資格取得のため卒業に必要な単位を越えて自発的に選択するという学生の側の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者（多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である）の側の意欲とがうまく噛み合っている結果であり、資格取得のための専門度のきわめて高い授業がもともとそうした傾向を持つことは、当然といえば当然であろう。ただ、長年にわたる学芸員資格取得に関する委員会および学芸員資格取得事務室の活動を振り返ってみるならば、そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任に関しての十分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行なわれる徹底したガイダンス、事務室窓口でのきめ細やかな指導・アドヴァイスなど、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが極めて大きいと考えられる。言い換えるならば、FDにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと考えるような授業を用意できる状況や枠組を、外側から積極的に構築してゆくということであろう。

2. 学芸部門の問題について

昨年度問題となった、学生の出席状況が徐々に低下し、また学生の学習意欲も低迷しているという状況は、本年度はかなり改善された。ただし、この点に関して、委員会としてとりたてて何らかの具体的な方策を取ったわけでもないのに、この程度の数値の揺れは、学年による通常揺れの範囲であり、その変化は授業の内容や進め方に起因するものではないと考えた方が良いかもしれない。その意味では、数値が高くなったことも、特に、改善の効果が上がったと評価すべきことではないとも考えられる。

これは、学芸部門に限ったことではないが、アンケートに回答する学生の質は、おそらく入試の状況などによって毎年同じであるとは限らないだろう。そのことが、回答項目(1)(2)にどう反映されるのかといった、アンケートとは別の統計資料とクロスさせた考察、さらに回答項目(1)(2)の分布と(3)以降との分布がどのように対応するかといったより詳しい分析などが今後の課題となるであろう。それを行わないことには、数値の変化が授業内容、進め方と、実際にどれほどリンクしているかは、必ずしも明確にはなら

第2章 各部門の評価・分析

ないからである。

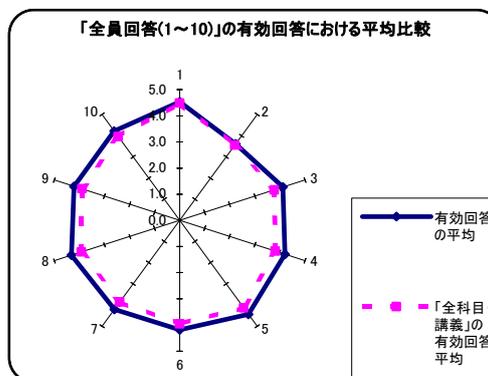
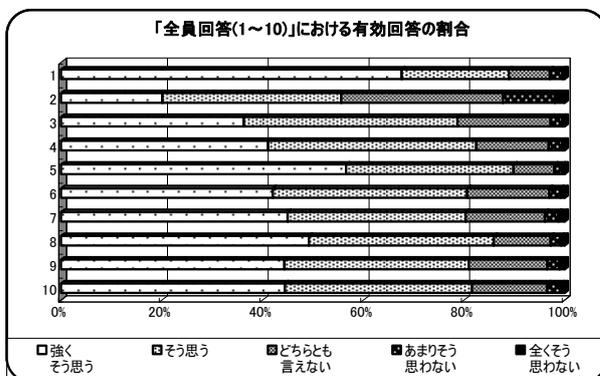
学芸院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回収率
回収数	721	1,048	68.80%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	488	153	59	18	3	0	721	4.53	0.783	4.49	0.237
			67.68%	21.22%	8.18%	2.50%	0.42%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	145	255	231	74	14	2	721	3.62	0.982	3.71	0.427
			20.11%	35.37%	32.04%	10.26%	1.94%	0.28%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	261	305	133	17	3	2	721	4.12	0.817	4.18	0.322
			36.20%	42.30%	18.45%	2.36%	0.42%	0.28%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	296	298	103	20	3	1	721	4.20	0.815	4.26	0.279
			41.05%	41.33%	14.29%	2.77%	0.42%	0.14%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	408	240	58	11	4	0	721	4.44	0.752	4.52	0.315
			56.59%	33.29%	8.04%	1.53%	0.55%	0.00%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	303	278	117	16	6	1	721	4.19	0.844	4.28	0.298	
		42.02%	38.56%	16.23%	2.22%	0.83%	0.14%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	323	254	113	19	9	3	721	4.20	0.887	4.31	0.358	
		44.80%	35.23%	15.67%	2.64%	1.25%	0.42%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	354	264	81	15	5	2	721	4.32	0.807	4.39	0.292	
		49.10%	36.62%	11.23%	2.08%	0.69%	0.28%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	319	263	112	18	7	2	721	4.21	0.863	4.32	0.321	
		44.24%	36.48%	15.53%	2.50%	0.97%	0.28%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	319	266	107	20	5	4	721	4.22	0.849	4.32	0.370	
		44.24%	36.89%	14.84%	2.77%	0.69%	0.55%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	310	226	126	40	6	13	721	4.12	0.951	4.23	0.372
			43.00%	31.35%	17.48%	5.55%	0.83%	1.80%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	316	244	121	21	5	14	721	4.20	0.874	4.28	0.348	
		43.83%	33.84%	16.78%	2.91%	0.69%	1.94%	100.00%					



第2章 各部門の評価・分析



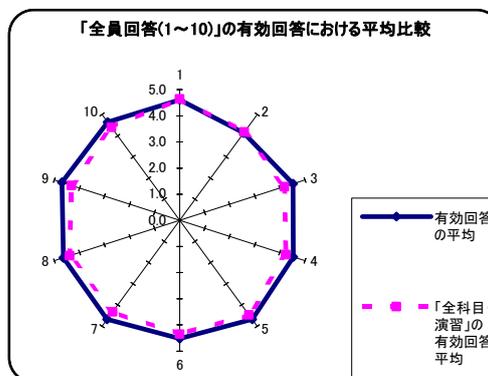
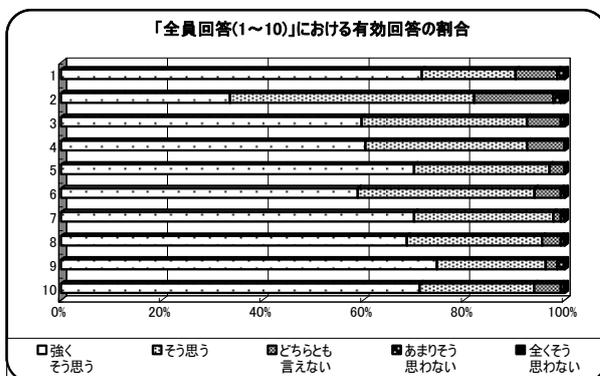
学習院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回収率
回収数	134	167	80.24%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	96	25	11	2	0	0	134	4.60	0.705	4.60	0.283
			71.64%	18.66%	8.21%	1.49%	0.00%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	45	65	21	2	1	0	134				
			33.58%	48.51%	15.67%	1.49%	0.75%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	80	44	9	1	0	0	134				
			59.70%	32.84%	6.72%	0.75%	0.00%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	81	43	10	0	0	0	134				
			60.45%	32.09%	7.46%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	94	36	4	0	0	0	134				
			70.15%	26.87%	2.99%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	79	47	7	1	0	0	134					
		58.96%	35.07%	5.22%	0.75%	0.00%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	94	37	2	1	0	0	134					
		70.15%	27.61%	1.49%	0.75%	0.00%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	92	36	5	1	0	0	134					
		68.66%	26.87%	3.73%	0.75%	0.00%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	100	29	3	2	0	0	134					
		74.63%	21.64%	2.24%	1.49%	0.00%	0.00%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	94	30	7	1	0	2	134					
		70.15%	22.39%	5.22%	0.75%	0.00%	1.49%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	68	46	12	2	0	6	134	4.41	0.726	4.37	0.436
			50.75%	34.33%	8.96%	1.49%	0.00%	4.48%	100.00%				
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	80	39	8	1	0	6	134	4.55	0.650	4.53	0.297
			59.70%	29.10%	5.97%	0.75%	0.00%	4.48%	100.00%				



X. 学芸員資格取得に関する委員会

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.275(**)	1										
Q3	0.06	.522(**)	1									
Q4	0.042	.426(**)	.772(**)	1								
Q5	0.051	.356(**)	.580(**)	.609(**)	1							
Q6	-0.02	.401(**)	.592(**)	.648(**)	.605(**)	1						
Q7	0.022	.436(**)	.697(**)	.678(**)	.661(**)	.709(**)	1					
Q8	0.035	.396(**)	.627(**)	.677(**)	.650(**)	.679(**)	.760(**)	1				
Q9	.114(**)	.514(**)	.610(**)	.524(**)	.578(**)	.568(**)	.654(**)	.599(**)	1			
Q10	0.073	.475(**)	.669(**)	.635(**)	.678(**)	.672(**)	.796(**)	.721(**)	.768(**)	1		
Q11	0.014	.425(**)	.602(**)	.620(**)	.556(**)	.617(**)	.662(**)	.650(**)	.594(**)	.689(**)	1	
Q12	0.043	.411(**)	.628(**)	.613(**)	.579(**)	.562(**)	.654(**)	.665(**)	.593(**)	.679(**)	.776(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.475(**)	1										
Q3	.297(**)	.546(**)	1									
Q4	.237(**)	.396(**)	.784(**)	1								
Q5	.193(*)	.482(**)	.681(**)	.632(**)	1							
Q6	-0.005	.260(**)	.468(**)	.523(**)	.535(**)	1						
Q7	0.11	.364(**)	.559(**)	.594(**)	.611(**)	.652(**)	1					
Q8	0.065	.360(**)	.504(**)	.618(**)	.545(**)	.610(**)	.763(**)	1				
Q9	0.141	.509(**)	.583(**)	.496(**)	.587(**)	.430(**)	.572(**)	.492(**)	1			
Q10	0.154	.509(**)	.695(**)	.656(**)	.712(**)	.590(**)	.806(**)	.742(**)	.765(**)	1		
Q13	0.154	.339(**)	.453(**)	.439(**)	.550(**)	.491(**)	.496(**)	.544(**)	.349(**)	.600(**)	1	
Q14	0.1	.390(**)	.463(**)	.499(**)	.521(**)	.441(**)	.573(**)	.599(**)	.442(**)	.640(**)	.660(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

学芸院大学 平成21(2009)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.53	0.783	4.49	0.237	4.41	0.949	4.40	0.346	4.55	0.829	4.53	0.220	4.59	0.736	4.60	0.204
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.62	0.982	3.71	0.427	3.43	0.950	3.55	0.305	3.33	0.940	3.49	0.417	3.51	1.005	3.70	0.588
	3	この授業のレベルは適切である	4.12	0.817	4.18	0.322	3.89	0.854	4.04	0.310	4.59	0.915	4.54	0.345	4.64	0.857	4.53	0.562
	4	この授業を進める速さは適切である	4.20	0.815	4.26	0.279	3.95	0.862	4.11	0.303	4.63	0.876	4.70	0.414	4.41	1.070	4.53	0.359
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.44	0.752	4.52	0.315	4.24	0.818	4.43	0.319	4.11	0.870	4.19	0.325	4.19	0.905	4.41	0.473
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.19	0.844	4.28	0.298	3.94	0.857	4.11	0.339	3.92	0.900	4.02	0.287	4.04	0.839	4.23	0.356
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.20	0.887	4.31	0.358	4.05	0.883	4.20	0.303	3.95	0.948	3.98	0.403	4.01	0.924	4.15	0.392
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.32	0.807	4.39	0.292	4.17	0.807	4.32	0.300	4.04	0.892	4.10	0.360	4.04	0.927	4.23	0.408
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.21	0.863	4.32	0.321	4.14	0.851	4.33	0.284	4.04	0.875	4.17	0.271	3.99	0.968	4.20	0.492
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.22	0.849	4.32	0.370	4.03	0.850	4.21	0.318	4.02	0.864	4.08	0.295	4.05	0.922	4.27	0.453
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.12	0.951	4.23	0.372	3.92	0.930	4.06	0.302	3.88	0.979	3.97	0.359	3.83	0.990	3.95	0.446
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.20	0.874	4.28	0.348	3.93	0.908	4.14	0.362	3.97	0.921	4.10	0.353	3.97	0.887	4.14	0.424

部門名 学芸員
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2009年度				2008年度				2007年度				2006年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差												
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.60	0.705	4.60	0.283	4.46	0.693	4.46	0.184	4.65	0.618	4.63	0.264	4.64	0.626	4.65	0.135
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.13	0.780	4.11	0.317	3.94	0.833	3.95	0.362	3.92	0.863	3.92	0.418	4.10	0.766	4.08	0.323
	3	この授業のレベルは適切である	4.51	0.657	4.51	0.205	4.50	0.685	4.51	0.320	4.81	0.705	4.81	0.218	4.90	0.428	4.90	0.137
	4	この授業を進める速さは適切である	4.53	0.634	4.52	0.215	4.50	0.744	4.51	0.307	4.87	0.570	4.86	0.126	4.79	0.611	4.80	0.229
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.67	0.531	4.66	0.208	4.73	0.561	4.72	0.189	4.40	0.713	4.39	0.387	4.40	0.718	4.40	0.323
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.52	0.634	4.50	0.213	4.63	0.592	4.64	0.178	4.41	0.766	4.41	0.366	4.48	0.678	4.48	0.206
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.67	0.545	4.66	0.212	4.69	0.551	4.69	0.226	4.45	0.745	4.46	0.445	4.48	0.758	4.49	0.312
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.63	0.595	4.62	0.220	4.73	0.586	4.73	0.205	4.49	0.720	4.49	0.384	4.52	0.787	4.54	0.347
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.69	0.591	4.69	0.244	4.68	0.591	4.68	0.242	4.56	0.663	4.58	0.261	4.48	0.777	4.48	0.328
	10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.64	0.619	4.63	0.250	4.66	0.599	4.66	0.284	4.48	0.665	4.48	0.355	4.51	0.741	4.50	0.341
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.41	0.726	4.37	0.436	4.34	0.812	4.35	0.531	4.04	0.824	4.02	0.271	4.15	0.758	4.17	0.299
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.55	0.650	4.53	0.297	4.57	0.622	4.57	0.339	4.39	0.707	4.40	0.341	4.41	0.711	4.43	0.237

第3章

授業への取り組み例

I. 法学部

- 講義科目の授業改善を目的として、2010年度の第1学期に講義形態の授業を対象とする教員相互の授業参観を実施することとした。具体的には、5月、6月中に、少なくとも1回、可能であれば、複数回、法学部の講義を参観し、「その授業に関してよいと思ったところ」について所定の書式を用いて報告書を作成し、学部長室において取りまとめを行うこととした。

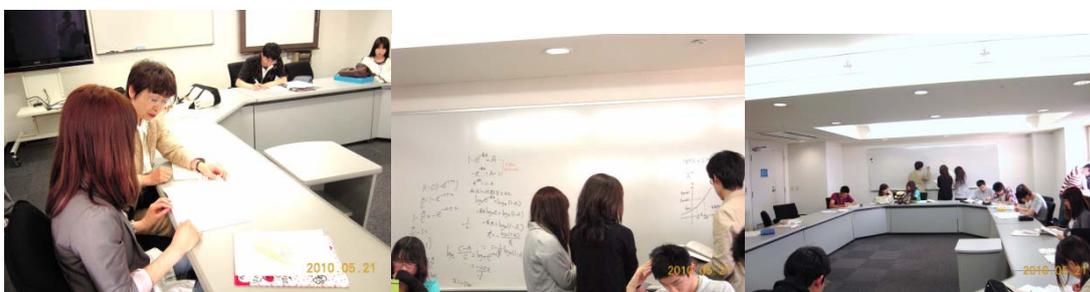
II. 経済学部

- 授業の映像化～授業科目「基礎ミクロ経済学」

授業を全て映像化し、それを図書館で閲覧できるようにしている。欠席した学生が授業に事後的に参加できるとともに、出席した学生も授業内容を確認したり復習したりすることが可能になる。ただし、映像化のためにかける担当教員の負担は大きく、組織的な支援体制の整備が必要である等の課題も多い。

- 授業理解の支援～授業科目「経営数学1, 2」

経営学科には、数学が苦手なために数学関連科目を履修しない学生がいるので、1年生の多くが履修する数学関連の最重要基礎科目である経営数学の履修者を増やし、学生の経営数学のスキルを向上させるために2009年度からヘルプデスクを開設した。ヘルプデスクは週1回、1コマ、教員とともにSA、TAが履修学生の質問にマンツーマンで答えるもので、参加者の評価は高く確実に効果をあげている。教員の時間がとられること、TAおよびSAのアルバイト料等のコストがかかることともに、数学を教えられるSAおよびTAの人材を経営学科の中だけで確保することが難しいことが課題である。現在は、数学科の学生を活用しているが、今後は、人材不足を補うために、SA募集の対象を理学部全体に広げていきたいと考えている。



Ⅲ. 文学部

- 演習形式の授業において、参加者が多すぎることに係る学生からの不満があったので、クラスを二つに分割することで改善を図り、学生からも評価を得た。
- 講義科目において板書が少なめであるという意見があったが、文献からの引用が必要とされるために板書ではなく配付資料上の情報量を増やし、あわせて書誌情報を追加することで改善を行った。(以上、哲学科)

(1) 学生の学修達成度の検証と授業への反映

本学科では4年次に作成する卒業論文の完成を目標にカリキュラムと指導を構成している。最終的な達成物としての卒業論文を主査・副査・三査の目を通して厳格に点検したうえで、口頭試問における質疑応答を全教員が陪席して確認する。教員間で指導過程や方針に関する疑義を質したうえで最終的な評価を下す形を取っており、中間段階における演習や講義における当該学生の取り組みについて、他の教員からの所見も反映する原則である。卒業論文を通じて学生の学修達成度を吟味したうえで、指導態勢の手直しについて論議することを基本に据えている。

近年の傾向として、学修に対する自発的な取り組み、研究要領の修得に対する自発的な取り組み、という点に関する学生の意識の低下が傾向的に認められるため、講義・演習において右の点に対する取り組みを強める必要があることが確認されている。(史学科)

(2) 授業および指導の改善についての現在の主たる関心

現在、特に注意を払っている点は、4年次に卒業論文の提出に辿り着けない学生が増加し、文学部7学科の中でも4年次原級残留者の割合が特に高い点にある。

4年次原級残留者の内訳を検討したところ、1～3年次における単位取得状況に問題があり、学修姿勢の維持に困難を来している者と、卒業論文の作成過程で壁にぶつかって完成に辿り着けない者とが、ほぼ同程度の割合になることが看取された。

前者については、学生集団の学年毎の傾向に差異があり、特に語学などの基礎的な必修科目の修得で問題を生じる者の割合が高い学年があることが確認された。従来は演習などの場で各指導教員が履修状況に問題を抱える学生に対して個別に注意を行うことは少なく、個々の学生に対する従来型の指導では深さが足りないと判断された。

以前から、履修状況に問題のある学生について教務委員・助教が個別に注意を払って指導する態勢をとってきた。近年は、学科会議にて各指導教員に担当学生のうち履修状況に問題のある者を周知し、意識的に学修状況の把握に努める態勢を強めている。

4年次になって卒業論文の作成に困難を抱える者においては、複数年次にわたって原級残留を続ける者が少なくないため、年度当初から主任・指導教員が積極的に学生、場合によっては家庭とも連絡を取って、履修上の困難を解決する指導を行う態勢をと

第3章 授業への取り組み例

りつつある。また、4年次在学者全般について、題目届けや中間報告会・最終報告会などの節目毎に、出欠状況などを通じて学習状況を点検し、学科会議にて個々の学生の状況についての所見を意見交換し、対策に努めつつある。(史学科)

(3) 授業のバリエーションの確保および先端的研究分野へのアプローチの提供

伝統的な史学部門のなかでも、新しい研究分野に関わる授業を提供するよう努力している。イスラム、東南アジア、出土文字史料、考古学的な知見を紹介するため、専門家を非常勤講師として招聘したり、個々の担当教員の授業展開でも意識的に右の点に注意を払っている。史学そのものではないが、隣接科学であるアーカイブズ学については、幸いに本学大学院独立専攻として専門家を擁しているため、この分野に導入するための授業を設定している。これを契機として、アーカイブズ学専攻に進学する学生も少なからずあらわれている。

(4) アンケート結果の授業への反映について

授業のスタイルや内容については教員それぞれに持ち味があるため、各自が学生の反応を踏まえて授業に反映することを基本としている。授業中の私語などは非常に少ないのだが、新入生など学修スタイルが未確立の段階では、学生達が要領の修得について介入的に指導してもらうことを期待している傾向が認められた。文献やテーマの探索を指導されても、実際に該当する文献に辿り着けなかったり、適当なテーマを見いだすことができなかったりするケースが増加しつつあるという傾向がある。

T. A. の運用場面を拡大して、研修旅行の事前調査や、基礎演習における調査方法の研修を行うなど、探索の手法を体得させる指導手法を試行して解決に努めている。

(以上、史学科)

● 日本古典文学の授業では、授業評価アンケートから、学生の関心の低さと退屈ぶりがうかがえた。これは、学生の古文読解力の不足（高校までの教育に問題がある）に一つの原因があると思われるが、なんとか学生の関心を高めるために、以下のような対策をとった。

- 1 古文の実例を示す時には、必ず現代語訳を付すこと。そのために、2年かかって教材をすべて作りかえた。
- 2 古代のことを説明するのに、それに近い現代の例を持ち出し、「古代や中世では…」と話を進めるようにした。
- 3 授業の進行にあたっては、学生に問いかけを繰り返して、話題に意識を集中させるようにした。

● 日本近代文学の授業では、学生のアンケートで、特に1年生向けの授業内容の難しさが指摘された。しかし授業の難易度を急速に落とすことは、教育のレベル低下を招く恐れがある。そこで、具体例を多くし、質問の時間を充分に取るように心掛け、また重要な

ポイントについては授業で話した内容をプリントにして配布して、復習をしてもらうように求めるなどの対策を講じた。特に具体例の呈示に関しては、映像資料を見せて学生の理解を容易にするといった方法も試みている。

- 日本語教育の授業では、学生の授業アンケートで特に指摘された不満、改善要求はなかった。個別の授業での学生からの要望事項を踏まえて、日本語教育実践を目的とした授業では、昨年度、事情により中止となった協定校からの日本語研修の実現にむけて、折衝をかさね、7月に受け入れが決定した。協定校の希望に添うべく、伝統文化活動やホームステイプログラムの導入など、今年はいくつかの新機軸を導入し、学部生、院生が企画、運営を担当し、実践を重視した教育に取り組んでいる。また、外部資金の導入をはかり、海外日本語教育インターンシップを推進している。派遣先は、2009年度はマレーシア・シンガポール、タイ、オーストラリア、2010年度は台湾、オーストラリアを予定している。教育対象も、高等教育から中等、初等教育、民間日本語学校まで射程にしている。
(以上、日本語日本文学科)

- 講義科目に関して、授業のスピードが早く、内容理解が難しい、或いはノートが取りづらいとの指摘があった。これは担当者が早口であることが大きな要因と思われるが、同時に授業内でより多くの内容を伝えようとするあまり、急ぎ足で解説を行ってしまった部分もあったと感じている。今後、講義形式の授業については、毎回の授業で扱う範囲をもう少し絞りこむ一方で、ひとつのテーマに関する解説をより丁寧に行うことで学生の内容理解を助けたい。また、教科書や参考書についても、これまで以上に積極的に使用し、学生が講義内容を補えるようにしたい。

- 昨年度のLLの授業では、CNNニュースを教材に、Shadowingという方法を用いたリスニング力の向上を図る訓練を行った。通訳養成にも取り入れられた実効性の高い方法であり、授業中の反応を見る限り、多くの学生が意欲的に取り組み、英語の音声に対する瞬発力と実践力を身につけることができたように思う。ただ、アンケートによれば、約20%の学生がこの授業目標を適正と考えていないとの結果が出ている。この点については、恐らく授業外の自主練習の目標時間（推奨50～100時間、最低35時間）が大きく関係していると考えている。今後は習熟度に応じた段階的な目標時間の設定の導入や、助言・指導の回数を増やすなど、より多くの学生が高い目標に挑戦し達成できるように、きめ細やかな指導・授業運営を心掛けたい。

- 現代研究コース演習では、昨年度のFDアンケートの結果を受けて、本年度は出席率の向上と出席者の学習意欲を高めるための以下の工夫を行っている。まず出席率については、就職活動で忙しい4年生にも出席確認を徹底する一方で、受講者全員への課題の割

第3章 授業への取り組み例

り当ての頻度を高め、またそれらが成績評価へ反映されることを明示し、学生自身が危機感をもって授業へと参加する形を取った。一方、学習意欲に関しては、文献講読を中心としながらも、より学生が主体的に参加できるように、グループワークを積極的に導入し、授業内で扱ったテーマについて、グループごとのリサーチと発表を義務付けることにしている。昨年度好評だった発表やレポートの添削指導は本年度も継続して行う予定である。
(以上、英語英米文化学科)

(1) 基礎教育の充実

本学科では、3年次から各自の関心に応じて3つのコース（現代地域事情、文学・文化、言語情報）のいずれかを選択するカリキュラムとなっているが、コース選択の準備段階として入門ゼミナールという必修科目を設置している。この授業では各コースの基本的知識を学ぶとともに、文献検索の仕方、発表の仕方、レポート作成の基本を習得することを目指しているが、学生に対するきめ細かい指導を行うために、授業時間外にTAによるグループ指導および個別指導を行っている。このTAによる指導によって、発表やレポートの質的向上をはかることができている。

(2) 大学図書館ガイダンスの活用

毎年5月に1年生、および3年生を対象として大学図書館に本学科学生だけを対象としたガイダンスを行ってもらい、該当学生には出席を義務づけている。特に3年生にはより専門的分野の文献およびドイツ語文献の検索の基本を学ばせることによって、4年生で選択する卒業論文または卒業研究に向けた準備を早くから始めることができるようにしている。

(3) リアクション・ペーパーの活用

受講者数の多い講義科目などでは、毎回の授業でリアクション・ペーパーを配布し、授業内容についての質問や疑問などを学生に書かせている。各教員はリアクション・ペーパーに書かれた質問事項について、次回の授業で取り上げて説明するなどの形で、授業に反映させている。リアクション・ペーパーによって学生の理解度をその都度確認しながら授業を進めることが可能となり、また授業に対する学生の要望なども知ることができるために、全学一斉で行われる「学生による授業評価」よりきめ細かい対応が可能となっている。
(以上、ドイツ語圏文化学科)

- 「基礎演習II」 この授業ではフランス語の文法の基礎を復習したあと中級文法を学び、それと同時にフランス語の読解力を向上させることを目的としており、フランス語圏文化学科の科目のなかでも重要な位置を占めている。しかし、ここ数年、授業内容を十分理解できていない学生が目立つようになってきた。そこで、学科教員と外国語教育研究

センターの教員が協力して、学習院大学のレベルに合わせた教科書「フランス語文法」「フランス語解釈」を作成し、それを2010年度より使用している。

- 「フランス語実習」 フランス語文法にたいする理解力もさることながら、学生のフランス語を学ぶ意欲、動機も弱まりつつあることが、授業評価などを通して明らかになっている。学生自身が自分のフランス語レベルを知り、さらなる向上を目指せるように、2010年度より、「フランス語実習」を履修する学生にフランス版のTOIC である TCF（フランス語学力テスト）の受験料負担を行ったうえで受験を義務化し、そのテスト内容と連動する実践的な授業を行っている。（以上、フランス語圏文化学科）
- 「心理学演習Ⅱ」において英語の心理学論文を読んでいるが、アンケートで学生の意見が出にくいという結果が出た。そこで、それまで行っていた授業中における全訳形式を改めて、小グループ形式によるディスカッション形式とした。全訳は担当者個人個人が資料として前もって印刷して担当小グループに配布し、そこで教員が配布したポイントに沿ってディスカッションを行うこととした。
- 「性格心理学」の授業では、学生の興味を高めるために積極的に心理学検査を教材として購入して実施して自己理解につながる考察を推奨している。今年度は学生自身の自主的学習意欲が高まるように、推薦する心理学文献を積極的に紹介するように心がけようと計画中。
- 「臨床心理学」の講義に関して、「授業評価アンケート報告書」にて「わかりやすい板書」を要望する意見がみられた。講義担当者（筆者）は、必ずしも教科書で記載されているような板書をするのが大学の教育上良いとは考えていないので、板書をその方向で変えていくことは試みなかったが、文字を大きくわかりやすく書くことをこころがけ、また、受講生の思考を刺激するための素材や文章などをPCから投影したり、レジュメを作成して配布することなどを試みている。
- 教科書を使わず、独自に資料を作成し、プロジェクターで呈示するとともに受講者全員に配布している。資料は毎年更新し、新しい情報を付加しているが、授業においては資料の解説に終始するのではなく、板書によって発達心理学の構造的理解を促すよう努めている。（以上、心理学科）

IV. 理学部

- 電磁気学1、2の授業において、講義の際に使用したスライドをHP上にアップし、予習復習ができるようにしている。また、やや複雑な計算がある個所は、丁寧な計算過程を示した資料や練習問題などもHP上にアップして、理解を深めるように工夫している。
- 物理実験3について、実験の参考テキストをHP上にアップして実験内容の理解を深めるよう工夫している。
- 原子物理学概論（物理、2年生） 授業への出席の動機付けのため、講義の中で学生への質問、小問題を課すなどの働きかけをしている。
- 一般物理学（物理、1年生） 新棟（南7号館）の教室に移ったので、その設備の有効活用を図っている。ただし、例えば黒板が狭くなるなど、若干使い勝手が悪くなった点もあるので、その使いこなしを検討しつつ、改善すべき点をまとめてより使い易い教室となるよう考えている。
- 本年度より担当した構造化学の講義において、前任者の用いていた教科書に準拠して講義を進めているが、省略されている背景や、図表を補足して理解を深める工夫を行っている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。
- 前年度は「地球化学」を担当していましたが、環境問題に対する重要性を鑑み、環境を重視し「環境地球化学」という科目名にしました。それに合わせて、配付資料やスライド（PowerPoint）の図も充実させました。
- 分かりにくいという声が聞こえた科目は練習問題のプリントを配ったりして、理解しやすいように工夫しつつあります。
- 2年生の化学科の学生実験は、新しい校舎に移り実験室が広がったので、デモンストラーションなども分かり易くし、TAもより効果的に活用していく予定です。また、新しい実験テーマも加え、より充実したものにしていく予定です。
- 「位相空間」の授業において、これまでいくつかの教科書を使ってきたが、詳しすぎたり、あるいは簡略に流れたり、ちょうどよいものになかなかめぐり合わない。そこで、平成22年度の1学期より、毎時間、授業の内容をレジュメにして、簡単な練習問題もつ

けたプリントとして配布している。

- 線形代数の授業において、冒頭に簡単な問題を出して授業の終わりに解答をあつめ、次回には○か×で採点して返している。
- やさしい問題も手を動かして解くことが大切なので、毎回問題を出して解かせることに意義がある。もっと、大切なことは、ごく簡単な問題とっていたのですが1割くらいしか解けなくて、学生の講義理解が不十分なことがわかることがある。そのことがあると次回の講義で補える。問題は、G-Port に載せて、欠席の学生への配慮を行っている。
- 演習において、講義で学習する重要な定義・定理を書き出し、それらの関係をまとめたプリントを作成し配布している。
- 演習では基本的に講義で指定されている教科書に沿った演習問題を作成し学生に解いてもらっているが、学生が熱心によりペースで問題を解いてくれた場合には、やや発展的な内容や講義では触れないかもしれないが、重要または意義のある内容についての問題を作成し、配布している。
- 計算機 (I) の授業については、次のような工夫を行っています。

＜15分間の小テストを頻繁に行う＞

授業の2、3回に1度の割合で、15分間の小テストを行うようにしました。小テストの内容は、前回の復習が中心で、次の授業で点数をつけて返しています。この結果、出席率が向上し、漫然と出席していただだけの学生が少しは考えるようになり、理解が深まった感じがします。来週中間テストを行います。どの程度効果があったかを確認いたします。
- 今年の担当は微分積分 (III) (1学期)、複素関数入門 (2学期) (いずれも数学科2年必修) で、履修者に視覚障害者がいる関係で、昨年までと異なり、(点訳のある)教科書を指定し、基本的にそれに添った形で講義を進めています。
- 従来、レジュメとして(証明などは省いて)主要定理をまとめたものをプリントにして講義ごとに配布していたものを、かなり改訂して、教科書では不十分な証明の細部もプリントにできるだけ書き込んだ形にしました。
- 授業が難しいとの声があったので、基本的な事柄をより時間をかけて、分かりやすく説明するように心掛けている。また、学生の自習・復習を促すために、小テスト数回行う

予定である。

- 動物科学の授業において毎回パワーポイント資料を配布しているが、前年の各授業において感じ取られた問題点を当日中に資料に書き留め、本年の各授業に先立って、学生がより良く理解を深められるよう、資料を改訂している。
- 一昨年度までは必修科目を担当していなかったもので、試験としては期末試験のみ行っていた。昨年度から必修科目を担当するに当たり、中間試験を実施した。今年度からは、中間試験ならびに期末試験の前には、試験範囲の内容についてまとめを行い、特に重要なポイントについて周知徹底を図った。これらの作業によって、学生の習熟度の向上を試みた。

V. 計算機センター

- 従来より、コンピュータの基本操作やオフィスツール、プログラミング言語等、多岐にわたる入門用の冊子を作成し、授業の理解が十分でない学生が予習・復習できる環境を提供している。
- 情報倫理について学ぶことができる **e-Learning** 教材を自宅からも参照できるようにして、学生の利便性をはかった。
- 同じ科目を担当する教員と密に情報交換をして、学生が難しいと感じるコンピュータの操作や概念などについて把握するように心掛けている。また、最新の技術動向やその社会的影響についても情報収集し、コンピュータリテラシーや情報倫理の教育に役立てている。
- 学生が、授業期間終了後、より進んだ情報処理技術を内容を学ぶことができるように夏期講習会を夏休みに開催している。
- 初等情報処理の授業では、実際の操作に基づくコンピュータの利用技術の修得に加え、関連する情報処理技術についても概説し、その仕組みを理解できるようにしている。また、最新の話題、特にインターネット社会におけるトラブル事例などを紹介し、総合的な情報リテラシーの向上が図れるように努めている。

VI. 外国語教育研究センター

- コミュニケーションの授業では、授業時間の一部を使い、写真やビデオを見せながら現地の文化や社会等に関する説明を行い、学生たちの興味関心を喚起するよう努めている。
- リーディングの授業で、書画カメラでテキストを映し出し、直接原稿に線や矢印等を書き込んで、文の構造や、他の文との関係などを示すことで、学生の読解を助けている。
- 練習問題を解かせる際に、学生たちの机の間を頻繁に行き来し、理解の不十分な学生を見つけて、分からない点を再度説明したり、より噛み砕いた説明で理解させるように努めている。
- コミュニケーションの授業で会話や作文の練習をする際、学生の興味やモチベーションを高めるため、インターネット上の当該言語のサイトを教材に使い、その言語や社会等に対する親近感を持たせるようにしている。
- リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテキスト等を用いて、アクティブな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めている。
- 文法の授業で、学習内容が定着しやすくなるように、単元毎に試験を行っている。

VII. スポーツ・健康科学センター

- 実技授業全般において、前年の受講者数を参考に、開講時間、開講種目、各時限毎の開講コマ数などをできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。
- 実技（スポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱ（必修）、Ⅲa（選択）、Ⅲb（野外教育））においては、運動学習理論に基づき指導法に変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。トレーニング方法・各種ドリルについて、最新のものを取り入れ、ルールの改正・解釈の仕方等の情報を提供し、学生の意欲を高めるようにしている。野外教育においては、特にサイクリングとトレッキングにおいて受講生の興味と関心を惹起させるよう、また反復履修者の要望を反映し、実習地を毎年変えている。
- スポーツ科学演習においては、新説などを取り入れ、講義用 PPT の改定を逐次おこなっている。また、実地に行う作業を伴った教材（質問紙など）を取り入れ、より研究現

場に近い情報を提供している。

IX. 教職課程

- 「教育基礎」の授業テキストとして「教育基礎資料集」を教職課程独自に作成し、受講生全員に配布している。教育に関する古典をはじめとして今日的な動向について資料収集し、基礎的かつ現代的に「教育とは何か」を考えることに資している。とりわけ現代的な資料に関してはこの一年間に発行された新聞や雑誌等からデータを収集しており、教職を目指す学生にとって新鮮な情報に接することができ、知識を得るだけでなく接した情報について自他者発信型の授業を進めることができている。

X. 学芸員資格取得に関する委員会

- 毎年学年初めに行なわれる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸部門は、とりわけ4年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いたうえで、実習環境の整備には常に心がけている。

第4章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

第4章 資料編

Q1 私はこの授業によく出席している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計七	講義	2,913 80.03%	479 13.16%	202 5.55%	34 0.93%	12 0.33%	3,640 100.00%	4.72	0.640	4.65	0.259
外七	語学	6,210 67.49%	1,939 21.07%	871 9.47%	163 1.77%	18 0.20%	9,201 100.00%	4.54	0.753	4.52	0.256
スポーツ	演習	1,114 63.19%	372 21.10%	217 12.31%	47 2.67%	13 0.74%	1,763 100.00%	4.43	0.861	4.44	0.298
共通科目	講義	2,645 64.54%	755 18.42%	422 10.30%	154 3.76%	122 2.98%	4,098 100.00%	4.38	1.012	4.38	0.409
	演習	17 62.96%	7 25.93%	2 7.41%	1 3.70%	0 0.00%	27 100.00%	4.48	0.802	4.48	-
	計	2,662 64.53%	762 18.47%	424 10.28%	155 3.76%	122 2.96%	4,125 100.00%	4.38	1.011	4.38	0.406
法学部	講義	6,578 70.99%	1,464 15.80%	713 7.69%	286 3.09%	225 2.43%	9,266 100.00%	4.50	0.938	4.47	0.270
	演習	1,127 78.26%	214 14.86%	86 5.97%	10 0.69%	3 0.21%	1,440 100.00%	4.70	0.629	4.69	0.269
	計	7,705 71.97%	1,678 15.67%	799 7.46%	296 2.76%	228 2.13%	10,706 100.00%	4.53	0.906	4.56	0.290
経済学部	講義	4,565 66.17%	1,275 18.48%	664 9.62%	213 3.09%	182 2.64%	6,899 100.00%	4.42	0.969	4.36	0.368
	演習	1,318 85.36%	153 9.91%	58 3.76%	10 0.65%	5 0.32%	1,544 100.00%	4.79	0.563	4.75	0.319
	計	5,883 69.68%	1,428 16.91%	722 8.55%	223 2.64%	187 2.21%	8,443 100.00%	4.49	0.919	4.54	0.397
文学部	講義	3,950 59.67%	1,540 23.26%	846 12.78%	180 2.72%	104 1.57%	6,620 100.00%	4.37	0.916	4.38	0.345
	演習	4,024 69.34%	1,231 21.21%	470 8.10%	73 1.26%	5 0.09%	5,803 100.00%	4.58	0.701	4.58	0.301
	計	7,974 64.19%	2,771 22.31%	1,316 10.59%	253 2.04%	109 0.88%	12,423 100.00%	4.47	0.830	4.51	0.330
理学部	講義	2,753 76.77%	521 14.53%	225 6.27%	43 1.20%	44 1.23%	3,586 100.00%	4.64	0.758	4.60	0.252
	演習	1,124 82.95%	141 10.41%	56 4.13%	19 1.40%	15 1.11%	1,355 100.00%	4.73	0.706	4.66	0.313
	計	3,877 78.47%	662 13.40%	281 5.69%	62 1.25%	59 1.19%	4,941 100.00%	4.67	0.745	4.61	0.268
教職課程	講義	1,093 70.70%	314 20.31%	114 7.37%	17 1.10%	8 0.52%	1,546 100.00%	4.60	0.719	4.58	0.162
	演習	1,066 85.55%	134 10.75%	38 3.05%	5 0.40%	3 0.24%	1,246 100.00%	4.81	0.518	4.73	0.236
	計	2,159 77.33%	448 16.05%	152 5.44%	22 0.79%	11 0.39%	2,792 100.00%	4.69	0.646	4.67	0.220
学芸員	講義	488 67.68%	153 21.22%	59 8.18%	18 2.50%	3 0.42%	721 100.00%	4.53	0.783	4.49	0.237
	演習	96 71.64%	25 18.66%	11 8.21%	2 1.49%	0 0.00%	134 100.00%	4.60	0.705	4.60	0.283
	計	584 68.30%	178 20.82%	70 8.19%	20 2.34%	3 0.35%	855 100.00%	4.54	0.771	4.54	0.262
合計	41,064 69.76%	10,710 18.20%	5,052 8.58%	1,274 2.16%	762 1.29%	58,862 100.00%	4.53	0.840	4.54	0.313	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	24,985 68.69%	6,501 17.87%	3,245 8.92%	945 2.60%	700 1.92%	36,376 100.00%	4.49	0.903	4.47	0.330
演習	9,886 74.26%	2,277 17.10%	938 7.05%	167 1.25%	44 0.33%	13,312 100.00%	4.64	0.698	4.61	0.311
語学	6,210 67.49%	1,939 21.07%	871 9.47%	163 1.77%	18 0.20%	9,201 100.00%	4.54	0.753	4.52	0.256
合計	41,081 69.76%	10,717 18.20%	5,054 8.58%	1,275 2.17%	762 1.29%	58,889 100.00%	4.53	0.840	4.54	0.313

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下			
学部1年	17,858 75.30%	3,641 15.35%	1,591 6.71%	417 1.76%	210 0.89%	23,717 100.00%	4.62	0.762
学部2年	11,123 68.58%	3,011 18.56%	1,534 9.46%	339 2.09%	212 1.31%	16,219 100.00%	4.51	0.849
学部3年	6,764 65.11%	2,200 21.18%	1,015 9.77%	250 2.41%	160 1.54%	10,389 100.00%	4.46	0.879
学部4年	2,299 53.29%	1,100 25.50%	603 13.98%	189 4.38%	123 2.85%	4,314 100.00%	4.22	1.028

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下				平均	標準偏差
25名以下	6,868 72.59%	1,707 18.04%	727 7.68%	129 1.36%	31 0.33%	9,462 100.00%	4.61	0.716	4.59	0.330
26~50名	10,275 69.54%	2,951 19.97%	1,264 8.55%	245 1.66%	41 0.28%	14,776 100.00%	4.57	0.741	4.54	0.263
51~100名	8,862 72.69%	2,063 16.92%	952 7.81%	202 1.66%	113 0.93%	12,192 100.00%	4.59	0.780	4.53	0.311
101~200名	5,444 63.52%	1,788 20.86%	943 11.00%	255 2.98%	140 1.63%	8,570 100.00%	4.42	0.915	4.37	0.289
201名以上	9,632 69.35%	2,208 15.90%	1,168 8.41%	444 3.20%	437 3.15%	13,889 100.00%	4.45	0.993	4.40	0.359
合計	41,081 69.76%	10,717 18.20%	5,054 8.58%	1,275 2.17%	762 1.29%	58,889 100.00%	4.53	0.840	4.54	0.313

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	894	1,315	1,065	246	115	3,635	3.72	1.009	3.73	0.254
		24.59%	36.18%	29.30%	6.77%	3.16%	100.00%				
外セ	語学	2,822	3,721	2,063	459	136	9,201	3.94	0.927	3.95	0.368
		30.67%	40.44%	22.42%	4.99%	1.48%	100.00%				
スポ健	演習	1,049	484	194	26	13	1,766	4.43	0.801	4.45	0.346
		59.40%	27.41%	10.99%	1.47%	0.74%	100.00%				
共通科目	講義	756	1,241	1,465	463	171	4,096	3.48	1.047	3.55	0.418
		18.46%	30.30%	35.77%	11.30%	4.17%	100.00%				
		6	2	12	3	4	27	3.11	1.311	3.11	-
法学部	講義	1,822	3,001	3,200	869	364	9,256	3.55	1.032	3.57	0.393
		19.68%	32.42%	34.57%	9.39%	3.93%	100.00%				
		566	518	287	60	8	1,439	4.09	0.895	4.18	0.390
経済学部	講義	1,386	2,207	2,290	689	317	6,889	3.53	1.062	3.60	0.468
		20.12%	32.04%	33.24%	10.00%	4.60%	100.00%				
		865	519	132	20	7	1,543	4.44	0.741	4.43	0.333
文学部	講義	1,134	2,234	2,416	658	173	6,615	3.53	0.974	3.61	0.355
		17.14%	33.77%	36.52%	9.95%	2.62%	100.00%				
		1,994	2,454	1,137	177	37	5,799	4.07	0.846	4.09	0.352
理学部	講義	648	1,154	1,291	336	154	3,583	3.50	1.028	3.52	0.334
		18.09%	32.21%	36.03%	9.38%	4.30%	100.00%				
		471	479	298	65	41	1,354	3.94	1.015	3.86	0.472
教職課程	講義	396	587	449	88	24	1,544	3.81	0.937	3.80	0.293
		25.65%	38.02%	29.08%	5.70%	1.55%	100.00%				
		585	474	157	22	8	1,246	4.29	0.801	4.26	0.302
学芸員	講義	145	255	231	74	14	719	3.62	0.982	3.71	0.427
		20.17%	35.47%	32.13%	10.29%	1.95%	100.00%				
		45	65	21	2	1	134	4.13	0.780	4.11	0.317
合計	講義	15,578	20,708	16,696	4,254	1,587	58,819	3.76	1.010	3.91	0.466
		26.48%	35.21%	28.39%	7.23%	2.69%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		7,181	11,994	12,407	3,423	1,332	36,337	3.56	1.025	3.61	0.383
		19.76%	33.01%	34.14%	9.42%	3.67%	100.00%				
演習		5,581	4,995	2,238	375	119	13,308	4.17	0.868	4.21	0.396
		41.94%	37.53%	16.82%	2.82%	0.89%	100.00%				
語学		2,822	3,721	2,063	459	136	9,201	3.94	0.927	3.95	0.368
		30.67%	40.44%	22.42%	4.99%	1.48%	100.00%				
合計		15,584	20,710	16,708	4,257	1,587	58,846	3.76	1.010	3.91	0.466
		26.48%	35.19%	28.39%	7.23%	2.70%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		5,854	8,379	6,937	1,844	690	23,704	3.71	1.015
		24.70%	35.35%	29.27%	7.78%	2.91%	100.00%		
学部2年		4,112	5,802	4,711	1,160	420	16,205	3.74	0.999
		25.37%	35.80%	29.07%	7.16%	2.59%	100.00%		
学部3年		2,815	3,586	2,999	719	260	10,379	3.77	1.005
		27.12%	34.55%	28.89%	6.93%	2.51%	100.00%		
学部4年		1,479	1,475	1,000	263	92	4,309	3.93	1.003
		34.32%	34.23%	23.21%	6.10%	2.14%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		3,873	3,673	1,548	292	73	9,459	4.16	0.860	4.16	0.410
		40.95%	38.83%	16.37%	3.09%	0.77%	100.00%				
26～50名		4,740	5,707	3,420	687	222	14,776	3.95	0.933	3.95	0.395
		32.08%	38.62%	23.15%	4.65%	1.50%	100.00%				
51～100名		2,762	4,243	3,869	934	372	12,180	3.66	1.007	3.63	0.360
		22.68%	34.84%	31.77%	7.67%	3.05%	100.00%				
101～200名		1,485	2,737	3,090	942	306	8,560	3.49	1.016	3.45	0.334
		17.35%	31.97%	36.10%	11.00%	3.57%	100.00%				
201名以上		2,724	4,350	4,781	1,402	614	13,871	3.52	1.054	3.46	0.357
		19.64%	31.36%	34.47%	10.11%	4.43%	100.00%				
合計		15,584	20,710	16,708	4,257	1,587	58,846	3.76	1.010	3.91	0.466
		26.48%	35.19%	28.39%	7.23%	2.70%	100.00%				

第4章 資料編

Q3 この授業のレベルについて

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	871	1,182	997	400	186	3,636	3.59	1.117	3.61	0.488
		23.95%	32.51%	27.42%	11.00%	5.12%	100.00%				
外セ	語学	3,215	3,625	1,711	490	154	9,195	4.01	0.949	4.01	0.442
		34.96%	39.42%	18.61%	5.33%	1.67%	100.00%				
スポ健	演習	1,050	492	174	35	12	1,763	4.44	0.803	4.46	0.318
		59.56%	27.91%	9.87%	1.99%	0.68%	100.00%				
共通科目	講義	1,321	1,647	887	180	61	4,096	3.97	0.921	3.95	0.400
		32.25%	40.21%	21.66%	4.39%	1.49%	100.00%				
		8	5	8	5	1	27	29.63%	18.52%		
法学部	講義	2,536	3,388	2,340	716	266	9,246	3.78	1.024	3.78	0.459
		27.43%	36.64%	25.31%	7.74%	2.88%	100.00%				
		538	531	274	77	17	1,437	37.44%	36.95%		
経済学部	講義	1,829	2,483	1,742	589	240	6,883	3.74	1.052	3.82	0.472
		26.57%	36.07%	25.31%	8.56%	3.49%	100.00%				
		796	529	180	32	6	1,543	51.59%	34.28%		
文学部	講義	1,862	2,742	1,565	362	83	6,614	3.90	0.916	3.90	0.342
		28.15%	41.46%	23.66%	5.47%	1.25%	100.00%				
		2,270	2,355	921	219	36	5,801	39.13%	40.60%		
理学部	講義	4,132	5,097	2,486	581	119	12,415	4.01	0.898	4.09	0.369
		33.28%	41.06%	20.02%	4.68%	0.96%	100.00%				
		656	1,102	1,124	456	245	3,583	18.31%	30.76%		
教職課程	講義	338	490	374	106	44	1,352	3.72	1.027	3.65	0.432
		25.00%	36.24%	27.66%	7.84%	3.25%	100.00%				
		994	1,592	1,498	562	289	4,935	20.14%	32.26%		
学芸員	講義	595	609	280	41	18	1,543	4.12	0.875	4.10	0.383
		38.56%	39.47%	18.15%	2.66%	1.17%	100.00%				
		657	413	126	31	19	1,246	52.73%	33.15%		
学部員	講義	1,252	1,022	406	72	37	2,789	4.21	0.879	4.20	0.393
		44.89%	36.64%	14.56%	2.58%	1.33%	100.00%				
		261	305	133	17	3	719	36.30%	42.42%		
合計	講義	80	44	9	1	0	134	4.51	0.657	4.51	0.205
		59.70%	32.84%	6.72%	0.75%	0.00%	100.00%				
		341	349	142	18	3	853	39.98%	40.91%		
合計	演習	18,875	21,937	12,837	3,752	1,390	58,791	3.90	0.999	4.00	0.485
		32.11%	37.31%	21.83%	6.38%	2.36%	100.00%				

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	9,931	13,458	9,068	2,761	1,102	36,320	3.78	1.026	3.79	0.482
演習	5,737	4,859	2,066	506	135	13,303	4.17	0.895	4.21	0.416
語学	3,215	3,625	1,711	490	154	9,195	4.01	0.949	4.01	0.442
合計	18,883	21,942	12,845	3,757	1,391	58,818	3.90	0.999	4.00	0.485

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	6,775	8,764	5,687	1,769	699	23,694	3.81	1.026
学部2年	4,884	6,386	3,651	946	329	16,196	3.90	0.966
学部3年	3,726	3,873	2,029	572	175	10,375	4.00	0.963
学部4年	1,980	1,445	666	166	53	4,310	4.19	0.918

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	4,005	3,551	1,418	380	97	9,451	4.16	0.895	4.17	0.439
26～50名	42,388	37,577	15,000	4,027	1,033	100,000%				
51～100名	5,440	5,622	2,663	779	262	14,766	4.03	0.958	4.04	0.460
101～200名	36,844	38,077	18,033	5,283	1,777	100,000%				
201名以上	3,210	4,369	3,139	1,016	446	12,180	3.73	1.054	3.72	0.475
合計	26,355	35,877	25,777	8,343	3,666	100,000%				
25名以下	2,304	3,295	2,157	602	201	8,559	3.81	0.988	3.76	0.440
26～50名	26,923	38,507	25,203	7,033	2,353	100,000%				
51～100名	3,924	5,105	3,468	980	385	13,862	3.81	1.015	3.76	0.431
101～200名	28,313	36,833	25,027	7,073	2,783	100,000%				
合計	18,883	21,942	12,845	3,757	1,391	58,818	3.90	0.999	4.00	0.485

Q4 この授業を進める速さについて

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	862	1,118	1,002	450	206	3,638	3.54	1.144	3.59	0.499
		23.69%	30.73%	27.54%	12.37%	5.66%	100.00%				
外セ	語学	3,496	3,519	1,585	455	146	9,201	4.06	0.943	4.07	0.456
		38.00%	38.25%	17.23%	4.95%	1.59%	100.00%				
スポ健	演習	1,145	458	141	18	2	1,764	4.55	0.695	4.56	0.286
		64.91%	25.96%	7.99%	1.02%	0.11%	100.00%				
共通科目	講義	1,447	1,695	755	155	44	4,096	4.06	0.884	4.03	0.361
		35.33%	41.38%	18.43%	3.78%	1.07%	100.00%				
		12	5	7	2	1	27	3.93	1.174		
法学部	講義	1,459	1,700	762	157	45	4,123	4.06	0.886	4.03	0.358
		35.39%	41.23%	18.48%	3.81%	1.09%	100.00%				
		2,704	3,358	2,142	766	284	9,254	3.80	1.045		
29.22%	36.29%	23.15%	8.28%	3.07%	100.00%						
636	515	227	49	12	1,439	4.19	0.880	4.25	0.367		
44.20%	35.79%	15.77%	3.41%	0.83%	100.00%						
3,340	3,873	2,369	815	296	10,693	3.86	1.033			3.99	0.469
31.24%	36.22%	22.15%	7.62%	2.77%	100.00%						
経済学部	講義	1,943	2,465	1,607	593	285	8,893	3.75	1.082		
		28.19%	35.76%	23.31%	8.60%	4.13%	100.00%				
		874	495	154	20	0	1,543	4.44	0.724	4.45	0.339
56.64%	32.08%	9.98%	1.30%	0.00%	100.00%						
2,517	2,960	1,761	613	285	8,436	3.88	1.060	4.14	0.519		
33.39%	35.09%	20.87%	7.27%	3.38%	100.00%						
文学部	講義	2,059	2,778	1,372	322	87	6,618			3.97	0.911
		31.11%	41.98%	20.73%	4.87%	1.31%	100.00%				
		2,449	2,320	803	187	41	5,800	4.20	0.845	4.23	0.373
42.22%	40.00%	13.84%	3.22%	0.71%	100.00%						
4,508	5,098	2,175	509	128	12,418	4.07	0.888	4.16	0.379		
36.30%	41.05%	17.51%	4.10%	1.03%	100.00%						
理学部	講義	711	1,128	1,096	423	226	3,584			3.47	1.123
		19.84%	31.47%	30.58%	11.80%	6.31%	100.00%				
		378	472	384	71	47	1,352	3.79	1.021	3.75	0.428
27.96%	34.91%	28.40%	5.25%	3.48%	100.00%						
1,089	1,600	1,480	494	273	4,936	3.55	1.105	3.59	0.504		
22.06%	32.41%	29.98%	10.01%	5.53%	100.00%						
教職課程	講義	621	593	255	49	23	1,541			4.13	0.902
		40.30%	38.48%	16.55%	3.18%	1.49%	100.00%				
		657	412	128	26	22	1,245	4.33	0.874	4.29	0.390
52.77%	33.09%	10.28%	2.09%	1.77%	100.00%						
1,278	1,005	383	75	45	2,786	4.22	0.895	4.22	0.431		
45.87%	36.07%	13.75%	2.69%	1.62%	100.00%						
学芸員	講義	296	298	103	20	3	720			4.20	0.815
		41.11%	41.39%	14.31%	2.78%	0.42%	100.00%				
		81	43	10	0	0	134	4.53	0.634	4.52	0.215
60.45%	32.09%	7.46%	0.00%	0.00%	100.00%						
377	341	113	20	3	854	4.25	0.798	4.40	0.276		
44.15%	39.93%	13.23%	2.34%	0.35%	100.00%						
20,359	21,667	11,764	3,604	1,428	58,822	3.95	1.004			4.07	0.490
34.61%	36.83%	20.00%	6.13%	2.43%	100.00%						

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		10,643	13,433	8,332	2,778	1,158	36,344	3.82	1.039	3.85	0.490
		29.28%	36.96%	22.93%	7.64%	3.19%	100.00%				
演習		6,232	4,720	1,854	373	125	13,304	4.24	0.863	4.30	0.399
		46.84%	35.48%	13.94%	2.80%	0.94%	100.00%				
語学		3,496	3,519	1,585	455	146	9,201	4.06	0.943	4.07	0.456
		38.00%	38.25%	17.23%	4.95%	1.59%	100.00%				
合計		20,371	21,672	11,771	3,606	1,429	58,849	3.95	1.004	4.07	0.490
		34.62%	36.83%	20.00%	6.13%	2.43%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		7,200	8,731	5,208	1,807	759	23,705	3.84	1.044
		30.37%	36.83%	21.97%	7.62%	3.20%	100.00%		
学部2年		5,348	6,288	3,385	858	326	16,205	3.95	0.964
		33.00%	38.80%	20.89%	5.29%	2.01%	100.00%		
学部3年		4,077	3,813	1,820	504	172	10,386	4.07	0.952
		39.25%	36.71%	17.52%	4.85%	1.66%	100.00%		
学部4年		2,130	1,410	564	167	41	4,312	4.26	0.894
		49.40%	32.70%	13.08%	3.87%	0.95%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		4,454	3,395	1,246	291	72	9,458	4.25	0.854	4.26	0.422
		47.09%	35.90%	13.17%	3.08%	0.76%	100.00%				
26～50名		5,857	5,516	2,469	682	250	14,774	4.09	0.945	4.09	0.465
		39.64%	37.34%	16.71%	4.62%	1.69%	100.00%				
51～100名		3,385	4,303	2,983	1,027	480	12,178	3.75	1.073	3.76	0.497
		27.80%	35.33%	24.49%	8.43%	3.94%	100.00%				
101～200名		2,548	3,368	1,892	568	188	8,564	3.88	0.983	3.85	0.405
		29.75%	39.33%	22.08%	6.63%	2.20%	100.00%				
201名以上		4,127	5,090	3,181	1,038	439	13,875	3.82	1.039	3.79	0.453
		29.74%	36.68%	22.93%	7.48%	3.16%	100.00%				
合計		20,371	21,672	11,771	3,606	1,429	58,849	3.95	1.004	4.07	0.490
		34.62%	36.83%	20.00%	6.13%	2.43%	100.00%				

第4章 資料編

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	874	1,370	1,006	241	148	3,639	3.71	1.031	3.77	0.383
		24.02%	37.65%	27.64%	6.62%	4.07%	100.00%				
外セ	語学	4,547	3,216	1,129	198	110	9,200	4.29	0.852	4.31	0.438
		49.42%	34.96%	12.27%	2.15%	1.20%	100.00%				
スホ健	演習	1,279	389	92	3	3	1,766	4.66	0.598	4.68	0.243
		72.42%	22.03%	5.21%	0.17%	0.17%	100.00%				
共通科目	講義	1,896	1,458	599	95	49	4,097	4.23	0.869	4.24	0.416
		46.28%	35.59%	14.62%	2.32%	1.20%	100.00%				
	演習	12	8	4	2	1	27	4.04	1.126	4.04	-
		44.44%	29.63%	14.81%	7.41%	3.70%	100.00%				
計		1,908	1,466	603	97	50	4,124	4.23	0.871	4.23	0.413
		46.27%	35.55%	14.62%	2.35%	1.21%	100.00%				
法学部	講義	3,918	3,415	1,489	281	145	9,248	4.15	0.907	4.19	0.391
		42.37%	36.93%	16.10%	3.04%	1.57%	100.00%				
	演習	808	444	142	29	16	1,439	4.39	0.831	4.45	0.379
		56.15%	30.85%	9.87%	2.02%	1.11%	100.00%				
計		4,726	3,859	1,631	310	161	10,687	4.19	0.901	4.29	0.407
		44.22%	36.11%	15.26%	2.90%	1.51%	100.00%				
経済学部	講義	3,033	2,374	1,101	259	121	8,888	4.15	0.941	4.19	0.451
		44.03%	34.47%	15.98%	3.76%	1.76%	100.00%				
	演習	1,061	375	86	15	4	1,541	4.61	0.664	4.61	0.323
		68.85%	24.33%	5.58%	0.97%	0.26%	100.00%				
計		4,094	2,749	1,187	274	125	8,429	4.24	0.914	4.38	0.451
		48.57%	32.61%	14.08%	3.25%	1.48%	100.00%				
文学部	講義	3,149	2,446	839	137	49	6,620	4.29	0.819	4.34	0.322
		47.57%	36.95%	12.67%	2.07%	0.74%	100.00%				
	演習	3,408	1,874	448	59	11	5,800	4.48	0.699	4.51	0.312
		58.76%	32.31%	7.72%	1.02%	0.19%	100.00%				
計		6,557	4,320	1,287	196	60	12,420	4.38	0.771	4.45	0.325
		52.79%	34.78%	10.36%	1.58%	0.48%	100.00%				
理学部	講義	1,202	1,239	824	187	128	3,580	3.89	1.042	3.94	0.459
		33.58%	34.61%	23.02%	5.22%	3.58%	100.00%				
	演習	488	498	274	49	42	1,351	3.99	0.995	3.95	0.430
		36.12%	36.86%	20.28%	3.63%	3.11%	100.00%				
計		1,690	1,737	1,098	236	170	4,931	3.92	1.030	3.94	0.451
		34.27%	35.23%	22.27%	4.79%	3.45%	100.00%				
教職課程	講義	771	531	175	43	24	1,544	4.28	0.885	4.29	0.364
		49.94%	34.39%	11.33%	2.78%	1.55%	100.00%				
	演習	815	300	95	18	18	1,246	4.51	0.814	4.49	0.388
		65.41%	24.08%	7.62%	1.44%	1.44%	100.00%				
計		1,586	831	270	61	42	2,790	4.38	0.861	4.41	0.389
		56.85%	29.78%	9.68%	2.19%	1.51%	100.00%				
学芸員	講義	408	240	58	11	4	721	4.44	0.752	4.52	0.315
		56.59%	33.29%	8.04%	1.53%	0.55%	100.00%				
	演習	94	36	4	0	0	134	4.67	0.531	4.66	0.208
		70.15%	26.87%	2.99%	0.00%	0.00%	100.00%				
計		502	276	62	11	4	855	4.47	0.727	4.59	0.268
		58.71%	32.28%	7.25%	1.29%	0.47%	100.00%				
合計		27,751	20,205	8,361	1,625	872	58,841	4.23	0.897	4.32	0.440
		47.18%	34.35%	14.22%	2.76%	1.48%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		15,251	13,073	6,091	1,254	668	36,337	4.13	0.935	4.15	0.440
		41.97%	35.98%	16.76%	3.45%	1.84%	100.00%				
演習		7,965	3,924	1,145	175	95	13,304	4.46	0.765	4.51	0.358
		59.87%	29.49%	8.61%	1.32%	0.71%	100.00%				
語学		4,547	3,216	1,129	198	110	9,200	4.29	0.852	4.31	0.438
		49.42%	34.96%	12.27%	2.15%	1.20%	100.00%				
合計		27,763	20,213	8,365	1,627	873	58,841	4.23	0.897	4.32	0.440
		47.18%	34.35%	14.22%	2.77%	1.48%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		9,985	8,564	3,909	793	455	23,706	4.13	0.936
		42.12%	36.13%	16.49%	3.35%	1.92%	100.00%		
学部2年		7,590	5,716	2,309	399	186	16,200	4.24	0.868
		46.85%	35.28%	14.25%	2.46%	1.15%	100.00%		
学部3年		5,432	3,400	1,200	236	109	10,377	4.33	0.846
		52.35%	32.76%	11.56%	2.27%	1.05%	100.00%		
学部4年		2,671	1,205	348	59	30	4,313	4.49	0.760
		61.93%	27.94%	8.07%	1.37%	0.70%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		5,761	2,785	726	126	56	9,454	4.49	0.745	4.50	0.382
		60.94%	29.46%	7.68%	1.33%	0.59%	100.00%				
26～50名		7,635	4,910	1,757	294	175	14,771	4.32	0.847	4.33	0.417
		51.69%	33.24%	11.89%	1.99%	1.18%	100.00%				
51～100名		4,639	4,378	2,333	521	315	12,186	4.03	0.988	4.04	0.460
		38.07%	35.93%	19.14%	4.28%	2.58%	100.00%				
101～200名		3,811	3,129	1,248	256	119	8,563	4.20	0.892	4.15	0.384
		44.51%	36.54%	14.57%	2.99%	1.39%	100.00%				
201名以上		5,917	5,011	2,301	430	208	13,867	4.15	0.910	4.12	0.374
		42.67%	36.14%	16.59%	3.10%	1.50%	100.00%				
合計		27,763	20,213	8,365	1,627	873	58,841	4.23	0.897	4.32	0.440
		47.18%	34.35%	14.22%	2.77%	1.48%	100.00%				

Q6 教員は教室内で学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	966 26.59%	1,337 36.80%	963 26.51%	242 6.66%	125 3.44%	3,633 100.00%	3.76	1.026	3.83	0.423
外セ	語学	4,015 43.65%	3,402 36.99%	1,403 15.25%	279 3.03%	99 1.08%	9,198 100.00%	4.19	0.878	4.21	0.384
スポ健	演習	1,169 66.31%	451 25.58%	130 7.37%	9 0.51%	4 0.23%	1,763 100.00%	4.57	0.671	4.59	0.274
共通科目	講義	1,428 34.88%	1,510 36.88%	904 22.08%	188 4.59%	64 1.56%	4,094 100.00%	3.99	0.946	4.04	0.388
	演習	7 25.93%	5 18.52%	12 44.44%	2 7.41%	1 3.70%	27 100.00%	3.56	1.086	3.56	-
	計	1,435 34.82%	1,515 36.76%	916 22.23%	190 4.61%	65 1.58%	4,121 100.00%	3.99	0.947	4.03	0.390
法学部	講義	3,363 36.34%	3,325 35.93%	1,955 21.12%	433 4.68%	179 1.93%	9,255 100.00%	4.00	0.967	4.09	0.360
	演習	758 52.64%	425 29.51%	205 14.24%	35 2.43%	17 1.18%	1,440 100.00%	4.30	0.885	4.40	0.387
	計	4,121 38.53%	3,750 35.06%	2,160 20.20%	468 4.38%	196 1.83%	10,695 100.00%	4.04	0.962	4.21	0.400
経済学部	講義	2,465 35.78%	2,421 35.14%	1,514 21.98%	340 4.94%	149 2.16%	6,889 100.00%	3.97	0.984	4.08	0.446
	演習	1,008 65.28%	403 26.10%	109 7.06%	19 1.23%	5 0.32%	1,544 100.00%	4.55	0.708	4.56	0.300
	計	3,473 41.18%	2,824 33.49%	1,623 19.25%	359 4.26%	154 1.83%	8,433 100.00%	4.08	0.966	4.29	0.456
文学部	講義	2,371 35.83%	2,613 39.49%	1,325 20.02%	235 3.55%	73 1.10%	6,617 100.00%	4.05	0.893	4.11	0.335
	演習	2,929 50.51%	2,084 35.94%	656 11.31%	108 1.86%	22 0.38%	5,799 100.00%	4.34	0.780	4.37	0.324
	計	5,300 42.69%	4,697 37.83%	1,981 15.96%	343 2.76%	95 0.77%	12,416 100.00%	4.19	0.854	4.28	0.350
理学部	講義	915 25.53%	1,249 34.85%	1,035 28.88%	241 6.72%	144 4.02%	3,584 100.00%	3.71	1.045	3.80	0.446
	演習	426 31.51%	463 34.25%	337 24.93%	75 5.55%	51 3.77%	1,352 100.00%	3.84	1.050	3.79	0.456
	計	1,341 27.17%	1,712 34.68%	1,372 27.80%	316 6.40%	195 3.95%	4,936 100.00%	3.75	1.048	3.80	0.447
教職課程	講義	646 41.92%	569 36.92%	242 15.70%	61 3.96%	23 1.49%	1,541 100.00%	4.14	0.922	4.15	0.320
	演習	719 57.75%	365 29.32%	121 9.72%	24 1.93%	16 1.29%	1,245 100.00%	4.40	0.840	4.39	0.399
	計	1,365 48.99%	934 33.52%	363 13.03%	85 3.05%	39 1.40%	2,786 100.00%	4.26	0.896	4.28	0.384
学芸員	講義	303 42.08%	278 38.61%	117 16.25%	16 2.22%	6 0.83%	720 100.00%	4.19	0.844	4.28	0.298
	演習	79 58.96%	47 35.07%	7 5.22%	1 0.75%	0 0.00%	134 100.00%	4.52	0.634	4.50	0.213
	計	382 44.73%	325 38.06%	124 14.52%	17 1.99%	6 0.70%	854 100.00%	4.24	0.823	4.40	0.275
合計	23,567 40.06%	20,947 35.61%	11,023 18.74%	2,306 3.92%	977 1.66%	58,808 100.00%	4.08	0.942	4.21	0.427	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		12,457 34.29%	13,302 36.61%	8,055 22.17%	1,756 4.83%	763 2.10%	36,333 100.00%	3.96	0.972	4.02	0.412
演習		7,095 53.33%	4,243 31.89%	1,577 11.85%	273 2.05%	116 0.87%	13,304 100.00%	4.35	0.832	4.41	0.375
語学		4,015 43.65%	3,402 36.99%	1,403 15.25%	279 3.03%	99 1.08%	9,198 100.00%	4.19	0.878	4.21	0.384
合計		23,567 40.06%	20,947 35.60%	11,035 18.76%	2,308 3.92%	978 1.66%	58,835 100.00%	4.08	0.942	4.21	0.427

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		8,233 34.75%	8,841 37.32%	5,042 21.28%	1,111 4.69%	465 1.96%	23,692 100.00%	3.98	0.961
学部2年		6,279 38.75%	5,957 36.76%	3,105 19.16%	607 3.75%	255 1.57%	16,203 100.00%	4.07	0.930
学部3年		4,779 46.02%	3,509 33.79%	1,655 15.94%	322 3.10%	119 1.15%	10,384 100.00%	4.20	0.897
学部4年		2,417 56.03%	1,295 30.02%	484 11.22%	92 2.13%	26 0.60%	4,314 100.00%	4.39	0.814

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		5,236 55.35%	3,026 31.99%	980 10.36%	160 1.69%	57 0.60%	9,459 100.00%	4.40	0.788	4.41	0.368
26～50名		6,646 45.00%	5,270 35.69%	2,261 15.31%	417 2.82%	174 1.18%	14,768 100.00%	4.21	0.883	4.22	0.382
51～100名		3,944 32.39%	4,480 36.79%	2,794 22.94%	634 5.21%	326 2.68%	12,178 100.00%	3.91	0.997	3.93	0.423
101～200名		3,072 35.89%	3,200 37.38%	1,808 21.12%	360 4.21%	120 1.40%	8,560 100.00%	4.02	0.930	4.00	0.361
201名以上		4,669 33.66%	4,971 35.84%	3,192 23.01%	737 5.31%	301 2.17%	13,870 100.00%	3.94	0.985	3.91	0.352
合計		23,567 40.06%	20,947 35.60%	11,035 18.76%	2,308 3.92%	978 1.66%	58,835 100.00%	4.08	0.942	4.21	0.427

第4章 資料編

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	936	1,226	908	336	229	3,635	3.63	1.145	3.67	0.544
		25.75%	33.73%	24.98%	9.24%	6.30%	100.00%				
外セ	語学	4,067	3,203	1,349	379	191	9,189	4.15	0.959	4.17	0.508
		44.26%	34.86%	14.68%	4.12%	2.08%	100.00%				
スポ健	演習	1,194	435	111	22	4	1,766	4.58	0.686	4.60	0.299
		67.61%	24.63%	6.29%	1.25%	0.23%	100.00%				
共通科目	講義	1,573	1,465	790	177	92	4,097	4.04	0.975	4.04	0.507
		38.39%	35.76%	19.28%	4.32%	2.25%	100.00%				
		8	8	8	2	1	27	3.74	1.095		
法学部	講義	3,062	3,184	1,964	674	362	9,246	3.86	1.080	3.88	0.539
		33.12%	34.44%	21.24%	7.29%	3.92%	100.00%				
		743	455	175	43	23	1,439	4.29	0.905		
経済学部	講義	2,369	2,333	1,388	492	306	6,888	3.87	1.101	3.99	0.549
		34.39%	33.87%	20.15%	7.14%	4.44%	100.00%				
		1,032	370	118	20	4	1,544	4.56	0.713		
文学部	講義	3,401	2,703	1,506	512	310	8,432	3.99	1.075	4.25	0.553
		40.33%	32.06%	17.86%	6.07%	3.68%	100.00%				
		2,933	1,987	683	167	33	5,803	4.31	0.832		
理学部	講義	5,326	4,463	1,868	597	163	12,417	4.14	0.932	4.25	0.420
		42.89%	35.94%	15.04%	4.81%	1.31%	100.00%				
		802	1,099	978	426	275	3,580	3.48	1.182		
教職課程	講義	22.40%	30.70%	27.32%	11.90%	7.68%	100.00%	3.48	1.182	3.55	0.584
		408	467	318	96	63	1,352	3.78	1.093		
		30.18%	34.54%	23.52%	7.10%	4.66%	100.00%				
学芸員	講義	1,210	1,566	1,296	522	338	4,932	3.57	1.166	3.60	0.567
		24.53%	31.75%	26.28%	10.58%	6.85%	100.00%				
		696	532	232	55	29	1,544	4.17	0.940		
学部生	講義	45.08%	34.46%	15.03%	3.56%	1.88%	100.00%	4.17	0.940	4.17	0.416
		717	349	129	26	23	1,244	4.38	0.889		
		57.64%	28.05%	10.37%	2.09%	1.85%	100.00%				
学芸員	演習	1,413	881	361	81	52	2,788	4.26	0.923	4.28	0.425
		50.68%	31.60%	12.95%	2.91%	1.87%	100.00%				
		323	254	113	19	9	718	4.20	0.887		
学芸員	演習	44.99%	35.38%	15.74%	2.65%	1.25%	100.00%	4.20	0.887	4.31	0.358
		94	37	2	1	0	134	4.67	0.545		
		70.15%	27.61%	1.49%	0.75%	0.00%	100.00%				
合計	計	417	291	115	20	9	852	4.28	0.859	4.49	0.336
		48.94%	34.15%	13.50%	2.35%	1.06%	100.00%				
		23,342	19,872	10,443	3,363	1,773	58,793	4.01	1.037		
合計	計	39.70%	33.80%	17.76%	5.72%	3.02%	100.00%	4.01	1.037	4.15	0.542

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	講義	12,154	12,569	7,558	2,609	1,432	36,322	3.86	1.080	3.90	0.549
		33.46%	34.60%	20.81%	7.18%	3.94%	100.00%				
演習	演習	7,129	4,108	1,544	377	151	13,309	4.33	0.871	4.40	0.427
		53.57%	30.87%	11.60%	2.83%	1.13%	100.00%				
語学	語学	4,067	3,203	1,349	379	191	9,189	4.15	0.959	4.17	0.508
		44.26%	34.86%	14.68%	4.12%	2.08%	100.00%				
合計	合計	23,350	19,880	10,451	3,365	1,774	58,820	4.01	1.037	4.15	0.542
		39.70%	33.80%	17.77%	5.72%	3.02%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	学部1年	8,211	8,252	4,729	1,599	900	23,691	3.90	1.071
		34.66%	34.83%	19.96%	6.75%	3.80%	100.00%		
学部2年	学部2年	6,182	5,680	3,011	890	435	16,198	4.01	1.014
		38.17%	35.07%	18.59%	5.49%	2.69%	100.00%		
学部3年	学部3年	4,697	3,393	1,577	479	230	10,376	4.14	0.984
		45.27%	32.70%	15.20%	4.62%	2.22%	100.00%		
学部4年	学部4年	2,441	1,249	445	125	52	4,312	4.37	0.871
		56.61%	28.97%	10.32%	2.90%	1.21%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	25名以下	5,206	2,931	986	240	93	9,456	4.37	0.843	4.38	0.441
		55.05%	31.00%	10.43%	2.54%	0.98%	100.00%				
26～50名	26～50名	6,735	4,963	2,138	616	315	14,767	4.16	0.966	4.18	0.510
		45.61%	33.61%	14.48%	4.17%	2.13%	100.00%				
51～100名	51～100名	3,814	4,200	2,612	963	585	12,174	3.80	1.111	3.79	0.549
		31.33%	34.50%	21.46%	7.91%	4.81%	100.00%				
101～200名	101～200名	2,941	3,029	1,700	606	286	8,562	3.90	1.057	3.85	0.506
		34.35%	35.38%	19.86%	7.08%	3.34%	100.00%				
201名以上	201名以上	4,654	4,757	3,015	940	495	13,861	3.88	1.063	3.83	0.485
		33.58%	34.32%	21.75%	6.78%	3.57%	100.00%				
合計	合計	23,350	19,880	10,451	3,365	1,774	58,820	4.01	1.037	4.15	0.542
		39.70%	33.80%	17.77%	5.72%	3.02%	100.00%				

Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	968 26.66%	1,287 35.44%	866 23.85%	333 9.17%	177 4.87%	3,631 100.00%	3.70	1.105	3.75	0.452
外セ	語学	4,066 44.25%	3,256 35.43%	1,390 15.13%	330 3.59%	147 1.60%	9,189 100.00%	4.17	0.923	4.19	0.453
スポ健	演習	1,253 70.99%	400 22.66%	104 5.89%	4 0.23%	4 0.23%	1,765 100.00%	4.64	0.624	4.66	0.251
共通科目	講義	1,614 39.42%	1,547 37.79%	708 17.29%	164 4.01%	61 1.49%	4,094 100.00%	4.10	0.923	4.13	0.440
	演習	12 44.44%	6 22.22%	7 25.93%	1 3.70%	1 3.70%	27 100.00%	4.00	1.109	4.00	-
	計	1,626 39.46%	1,553 37.69%	715 17.35%	165 4.00%	62 1.50%	4,121 100.00%	4.10	0.924	4.13	0.437
法学部	講義	3,073 33.23%	3,200 34.60%	1,840 19.90%	778 8.41%	357 3.86%	9,248 100.00%	3.85	1.092	3.88	0.548
	演習	797 55.42%	425 29.55%	146 10.15%	47 3.27%	23 1.60%	1,438 100.00%	4.34	0.903	4.43	0.431
	計	3,870 36.22%	3,625 33.92%	1,986 18.59%	825 7.72%	380 3.56%	10,686 100.00%	3.92	1.082	4.09	0.571
経済学部	講義	2,435 35.39%	2,374 34.50%	1,389 20.19%	473 6.87%	210 3.05%	6,881 100.00%	3.92	1.049	4.05	0.486
	演習	1,046 67.75%	381 24.68%	98 6.35%	18 1.17%	1 0.06%	1,544 100.00%	4.59	0.669	4.60	0.320
	計	3,481 41.32%	2,755 32.70%	1,487 17.65%	491 5.83%	211 2.50%	8,425 100.00%	4.04	1.023	4.29	0.503
文学部	講義	2,520 38.11%	2,541 38.42%	1,123 16.98%	327 4.94%	102 1.54%	6,613 100.00%	4.07	0.940	4.13	0.404
	演習	3,041 52.43%	1,969 33.95%	625 10.78%	138 2.38%	27 0.47%	5,800 100.00%	4.36	0.802	4.38	0.384
	計	5,561 44.80%	4,510 36.33%	1,748 14.08%	465 3.75%	129 1.04%	12,413 100.00%	4.20	0.890	4.29	0.408
理学部	講義	868 24.23%	1,140 31.82%	994 27.74%	353 9.85%	228 6.36%	3,583 100.00%	3.58	1.144	3.66	0.556
	演習	436 32.27%	488 36.12%	323 23.91%	52 3.85%	52 3.85%	1,351 100.00%	3.89	1.025	3.84	0.402
	計	1,304 26.43%	1,628 33.00%	1,317 26.69%	405 8.21%	280 5.67%	4,934 100.00%	3.66	1.121	3.70	0.528
教職課程	講義	712 46.20%	524 34.00%	231 14.99%	54 3.50%	20 1.30%	1,541 100.00%	4.20	0.910	4.20	0.416
	演習	753 60.43%	340 27.29%	105 8.43%	26 2.09%	22 1.77%	1,246 100.00%	4.43	0.866	4.39	0.412
	計	1,465 52.57%	864 31.00%	336 12.06%	80 2.87%	42 1.51%	2,787 100.00%	4.30	0.897	4.31	0.421
学芸員	講義	354 49.24%	264 36.72%	81 11.27%	15 2.09%	5 0.70%	719 100.00%	4.32	0.807	4.39	0.292
	演習	92 68.66%	36 26.87%	5 3.73%	1 0.75%	0 0.00%	134 100.00%	4.63	0.595	4.62	0.220
	計	446 52.29%	300 35.17%	86 10.08%	16 1.88%	5 0.59%	853 100.00%	4.37	0.786	4.51	0.277
合計	24,028 40.88%	20,172 34.32%	10,028 17.06%	3,113 5.30%	1,437 2.44%	58,777 100.00%	4.06	1.004	4.19	0.506	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		12,544 34.55%	12,877 35.46%	7,232 19.92%	2,497 6.88%	1,160 3.19%	36,310 100.00%	3.91	1.049	3.96	0.514
演習		7,430 55.84%	4,045 30.40%	1,413 10.62%	287 2.16%	130 0.98%	13,305 100.00%	4.38	0.833	4.44	0.405
語学		4,066 44.25%	3,256 35.43%	1,390 15.13%	330 3.59%	147 1.60%	9,189 100.00%	4.17	0.923	4.19	0.453
合計		24,040 40.88%	20,178 34.31%	10,035 17.07%	3,114 5.30%	1,437 2.44%	58,804 100.00%	4.06	1.004	4.19	0.506

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		8,446 35.67%	8,506 35.92%	4,561 19.26%	1,467 6.19%	701 2.96%	23,681 100.00%	3.95	1.030
学部2年		6,357 39.25%	5,702 35.20%	2,906 17.94%	856 5.28%	376 2.32%	16,197 100.00%	4.04	0.995
学部3年		4,881 47.03%	3,408 32.84%	1,466 14.13%	444 4.28%	179 1.72%	10,378 100.00%	4.19	0.949
学部4年		2,501 58.01%	1,221 28.32%	432 10.02%	111 2.57%	46 1.07%	4,311 100.00%	4.40	0.850

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		5,308 56.15%	2,896 30.64%	952 10.07%	222 2.35%	75 0.79%	9,453 100.00%	4.39	0.822	4.41	0.425
26～50名		6,974 47.24%	4,976 33.71%	2,052 13.90%	526 3.56%	235 1.59%	14,763 100.00%	4.21	0.923	4.23	0.462
51～100名		4,014 32.97%	4,269 35.07%	2,545 20.91%	865 7.11%	481 3.95%	12,174 100.00%	3.86	1.077	3.86	0.519
101～200名		3,023 35.34%	3,186 37.24%	1,600 18.70%	528 6.17%	218 2.55%	8,555 100.00%	3.97	1.008	3.92	0.453
201名以上		4,721 34.06%	4,851 35.00%	2,886 20.82%	973 7.02%	428 3.09%	13,859 100.00%	3.90	1.048	3.86	0.454
合計		24,040 40.88%	20,178 34.31%	10,035 17.07%	3,114 5.30%	1,437 2.44%	58,804 100.00%	4.06	1.004	4.19	0.506

第4章 資料編

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計七	講義	802 22.09%	1,155 31.81%	1,127 31.04%	324 8.92%	223 6.14%	3,631 100.00%	3.55	1.112	3.61	0.435
外七	語学	3,253 35.42%	3,178 34.61%	2,028 22.08%	503 5.48%	221 2.41%	9,183 100.00%	3.95	1.004	3.99	0.476
スポ健	演習	1,064 60.35%	445 25.24%	219 12.42%	24 1.36%	11 0.62%	1,763 100.00%	4.43	0.807	4.47	0.386
共通科目	講義	1,673 40.85%	1,447 35.34%	721 17.61%	175 4.27%	79 1.93%	4,095 100.00%	4.09	0.960	4.11	0.371
	演習	11 40.74%	7 25.93%	7 25.93%	1 3.70%	1 3.70%	27 100.00%	3.96	1.091	3.96	-
	計	1,684 40.85%	1,454 35.27%	728 17.66%	176 4.27%	80 1.94%	4,122 100.00%	4.09	0.961	4.11	0.368
法学部	講義	3,148 34.05%	3,298 35.68%	2,069 22.38%	487 5.27%	242 2.62%	9,244 100.00%	3.93	1.003	3.98	0.436
	演習	762 53.18%	465 32.45%	150 10.47%	43 3.00%	13 0.91%	1,433 100.00%	4.34	0.850	4.44	0.382
	計	3,910 36.62%	3,763 35.24%	2,219 20.78%	530 4.96%	255 2.39%	10,677 100.00%	3.99	0.994	4.16	0.471
経済学部	講義	2,218 32.29%	2,203 32.07%	1,626 23.67%	541 7.87%	282 4.10%	6,870 100.00%	3.81	1.098	3.97	0.533
	演習	1,038 67.32%	351 22.76%	134 8.69%	16 1.04%	3 0.19%	1,542 100.00%	4.56	0.711	4.58	0.332
	計	3,256 38.71%	2,554 30.36%	1,760 20.92%	557 6.62%	285 3.39%	8,412 100.00%	3.94	1.078	4.24	0.546
文学部	講義	2,628 39.73%	2,399 36.27%	1,209 18.28%	286 4.32%	92 1.39%	6,614 100.00%	4.09	0.933	4.19	0.372
	演習	2,955 50.96%	1,942 33.49%	728 12.55%	140 2.41%	34 0.59%	5,799 100.00%	4.32	0.827	4.34	0.389
	計	5,583 44.98%	4,341 34.97%	1,937 15.60%	426 3.43%	126 1.02%	12,413 100.00%	4.19	0.893	4.29	0.390
理学部	講義	800 22.35%	1,128 31.51%	1,094 30.56%	332 9.27%	226 6.31%	3,580 100.00%	3.54	1.122	3.61	0.474
	演習	427 31.56%	447 33.04%	332 24.54%	92 6.80%	55 4.07%	1,353 100.00%	3.81	1.079	3.74	0.534
	計	1,227 24.87%	1,575 31.93%	1,426 28.91%	424 8.60%	281 5.70%	4,933 100.00%	3.62	1.117	3.65	0.490
教職課程	講義	692 44.94%	506 32.86%	255 16.56%	54 3.51%	33 2.14%	1,540 100.00%	4.15	0.962	4.16	0.386
	演習	723 58.03%	355 28.49%	126 10.11%	19 1.52%	23 1.85%	1,246 100.00%	4.39	0.869	4.39	0.392
	計	1,415 50.79%	861 30.90%	381 13.68%	73 2.62%	56 2.01%	2,786 100.00%	4.26	0.929	4.29	0.404
学芸員	講義	319 44.37%	263 36.58%	112 15.58%	18 2.50%	7 0.97%	719 100.00%	4.21	0.863	4.32	0.321
	演習	100 74.63%	29 21.64%	3 2.24%	2 1.49%	0 0.00%	134 100.00%	4.69	0.591	4.69	0.244
	計	419 49.12%	292 34.23%	115 13.48%	20 2.34%	7 0.82%	853 100.00%	4.28	0.845	4.51	0.335
合計	22,602 38.47%	19,611 33.38%	11,933 20.32%	3,056 5.20%	1,544 2.63%	58,746 100.00%	4.00	1.016	4.12	0.506	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		12,280 33.84%	12,399 34.16%	8,213 22.63%	2,217 6.11%	1,184 3.26%	36,293 100.00%	3.89	1.045	3.95	0.491
演習		7,080 53.25%	4,041 30.39%	1,699 12.78%	337 2.53%	140 1.05%	13,297 100.00%	4.32	0.867	4.39	0.422
語学		3,253 35.42%	3,178 34.61%	2,028 22.08%	503 5.48%	221 2.41%	9,183 100.00%	3.95	1.004	3.99	0.476
合計		22,613 38.48%	19,618 33.38%	11,940 20.32%	3,057 5.20%	1,545 2.63%	58,773 100.00%	4.00	1.016	4.12	0.506

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		7,628 32.22%	8,053 34.01%	5,625 23.76%	1,549 6.54%	822 3.47%	23,677 100.00%	3.85	1.054
学部2年		5,957 36.80%	5,721 35.34%	3,367 20.80%	788 4.87%	354 2.19%	16,187 100.00%	4.00	0.984
学部3年		4,784 46.13%	3,340 32.21%	1,672 16.12%	389 3.75%	185 1.78%	10,370 100.00%	4.17	0.951
学部4年		2,452 56.88%	1,223 28.37%	492 11.41%	95 2.20%	49 1.14%	4,311 100.00%	4.38	0.855

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		5,039 53.36%	2,900 30.71%	1,151 12.19%	259 2.74%	95 1.01%	9,444 100.00%	4.33	0.865	4.35	0.453
26～50名		6,119 41.47%	4,926 33.38%	2,746 18.61%	664 4.50%	301 2.04%	14,756 100.00%	4.08	0.979	4.10	0.473
51～100名		3,803 31.24%	4,019 33.01%	3,044 25.00%	799 6.56%	509 4.18%	12,174 100.00%	3.81	1.079	3.82	0.497
101～200名		3,015 35.25%	3,058 35.75%	1,789 20.91%	491 5.74%	201 2.35%	8,554 100.00%	3.96	1.001	3.92	0.416
201名以上		4,637 33.49%	4,715 34.06%	3,210 23.19%	844 6.10%	439 3.17%	13,845 100.00%	3.89	1.041	3.84	0.424
合計		22,613 38.48%	19,618 33.38%	11,940 20.32%	3,057 5.20%	1,545 2.63%	58,773 100.00%	4.00	1.016	4.12	0.506

Q10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	846	1,300	1,052	257	170	3,625	3.66	1.056	3.71	0.483
		23.34%	35.86%	29.02%	7.09%	4.69%	100.00%				
外セ	語学	4,007	3,317	1,375	321	136	9,156	4.17	0.912	4.19	0.474
		43.76%	36.23%	15.02%	3.51%	1.49%	100.00%				
スポ健	演習	1,244	411	85	17	3	1,760	4.63	0.638	4.66	0.306
		70.68%	23.35%	4.83%	0.97%	0.17%	100.00%				
共通科目	講義	1,624	1,495	737	157	59	4,072	4.10	0.925	4.11	0.434
		39.88%	36.71%	18.10%	3.86%	1.45%	100.00%				
		10	9	6	1	1	27	3.96	1.055		
法学部	講義	1,634	1,504	743	158	60	4,099	4.10	0.926	4.11	0.431
		39.86%	36.69%	18.13%	3.85%	1.46%	100.00%				
		3,301	3,372	1,871	438	222	9,204	3.99	0.985		
経済学部	講義	777	447	153	33	17	1,427	4.36	0.852	4.45	0.404
		54.45%	31.32%	10.72%	2.31%	1.19%	100.00%				
		4,078	3,819	2,024	471	239	10,631	4.04	0.976		
文学部	講義	2,429	2,452	1,380	397	194	8,852	3.95	1.020	4.07	0.509
		35.45%	35.79%	20.14%	5.79%	2.83%	100.00%				
		1,046	383	85	15	3	1,532	4.60	0.658		
理学部	講義	3,475	2,835	1,465	412	197	8,384	4.07	0.996	4.31	0.517
		41.45%	33.81%	17.47%	4.91%	2.35%	100.00%				
		2,556	2,488	1,244	224	68	6,580	4.10	0.893		
教職課程	講義	3,023	2,039	572	107	19	5,760	4.38	0.765	4.41	0.383
		52.48%	35.40%	9.93%	1.86%	0.33%	100.00%				
		5,579	4,527	1,816	331	87	12,340	4.23	0.847		
学芸員	講義	45.21%	36.69%	14.72%	2.68%	0.71%	100.00%	4.23	0.847	4.33	0.381
		873	1,196	1,058	269	175	3,571	3.65	1.078		
		24.45%	33.49%	29.63%	7.53%	4.90%	100.00%				
教職課程	演習	452	482	297	64	53	1,348	3.90	1.044	3.84	0.504
		33.53%	35.76%	22.03%	4.75%	3.93%	100.00%				
		1,325	1,678	1,355	333	228	4,919	3.72	1.074		
学芸員	講義	26.94%	34.11%	27.55%	6.77%	4.64%	100.00%	3.72	1.074	3.75	0.502
		695	546	228	46	26	1,541	4.19	0.913		
		45.10%	35.43%	14.80%	2.99%	1.69%	100.00%				
学芸員	演習	724	365	105	21	20	1,235	4.42	0.843	4.40	0.422
		58.62%	29.55%	8.50%	1.70%	1.62%	100.00%				
		1,419	911	333	67	46	2,776	4.29	0.889		
学芸員	講義	51.12%	32.82%	12.00%	2.41%	1.66%	100.00%	4.29	0.889	4.31	0.430
		319	266	107	20	5	717	4.22	0.849		
		44.49%	37.10%	14.92%	2.79%	0.70%	100.00%				
学芸員	演習	94	30	7	1	0	132	4.64	0.619	4.63	0.250
		71.21%	22.73%	5.30%	0.76%	0.00%	100.00%				
		413	296	114	21	5	849	4.29	0.832		
合計	講義	48.65%	34.86%	13.43%	2.47%	0.59%	100.00%	4.29	0.832	4.48	0.344
		24,010	20,589	10,356	2,387	1,170	58,512	4.09	0.960		
合計	演習	41.03%	35.19%	17.70%	4.08%	2.00%	100.00%	4.09	0.960	4.21	0.498

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	講義	12,643	13,115	7,677	1,808	919	36,162	3.96	0.995	4.00	0.490
		34.96%	36.27%	21.23%	5.00%	2.54%	100.00%				
演習	演習	7,370	4,166	1,310	259	116	13,221	4.39	0.812	4.45	0.406
		55.74%	31.51%	9.91%	1.96%	0.88%	100.00%				
語学	語学	4,007	3,317	1,375	321	136	9,156	4.17	0.912	4.19	0.474
		43.76%	36.23%	15.02%	3.51%	1.49%	100.00%				
合計	合計	24,020	20,598	10,362	2,388	1,171	58,539	4.09	0.960	4.21	0.498
		41.03%	35.19%	17.70%	4.08%	2.00%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	学部1年	8,428	8,550	4,825	1,198	586	23,587	3.98	0.994
		35.73%	36.25%	20.46%	5.08%	2.48%	100.00%		
学部2年	学部2年	6,367	6,010	2,893	592	276	16,138	4.09	0.931
		39.45%	37.24%	17.93%	3.67%	1.71%	100.00%		
学部3年	学部3年	4,859	3,454	1,534	330	152	10,329	4.21	0.913
		47.04%	33.44%	14.85%	3.19%	1.47%	100.00%		
学部4年	学部4年	2,501	1,238	416	85	38	4,278	4.42	0.815
		58.46%	28.94%	9.72%	1.99%	0.89%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	25名以下	5,350	2,935	848	202	62	9,397	4.42	0.795	4.43	0.419
		56.93%	31.23%	9.02%	2.15%	0.66%	100.00%				
26～50名	26～50名	6,831	5,130	2,085	436	214	14,696	4.22	0.899	4.23	0.468
		46.48%	34.91%	14.19%	2.97%	1.46%	100.00%				
51～100名	51～100名	3,897	4,381	2,804	654	401	12,137	3.88	1.025	3.89	0.496
		32.11%	36.10%	23.10%	5.39%	3.30%	100.00%				
101～200名	101～200名	3,057	3,159	1,727	412	163	8,518	4.00	0.963	3.96	0.436
		35.89%	37.09%	20.27%	4.84%	1.91%	100.00%				
201名以上	201名以上	4,885	4,993	2,898	684	331	13,791	3.97	0.989	3.93	0.444
		35.42%	36.20%	21.01%	4.98%	2.40%	100.00%				
合計	合計	24,020	20,598	10,362	2,388	1,171	58,539	4.09	0.960	4.21	0.498
		41.03%	35.19%	17.70%	4.08%	2.00%	100.00%				

第4章 資料編

Q11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,014 29.15%	1,280 36.80%	862 24.78%	215 6.18%	107 3.08%	3,478 100.00%	3.83	1.017	3.84	0.395
外セ	語学	3,226 35.81%	3,391 37.64%	1,870 20.76%	368 4.08%	154 1.71%	9,009 100.00%	4.02	0.940	4.03	0.454
共通科目	講義	1,304 32.89%	1,401 35.33%	896 22.60%	281 7.09%	83 2.09%	3,965 100.00%	3.90	1.008	3.93	0.477
法学部	講義	2,560 28.48%	2,845 31.65%	2,252 25.05%	895 9.96%	437 4.86%	8,989 100.00%	3.69	1.129	3.73	0.504
経済学部	講義	2,181 32.89%	2,244 33.84%	1,425 21.49%	537 8.10%	244 3.68%	6,631 100.00%	3.84	1.084	3.90	0.529
文学部	講義	1,963 30.17%	2,261 34.75%	1,530 23.52%	586 9.01%	166 2.55%	6,506 100.00%	3.81	1.044	3.89	0.481
理学部	講義	822 23.71%	1,107 31.93%	962 27.75%	346 9.98%	230 6.63%	3,467 100.00%	3.56	1.148	3.63	0.542
教職課程	講義	465 30.98%	506 33.71%	397 26.45%	94 6.26%	39 2.60%	1,501 100.00%	3.84	1.017	3.87	0.470
学芸員	講義	310 43.79%	226 31.92%	126 17.80%	40 5.65%	6 0.85%	708 100.00%	4.12	0.951	4.23	0.372
合計		13,845 31.29%	15,261 34.49%	10,320 23.32%	3,362 7.60%	1,466 3.31%	44,254 100.00%	3.83	1.058	3.90	0.496

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義		10,619 30.13%	11,870 33.68%	8,450 23.98%	2,994 8.49%	1,312 3.72%	35,245 100.00%	3.78	1.081	3.83	0.504
語学		3,226 35.81%	3,391 37.64%	1,870 20.76%	368 4.08%	154 1.71%	9,009 100.00%	4.02	0.940	4.03	0.454
合計		13,845 31.29%	15,261 34.49%	10,320 23.32%	3,362 7.60%	1,466 3.31%	44,254 100.00%	3.83	1.058	3.90	0.496

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		5,810 29.53%	6,955 35.35%	4,717 23.97%	1,483 7.54%	710 3.61%	19,675 100.00%	3.80	1.058
学部2年		3,856 30.41%	4,378 34.52%	3,012 23.75%	1,023 8.07%	412 3.25%	12,681 100.00%	3.81	1.058
学部3年		2,308 34.41%	2,190 32.65%	1,516 22.60%	504 7.51%	189 2.82%	6,707 100.00%	3.88	1.054
学部4年		892 39.35%	768 33.88%	428 18.88%	134 5.91%	45 1.99%	2,267 100.00%	4.03	0.999

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		1,266 39.16%	1,174 36.31%	611 18.90%	129 3.99%	53 1.64%	3,233 100.00%	4.07	0.939	4.09	0.474
26～50名		3,296 34.96%	3,465 36.75%	2,026 21.49%	444 4.71%	197 2.09%	9,428 100.00%	3.98	0.970	3.99	0.458
51～100名		2,981 28.92%	3,543 34.38%	2,572 24.96%	823 7.99%	387 3.76%	10,306 100.00%	3.77	1.069	3.76	0.483
101～200名		2,376 29.16%	2,773 34.04%	1,932 23.71%	780 9.57%	286 3.51%	8,147 100.00%	3.76	1.081	3.71	0.487
201名以上		3,926 29.88%	4,306 32.77%	3,179 24.19%	1,186 9.03%	543 4.13%	13,140 100.00%	3.75	1.101	3.73	0.487
合計		13,845 31.29%	15,261 34.49%	10,320 23.32%	3,362 7.60%	1,466 3.31%	44,254 100.00%	3.83	1.058	3.90	0.496

Q12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,081 31.10%	1,253 36.05%	863 24.83%	179 5.15%	100 2.88%	3,476 100.00%	3.87	1.004	3.88	0.380
外セ	語学	3,545 39.37%	3,400 37.76%	1,610 17.88%	307 3.41%	143 1.59%	9,005 100.00%	4.10	0.918	4.12	0.431
共通科目	講義	1,381 34.95%	1,458 36.90%	876 22.17%	165 4.18%	71 1.80%	3,951 100.00%	3.99	0.949	4.04	0.431
法学部	講義	2,902 32.35%	3,123 34.82%	2,183 24.34%	537 5.99%	225 2.51%	8,970 100.00%	3.89	1.009	3.92	0.382
経済学部	講義	2,228 33.68%	2,294 34.68%	1,474 22.28%	416 6.29%	203 3.07%	6,615 100.00%	3.90	1.038	3.99	0.489
文学部	講義	2,262 34.85%	2,460 37.90%	1,359 20.94%	312 4.81%	97 1.49%	6,490 100.00%	4.00	0.941	4.08	0.411
理学部	講義	838 24.26%	1,133 32.80%	1,117 32.34%	222 6.43%	144 4.17%	3,454 100.00%	3.67	1.043	3.72	0.426
教職課程	講義	576 38.53%	567 37.93%	285 19.06%	40 2.68%	27 1.81%	1,495 100.00%	4.09	0.916	4.09	0.392
学芸員	講義	316 44.70%	244 34.51%	121 17.11%	21 2.97%	5 0.71%	707 100.00%	4.20	0.874	4.28	0.348
合計		15,129 34.26%	15,932 36.08%	9,888 22.39%	2,199 4.98%	1,015 2.30%	44,163 100.00%	3.95	0.985	4.02	0.441

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義		11,584 32.95%	12,532 35.64%	8,278 23.55%	1,892 5.38%	872 2.48%	35,158 100.00%	3.91	0.998	3.96	0.437
語学		3,545 39.37%	3,400 37.76%	1,610 17.88%	307 3.41%	143 1.59%	9,005 100.00%	4.10	0.918	4.12	0.431
合計		15,129 34.26%	15,932 36.08%	9,888 22.39%	2,199 4.98%	1,015 2.30%	44,163 100.00%	3.95	0.985	4.02	0.441

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		6,355 32.38%	7,143 36.40%	4,646 23.67%	983 5.01%	498 2.54%	19,625 100.00%	3.91	0.991
学部2年		4,291 33.87%	4,729 37.32%	2,781 21.95%	616 4.86%	253 2.00%	12,670 100.00%	3.96	0.965
学部3年		2,480 37.04%	2,299 34.33%	1,450 21.65%	328 4.90%	139 2.08%	6,696 100.00%	3.99	0.985
学部4年		970 42.86%	786 34.73%	376 16.62%	95 4.20%	36 1.59%	2,263 100.00%	4.13	0.943

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		1,405 43.53%	1,178 36.49%	498 15.43%	106 3.28%	41 1.27%	3,228 100.00%	4.18	0.897	4.19	0.429
26～50名		3,612 38.36%	3,502 37.20%	1,810 19.22%	328 3.48%	163 1.73%	9,415 100.00%	4.07	0.931	4.08	0.428
51～100名		3,288 31.96%	3,676 35.73%	2,522 24.51%	524 5.09%	278 2.70%	10,288 100.00%	3.89	1.000	3.89	0.422
101～200名		2,674 32.91%	2,950 36.30%	1,860 22.89%	460 5.66%	182 2.24%	8,126 100.00%	3.92	0.990	3.89	0.391
201名以上		4,150 31.66%	4,626 35.30%	3,198 24.40%	781 5.96%	351 2.68%	13,106 100.00%	3.87	1.012	3.85	0.419
合計		15,129 34.26%	15,932 36.08%	9,888 22.39%	2,199 4.98%	1,015 2.30%	44,163 100.00%	3.95	0.985	4.02	0.441

Q13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
外セ	語学	3,681 42.26%	2,971 34.11%	1,632 18.74%	292 3.35%	134 1.54%	8,710 100.00%	4.12	0.932	4.15	0.455
スポ健	演習	506 53.10%	270 28.33%	158 16.58%	16 1.68%	3 0.31%	953 100.00%	4.32	0.830	4.35	0.447
共通科目	演習	4 17.39%	3 13.04%	11 47.83%	3 13.04%	2 8.70%	23 100.00%	3.17	1.154	3.17	-
法学部	演習	662 48.89%	453 33.46%	186 13.74%	34 2.51%	19 1.40%	1,354 100.00%	4.26	0.887	4.32	0.447
経済学部	演習	958 64.69%	368 24.85%	133 8.98%	18 1.22%	4 0.27%	1,481 100.00%	4.52	0.731	4.53	0.359
文学部	演習	2,864 50.84%	1,898 33.69%	721 12.80%	124 2.20%	26 0.46%	5,633 100.00%	4.32	0.814	4.36	0.373
理学部	演習	382 30.91%	454 36.73%	299 24.19%	58 4.69%	43 3.48%	1,236 100.00%	3.87	1.018	3.86	0.436
教職課程	演習	628 53.22%	348 29.49%	154 13.05%	31 2.63%	19 1.61%	1,180 100.00%	4.30	0.907	4.29	0.502
学芸員	演習	68 53.13%	46 35.94%	12 9.38%	2 1.56%	0 0.00%	128 100.00%	4.41	0.726	4.37	0.436
合計		9,749 47.15%	6,808 32.93%	3,295 15.94%	575 2.78%	248 1.20%	20,675 100.00%	4.22	0.896	4.27	0.449

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
演習	6,072 50.65%	3,840 32.03%	1,674 13.96%	286 2.39%	116 0.97%	11,988 100.00%	4.29	0.863	4.35	0.428
語学	3,681 42.26%	2,971 34.11%	1,632 18.74%	292 3.35%	134 1.54%	8,710 100.00%	4.12	0.932	4.15	0.455
合計	9,753 47.12%	6,811 32.91%	3,306 15.97%	578 2.79%	250 1.21%	20,698 100.00%	4.22	0.896	4.27	0.449

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	3,095 40.29%	2,672 34.78%	1,495 19.46%	287 3.74%	133 1.73%	7,682 100.00%	4.08	0.947
学部2年	2,674 46.70%	1,973 34.46%	874 15.26%	146 2.55%	59 1.03%	5,726 100.00%	4.23	0.872
学部3年	2,039 54.33%	1,174 31.28%	446 11.88%	71 1.89%	23 0.61%	3,753 100.00%	4.37	0.811
学部4年	1,207 59.69%	537 26.56%	234 11.57%	33 1.63%	11 0.54%	2,022 100.00%	4.43	0.800

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	4,296 53.33%	2,545 31.59%	1,009 12.52%	151 1.87%	55 0.68%	8,056 100.00%	4.35	0.820	4.36	0.420
26～50名	4,787 44.69%	3,569 33.32%	1,873 17.49%	330 3.08%	152 1.42%	10,711 100.00%	4.17	0.919	4.18	0.451
51～100名	494 34.09%	511 35.27%	335 23.12%	74 5.11%	35 2.42%	1,449 100.00%	3.94	0.995	3.86	0.457
101～200名	58 26.61%	86 39.45%	51 23.39%	16 7.34%	7 3.21%	218 100.00%	3.79	1.021	3.79	0.432
201名以上	118 44.70%	100 37.88%	38 14.39%	7 2.65%	1 0.38%	264 100.00%	4.24	0.823	4.24	-
合計	9,753 47.12%	6,811 32.91%	3,306 15.97%	578 2.79%	250 1.21%	20,698 100.00%	4.22	0.896	4.27	0.449

Q14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
外セ	語学	3,590 41.28%	3,099 35.63%	1,587 18.25%	287 3.30%	134 1.54%	8,697 100.00%	4.12	0.923	4.15	0.451
スポ健	演習	585 61.51%	253 26.60%	101 10.62%	8 0.84%	4 0.42%	951 100.00%	4.48	0.751	4.50	0.414
共通科目	演習	4 17.39%	6 26.09%	9 39.13%	3 13.04%	1 4.35%	23 100.00%	3.39	1.076	3.39	-
法学部	演習	661 48.89%	414 30.62%	212 15.68%	45 3.33%	20 1.48%	1,352 100.00%	4.22	0.929	4.29	0.457
経済学部	演習	947 64.03%	387 26.17%	127 8.59%	13 0.88%	5 0.34%	1,479 100.00%	4.53	0.717	4.55	0.342
文学部	演習	2,868 50.97%	1,892 33.62%	729 12.96%	113 2.01%	25 0.44%	5,627 100.00%	4.33	0.808	4.37	0.365
理学部	演習	515 41.77%	427 34.63%	211 17.11%	41 3.33%	39 3.16%	1,233 100.00%	4.09	1.000	4.05	0.423
教職課程	演習	617 52.42%	346 29.40%	163 13.85%	31 2.63%	20 1.70%	1,177 100.00%	4.28	0.918	4.29	0.416
学芸員	演習	80 62.50%	39 30.47%	8 6.25%	1 0.78%	0 0.00%	128 100.00%	4.55	0.650	4.53	0.297
合計		9,863 47.78%	6,857 33.22%	3,138 15.20%	539 2.61%	247 1.20%	20,644 100.00%	4.24	0.887	4.29	0.439

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
演習		6,277 52.44%	3,764 31.45%	1,560 13.03%	255 2.13%	114 0.95%	11,970 100.00%	4.32	0.849	4.38	0.405
語学		3,590 41.28%	3,099 35.63%	1,587 18.25%	287 3.30%	134 1.54%	8,697 100.00%	4.12	0.923	4.15	0.451
合計		9,867 47.74%	6,863 33.21%	3,147 15.23%	542 2.62%	248 1.20%	20,667 100.00%	4.24	0.887	4.29	0.439

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	3,056 39.85%	2,722 35.50%	1,468 19.14%	292 3.81%	130 1.70%	7,668 100.00%	4.08	0.943
学部2年	2,677 46.80%	2,023 35.37%	840 14.69%	122 2.13%	58 1.01%	5,720 100.00%	4.25	0.854
学部3年	2,120 56.55%	1,129 30.11%	415 11.07%	57 1.52%	28 0.75%	3,749 100.00%	4.40	0.802
学部4年	1,263 62.56%	508 25.16%	209 10.35%	29 1.44%	10 0.50%	2,019 100.00%	4.48	0.776

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	4,350 54.08%	2,519 31.32%	960 11.93%	151 1.88%	64 0.80%	8,044 100.00%	4.36	0.823	4.38	0.410
26～50名	4,748 44.39%	3,666 34.27%	1,814 16.96%	324 3.03%	144 1.35%	10,696 100.00%	4.17	0.909	4.19	0.448
51～100名	560 38.70%	516 35.66%	284 19.63%	52 3.59%	35 2.42%	1,447 100.00%	4.05	0.971	3.99	0.419
101～200名	75 34.56%	80 36.87%	48 22.12%	10 4.61%	4 1.84%	217 100.00%	3.98	0.960	4.01	0.420
201名以上	134 50.95%	82 31.18%	41 15.59%	5 1.90%	1 0.38%	263 100.00%	4.30	0.828	4.30	-
合計	9,867 47.74%	6,863 33.21%	3,147 15.23%	542 2.62%	248 1.20%	20,667 100.00%	4.24	0.887	4.29	0.439

Q15 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
外セ	語学	3,232 38.34%	3,087 36.62%	1,587 18.83%	368 4.37%	155 1.84%	8,429 100.00%	4.05	0.954	4.08	0.468
合計		3,232 38.34%	3,087 36.62%	1,587 18.83%	368 4.37%	155 1.84%	8,429 100.00%	4.05	0.954	4.08	0.468

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
学部1年		1,689 36.84%	1,690 36.86%	873 19.04%	233 5.08%	100 2.18%	4,585 100.00%	4.01	0.979
学部2年		1,024 38.37%	991 37.13%	515 19.30%	108 4.05%	31 1.16%	2,669 100.00%	4.07	0.915
学部3年		209 49.29%	144 33.96%	62 14.62%	5 1.18%	4 0.94%	424 100.00%	4.29	0.828
学部4年		123 49.60%	75 30.24%	45 18.15%	3 1.21%	2 0.81%	248 100.00%	4.27	0.855

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
25名以下	957 41.23%	861 37.10%	394 16.98%	72 3.10%	37 1.59%	2,321 100.00%	4.13	0.912	4.16	0.462
26～50名	2,275 37.25%	2,226 36.44%	1,193 19.53%	296 4.85%	118 1.93%	6,108 100.00%	4.02	0.967	4.03	0.465
51～100名	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-	-
101～200名	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-	-
201名以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-	-
合計	3,232 38.34%	3,087 36.62%	1,587 18.83%	368 4.37%	155 1.84%	8,429 100.00%	4.05	0.954	4.08	0.468

Q16 教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない						
外セ	語学	3,575 42.43%	3,082 36.58%	1,335 15.85%	298 3.54%	135 1.60%	8,425 100.00%	4.15	0.920	4.17	0.439	
合計		3,575 42.43%	3,082 36.58%	1,335 15.85%	298 3.54%	135 1.60%	8,425 100.00%	4.15	0.920	4.17	0.439	

【学部生・学年別】

		回答者ベース						科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年		1,874 40.89%	1,692 36.92%	753 16.43%	175 3.82%	89 1.94%	4,583 100.00%	4.11	0.943
学部2年		1,132 42.48%	979 36.74%	442 16.59%	85 3.19%	27 1.01%	2,665 100.00%	4.16	0.885
学部3年		227 53.41%	147 34.59%	41 9.65%	6 1.41%	4 0.94%	425 100.00%	4.38	0.792
学部4年		132 53.23%	79 31.85%	28 11.29%	9 3.63%	0 0.00%	248 100.00%	4.35	0.820

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下		1,045 45.06%	874 37.69%	302 13.02%	63 2.72%	35 1.51%	2,319 100.00%	4.22	0.881	4.23	0.427
26～50名		2,530 41.43%	2,208 36.16%	1,033 16.92%	235 3.85%	100 1.64%	6,106 100.00%	4.12	0.933	4.12	0.443
51～100名		0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-	-
101～200名		0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-	-
201名以上		0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-	-	-	-
合計		3,575 42.43%	3,082 36.58%	1,335 15.85%	298 3.54%	135 1.60%	8,425 100.00%	4.15	0.920	4.17	0.439

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成 21 年度	平成 22 年度
委員長	副 学 長	宮 川 努	宮 川 努
委 員	(H21)教務部長/(H22)学生センター所長	宮 川 努	草 野 芳 郎
委 員	学 長 室 部 長	荒 木 健 二	荒 木 健 二
委 員	法 学 部	水 野 謙	平 野 浩
委 員	経 済 学 部	細 野 薫	今 野 浩 一 郎
委 員	文 学 部	渡 辺 学	保 坂 裕 興
委 員	理 学 部	中 野 伸	清 末 知 宏
委 員	法 務 研 究 科	神 前 禎	神 前 禎
委 員	スポーツ・健康科学センター	廣 紀 江	佐 藤 陽 治
委 員	計算機センター	久保山 哲 二	久保山 哲 二
委 員	外国語教育研究センター	熊 井 信 弘	狩 野 智 洋
委 員	教 職 課 程	諏 訪 哲 郎	川 口 幸 弘
委 員	学芸員資格取得に関する委員会	有 川 治 男	有 川 治 男

学習院大学

平成21（2009）年度「授業評価アンケート」報告書

平成22年7月12日発行

編集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

発行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(3986)0221 代表

お問合せ先：経営企画課

